

千葉大学工学部工業意匠学科・デザイン工学科
「卒業生デザイン集」
Works by Graduates of
the Department of Industrial Design Chiba University

千葉大学工学部工業意匠学科・デザイン工学科 「卒業生デザイン集」

まえがき

卒業生デザイン集は、千葉大学工学部工業意匠学科・デザイン工学科、工業短期大学部工業意匠学科卒業生が行ったデザインの数々を収録したものです。

千葉大学工学部工業意匠学科は、我が国で最初に、本格的にデザイン教育を行う目的で1921（大正10）年に創立された東京高等工芸学校を母体として、1949（昭和24）年、新制千葉大学に設置されました。以来、日本の有数の企業や国際的な企業で活躍する人材を、またデザイン教育やデザイン行政にたずさわる有能な人材を輩出してきました。

この卒業生デザイン集は、1953年（1回生）からの卒業生およびデザイン学科教員のデザイン業績を収録しています。戦後から今日まで、学科卒業生が果たしてきた社会的役割の大きさがお分かりいただけると思います。また、これらの業績は千葉大学が行ってきたデザイン教育の成果であり、学科の存在意義を示すものでもあります。

このデザイン集が、デザイン学生の方々にはデザイン意欲をかきたてる刺激になることを、また受験生の方々には、デザインの素晴らしさを知ることによって受験のきっかけになることを願っています。

なお、このデザイン集は、「卒業生デザイン集 WEB版」として、千葉大学工学部デザイン学科ホームページでご覧いただけます。

2013年10月10日

千葉大学工学部工業意匠系同窓会

刊行によせて

千葉大学のデザイン教育——工業意匠学科から未来へ 森 仁史

現在の千葉大学工学部デザイン学科の直接の前身は工業意匠学科と名付けられ、1951年4月に設置されている。同学部は1949年全国に新制大学が生まれたときには、千葉大学工芸学部であったのだが、これには1921年創設された東京高等工芸学校という前身校があった。同校は1945年に松戸に移転していたのだが、当初は単独のデザイン大学を目指した。この中に山口正城がいた。今日用語法とは異なり、「工芸」は1960年代までほぼデザインと同義語だった。戦前には、日本政府が期待する輸出振興や固有色を発揮させるデザイン指導者がこの学校で養成され、全国各地の工業試験場、実業学校で手腕をふるっていたのだった。

これを機能主義デザインへ大きく方向転換させたのが小池新二（その後、九州芸術工科大学初代学長）であり、その遺産は今「小池文庫」として千葉大学附属図書館に所蔵されている。小池がC. イームズも学んだクランブルック・アカデミーから1956年スカウトしたのが吉岡道隆であった。

彼らのもとから、日本の戦後デザインを担う第一世代が育っていった。同時期にデザイン教育が行われていたのは東京教育大学教育学部芸術学科（1949）のみで、他の東京芸術大学工芸科工芸計画専攻（1951）、多摩美術大学図案科（1952）、武蔵野美術大学産業デザイン科（1962）と較べてはるかに組織的で、やがて来るインダストリアル・デザインの時代趨勢に先駆けていたことは間違いない。

実際に、小池が企図したように、この学科からは工業デザインの分野に有能な才能を輩出している。その後の興隆は本作品集が雄弁に物語っている。また、他の美術大学がグラフィックを主要な分野とすることとも対照的であった。前者は日本のものづくりの能力の開発に連なる仕事であり、同時にそれをグローバルな基準で発揮させるという隘路を

くぐり抜ける困難な企てである。他方、後者は商業宣伝が主体であるために、その評価は目前の商業的成功に左右されやすく、息の長いデザイン力を培いにくい土壌を産んでいる。

本作品集のページを追えば、黒木靖夫（1957卒）らによるウォークマン（1979）のように、一製品としての成功よりも、それが形づくるライフスタイルにまで影響を及ぼすデザインこそが戦後の工業意匠学科が目指してきたものだったことが分かる。そのための基礎や人材育成への環境がこの大学に醸成されたことは誇ってよいことだろう。アジア諸国の追い上げに追われる現在にこそ、かつての日本デザインの成功の基に今一度思いを致すべきだと思わないではいられない。

（金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所所長）

目次	
まえがき	1
刊行によせて	2
卒業生の部	7-264
教員の部	273-315
あとがき	316

卒業年代順目次

■ 1950年代

菊地 禮	8
渡辺 優	12
永田 秀明	14
野中 宏親	18
藤盛 啓治	22
松丸 隆	26
村上 輝義	28
石川 弘	32
宇賀 洋子	36
黒木 靖夫	40
豊口 協	42

■ 1960年代

出雲 たけこ	46
八鳥 治久	51
小林 康人	55
永田 喬	59
佐藤 中信	61
鈴木 成治	65
寺澤 勉	67
宮崎 紀郎	72
大津 豊	76
宮崎 清	78
石川 重遠	83

安井 敏	87
佐子 武	89
丸山 和子	93

■ 1970年代

青木 弘行	97
西田 幸生	103
大矢 富保	108
赤瀬 達三	110
児山 啓一	114
清水 啓子	118
(旧姓 岩藤)	
中村 豊四郎	120
野中 公子	124
三橋 俊雄	128
若杉 集	133
田中 千秋	135
宮城 壮太郎	139
石崎 弘文	144
玉垣 庸一	148
青木 正英	152
海老澤 洋子	156
(旧姓 武田)	
面矢 慎介	160
(旧姓 福島)	
中瀬 博幸	163

原 正樹	167
吉田 光利	168
■ 1980年代	
片山 亨男	172
花澤 周志	176
安齋 利典	108
池田 吉伸	178
伊藤 透	182
大橋 俊夫	186
金田 享子	190
萩野 美有紀	120
浅賀 武	192
酒井 隆司	196
酒寄 映子	200
羽田 隆志	201
岩崎 建樹	203
佐藤 公信	204
米沢 みどり	208
渡邊 誠	209
阿部 敬人	212
岩淵 信顕	214
大場 晴夫	215
樋口 孝之	218
柳田 泰宏	222
岡本 浩志	224

長井千春 227
石塚健彦 214
大森正樹 229
前川正実 233
■ 1990年代
小島一泰 237
新井悟史 239
原寛道 240
松内紀之 242
東田智輝 243
下川倫和 244
松木一太 246
石橋忠人 247
齋藤紀行 248
下村義弘 250
寺島正之 253
飯澤大介 243
小野健太 255
千葉哲彦 259
石橋加苗 263
(旧姓 伊東)
泉福剛 243
■ 2000年代
渡邊美帆 244
福田圭作 264

蘆澤雄亮 265
岡田麻美 214
佐野葉子 203
今泉博子 269
(旧姓 湯山)

教員の部目次 五十音順

石橋圭太 274
岩永光一 276
植田憲 279
上田エジウソン 282
小原康裕 286
勝浦哲夫 291
桐谷佳恵 293
久保光徳 295
小山慎一 298
鈴木直人 301
田内隆利 305
寺内文雄 306
永瀬彩子 309
日比野治雄 313

卒業生・教員索引 五十音順

■ ア行
青木弘行 97
青木正英 152
赤瀬達三 110
浅賀武 192
蘆澤雄亮 265
阿部敬人 212
新井悟史 239
安齋利典 108
飯澤大介 243
池田吉伸 178
石川重遠 83
石川弘 32
石塚健彦 214
石崎弘文 144
石橋加苗 263
(旧姓 伊東)
石橋圭太 274
石橋忠人 247
伊藤透 182
出雲たけこ 46

今泉博子 269
(旧姓 湯山)
岩崎建樹 203
岩永光一 276
岩淵信顯 214
植田憲 279
上田エジウソ 282
宇賀洋子 36
海老澤洋子 156
(旧姓 武田)
大津豊 76
大橋俊夫 186
大場晴夫 215
大森正樹 229
大矢富保 108
岡田麻美 214
岡本浩志 224
小野健太 255
小原康裕 286
面矢慎介 160
(旧姓 福島)
■力行
片山享男 172
勝浦哲夫 291
金田享子 190

菊地禮 8
桐谷佳惠 293
久保光徳 295
黒木靖夫 40
小島一泰 237
小林康人 55
児山啓一 114
小山慎一 298
■廿行
齋藤紀行 248
酒井隆司 196
酒寄映子 200
佐子武 89
佐藤公信 204
佐藤中信 61
佐野葉子 203
清水啓子 118
下川倫和 244
下村義弘 250
鈴木成治 65
鈴木直人 301
泉福剛 243
■夕行
田内隆利 305
田中千秋 135

玉垣庸一 148
千葉哲彦 259
束田智輝 243
寺内文雄 306
寺澤勉 67
寺島正之 253
豊口協 42
■寸行
中瀬博幸 163
中村豊四郎 120
長井千春 227
永瀬彩子 309
永田喬 59
永田秀明 14
西田幸生 103
野中公子 124
野中宏親 18
■八行
萩野美有紀 120
八鳥治久 51
花澤周志 176
羽田隆志 201
原寛道 240
原正樹 167
樋口孝之 218

日比野治雄 313
福田圭作 264
藤盛啓治 22
■マ行
前川正実 233
松内紀之 242
松木一太 246
松丸隆 26
丸山和子 93
三橋俊雄 128
宮城壮太郎 139
宮崎清 78
宮崎紀郎 72
村上輝義 28
■ヤ行
安井敏 87
柳田泰宏 222
吉田光利 168
米沢みどり 208
■フ行
若杉集 133
渡邊誠 209
渡邊美帆 244
渡辺優 12

卒業生の部



菊地 禮

KIKUCHI Rei

北海道庁立函館中学校卒業
国立東京高等工業専門学校
電気通信学科を経て千葉大学入学
大学1回生 (53.3卒)

- 53.4 松下電器産業株式会社 (現パナソニック株式会社) 入社
71.5 電化事業本部デザインセンター所長
84.2 松下住設機器株式会社常務取締役事業開発推進部長
86.8 同社取締役経営企画室長
90.5 松下電器株式会社退職 客員
90.7~94.12 (財)国際デザイン交流協会常務理事事務局長
93.~95.7 千葉大学工学部非常勤講師
1971.6 MITへ短期留学
「Systems Building and Industrialization in the United States」研究

・社会的活動

- 1968 通商産業省日本工業規格 (JIS) 話し台検討委員
1973 建設省住宅設備ユニット研究委員
1991.5 九州通商産業局商工部九州地域デザインビジョン検討委員会委員
1991.12 通商産業省輸出検査およびデザイン奨励審議会委員

・講演

- 1972.10 (財)大阪デザインセンター主催 工業デザインコース「住宅設備機器論」講師
1983.5 (社)日本能率協会 生活者研究シンポジウム「松下電器産業におけるデザイン戦略」講師
1992.1 北九州市商工部主催シンポジウム「製品計画とデザイン・新たな事業展開をめざして」講師
1992.2 函館市商工部主催「平成3年度函館地域デザインおこしセミナー」講師
1993.2 マレーシアクアラランプール市で開催の「日本デザイン展」で講演
1995.8 台湾手工業研究所「地域活性化と設計」プロジェクトに千葉大学 宮崎

清教授とともに参画、以後3年間に5回、台湾各地で講演と指導を行う

・著作・受賞

- 1959.1 毎日新聞社主催第7回新日本工業デザインスポンサー賞
1963.10 オーム社 雑誌 OHM「家庭電化機器の人間工学的な考え方」執筆
1980.7 ダイヤモンド社刊「経営実務大百科全3巻」商品開発の項執筆
1991.3 日刊工業新聞社刊「ヒューマンデザインの視点」
1994 日本デザイン学会誌「インダストリアルデザイン再考」寄稿
1999.7 朝倉書店 新デザインハンドブック「地域社会のデザインマネジメント」の項 千葉大学 宮崎清教授と共同執筆

- ・Gマーク選定 130件、部門大賞3回
電気炊飯器 SR-18、電気掃除機 MC-3、キッチンシステムN型、電気ストーブ、ガスストーブ、電子レンジ等Gマーク選定受賞Gマークほか
・工業所有権・特許・実用新案・意匠権登録多数



自動アイロン 1953



あんか 1953



ガスストーブ 1957



電気ストーブ 1958



噴流式洗濯機 1957



絞り機付洗濯機 1958



電気ストーブ 1961



中間スイッチ 1963



電気ポット 1960



電気コーヒーサイフォン 1960



小型ミキサー 1963 共作



ガスストーブ 1966 共作



ガスコンロ組み込み
流し台 1966



自動ポップアップトースター 1967



魚焼き機付きガス
テーブル 1967



コード脱着式電気自動炊飯器 1968



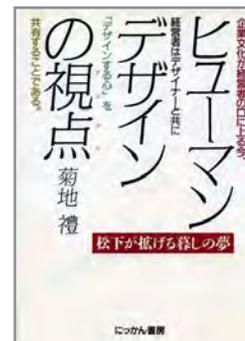
ガス自動炊飯器 1970



電気掃除機 1967



電子レンジ 1974



「ヒューマンデザインの視点(アングル)」
 1991. 3. 25発行 B6版 216ページ
 発行：につかん書房
 発売：日刊工業新聞社
 定価：1200円



晴見の住宅設備展会場へのキッチンユニットの搬出 1973



キッチンユニットの研究 1973



サニタリーユニットの研究 1973

主な内容

- 第1章 デザインはひらがな文化
 [日本のデザインの特質]
- 第2章 ヒューマンデザインの視点
- 第3章 デザイン
 [昨日・今日・明日]
- 第4章 デザインマネジメントはトップ
 マネジメント
 [経営ツールとしてのデザイン]
- 第5章 デザイナーの能力を引き出す
 [デザイナーの特質]
- 第6章 世界の中の日本初デザイン
 [激動する時代]



渡辺 優

WATANABE Yu

東京都立豊多摩高等学校
大学1回生 (53.3卒)

62～ 渡辺優デザイン事務所
86～89 日本インテリアデザイナー
協会理事長
87～00 千葉工業大学教授

■ 2000年以降にデザインした家具（メーカー：広松木工）



キッズ ラビットチェア 2008



キッズ ソファ 2008

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集



チェスト オブ ドロワーズ 2008



フォーポスター チェア 2008



オーバル スツール 2010



永田 秀明
NAGATA Hideaki
豊山高等学校
大学2回生 (54.3卒)

- 54.4 富士重工業(株)群馬製作所
- 59.8 (有)Qデザイナーズ
- 64.1 永田デザイン事務所設立
現在に至る

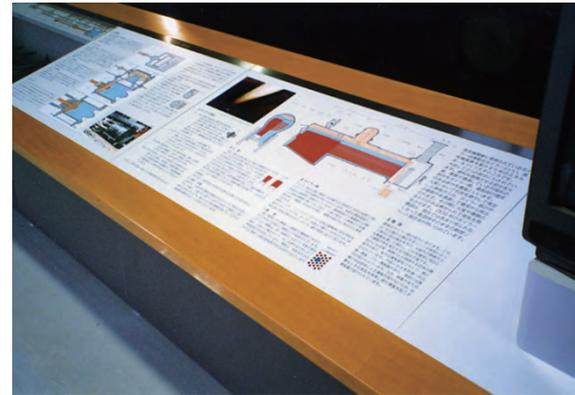
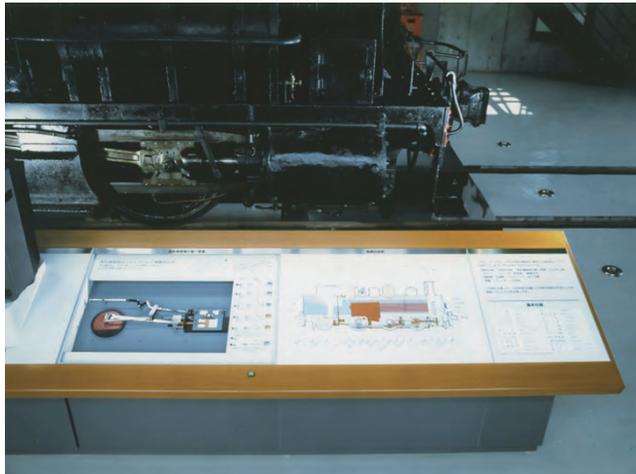


日本工業大学 工業技術博物館 S L館 展示計画及びデザイン

明治24年(1891) イギリス ダブス社で製造された蒸気機関車を永久動態保存展示。<1997> 展示の一部記載。
共同計画デザイン 野中宏親 大学2回生 (54.3卒)
制作デザイン協力 永井秀雄 大学2回生 (54.3卒)

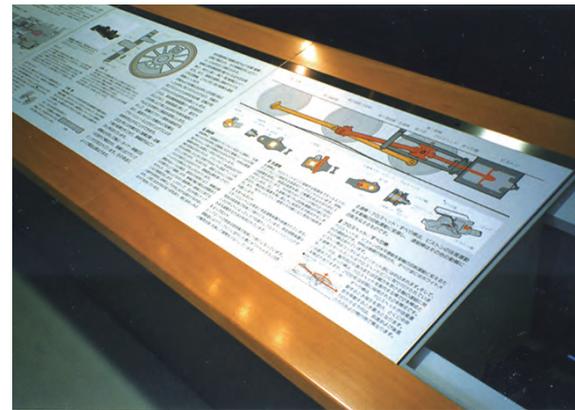
Exhibition Plan and Design at Nippon Institute of Technology Museum of Industrial Technology
SL Building.

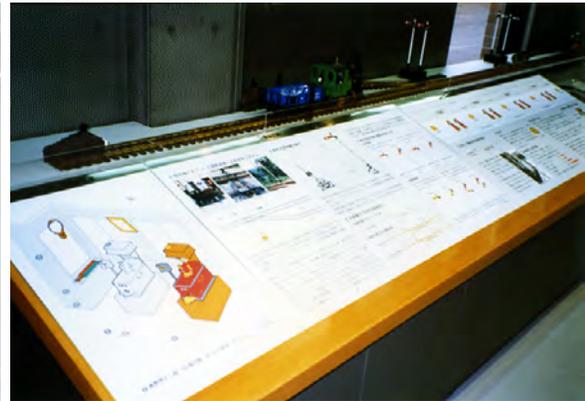
A steam locomotive built by Dübs & Co. in 1891 is exhibited and preserved an operational condition perpetually.
<1997> It's the part of the exhibition.



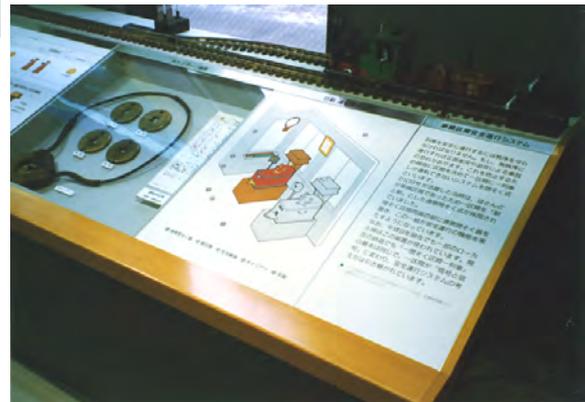
2100型蒸気機関車の構造及び動く原理を小型モデルと図解説明

Explanations of structure and principle of the steam locomotive type 2001 with a small model and illustrations.





当時の単線区間 安全運行システムを縮小モデルと図解説明
Explanations of safe service system in single-track section with a reduction model and illustrations.





修復後2109号の試運転
A trial run type 2109 after restoration.

動態保存に向けて修復作業
Restoration for preservation of operational condition.



2100形-2109号の概要及び歴史
A summary and history of type 2100 - 2109.



運行に必要な工具及び運行書類
Tools and service document for service.

野中 宏親 (本名政尚)

NONAKA Hirochika
 私立東京工業高校高等学校
 大学2回生 (54.3卒)

- 54.4 ㈱リコー入社
- 62.4 同社意匠課長
- 63.11 同社退社、
TAT工業デザイン研究所入社
- 65.10 (有)野中デザイン研究所設立
代表取締役

日本工業大学 名誉教授
 日本インダストリアルデザイナー
 協会 名誉会員
 フリーランスデザイナーズ連盟会員
 日本デザイン学会会員
 道具学会会員

<主なデザイン活動>

- ・製品/包装/宣伝広告/展示/標識
表示などデザイン全般の実務
- ・VIに関する総合デザイン
- ・企業理念の確立及びそれに基づく
デザイン総合管理
- <研究活動および教育活動>
- ・デザインの基本概念に関する研究
と提案
- ・技術系学生に対するデザイン教育
- <その他のデザイン活動>
- Gマーク商品選定委員 (元)
- 筑波万博NMR-CTデザイン担当
- 小企業のボランティアデザイン指導
など

モットー：真直ぐにものを見ること



・上のカメラの原型

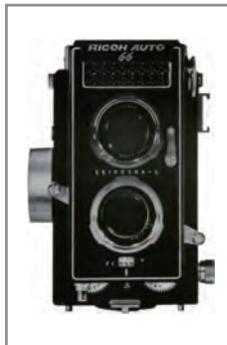
● リコーオートショット

東京オリンピックに向けて
 開発 世界初35ミリ自動巻
 上げカメラ

● リコマチック44
 トリエンナーレ出品



● リコーオート66



● 日本電電公社
 選択式電話機



● 岩通テレビ電話 (初期の形式)

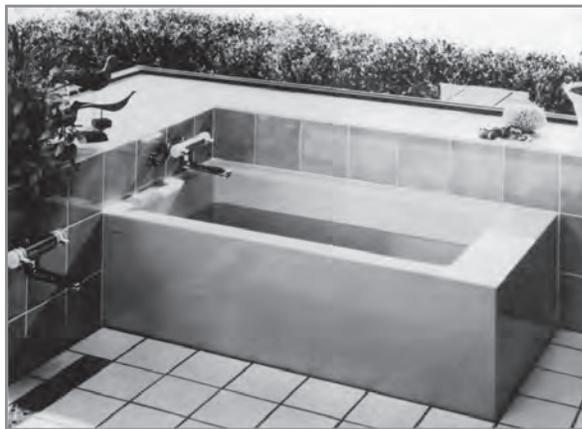


● コピアセレックス900

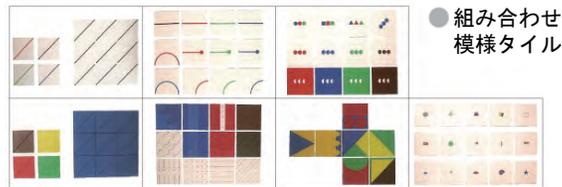


開発年代を示す (以下2P~4P 同様)
 1958年頃—65年頃—75年頃—85年頃—2000年頃





● 伊奈普及型高品質浴槽（イナジーニアル）
誰にでも好まれ どんな浴室にも似合う浴槽 発売して30年のロングセラー 2010年現在も売れている 関係者全員全裸で開発した商品



● 組み合わせ模様タイル



● 伊奈タイル包装標準化デザイン
数千種類というタイルのダンボールの表示デザインをコンピュータを導入してデザインの自動化を実施

● 伊奈中級システム浴室（一坪タイプ）
業界に先駆けて開発したシステム浴室(1.5・1・0.75)



● 伊奈大型高級浴槽



● 伊奈上置水槽



● 丸型温度計





標準化デザインの基本形

- タケダ理研デジタルカウンター計測器（標準化デザイン）
約40種類の計測器について使用方法、寸法、部品などの標準化を行ったもの



- オザキスチームコンベクションオープン・自動ガスレンジ

- 日立集積回路テスター
（初期のもの）



- ヨコオプリント基板テスター



- 日機装プラント用化学ポンプ

ミルフローポンプ



ノンシールポンプ
原子炉用



- 岩田スプレーガン
- 岩田スクリューコンプレッサ





○ 乾山写檜梅紋文鎮



● つゆ草手彫銀付きうす



○ 手作りペンダント



○ 手作り一輪ざし



● 正月かざり

● ~ ○ 商標・シンボルマーク類(同時に正しく運用できる規定作成)



○ 標準化された日本工業大学の宣伝看板と工業技術博物館の特別展ポスター



● ~ ○ 野中デザイン研究所の年賀状・暑中見舞
左は必ず手造り毎年同じものはない 右は統一



○ 日本工業大学ソーラーシステム表示パネル
教育界では日本随一 省エネ大賞受賞





藤盛 啓治
FUJIMORI Keiji
秋田県立能代工業高等学校
木材工芸科
大学2回生 (54.3卒)

- 54. 4 日本コロンビア (株) 技術
部意匠設計係意匠設計主幹
- 59. 4 千葉大学工業短期大学部助
手, 講師, 助教授 (木材工芸
科)
- 76. 4 千葉大学講師 (工学部工業
意匠科)
- 87. 4 拓殖大学助教授, 教授 (工
学部工業デザイン学科)
- 01. 3 定年退職
- 01. 6 拓殖大学名誉教授

- 98. 5 日本デザイン学会名誉会員
- 01. 4 日本インダストリアルデザ
イナー協会名誉会員
- 01. 6 (財) 家具の博物館理事03. 4
木の文化フォーラム幹事



日本コロンビア(株)勤務時代
最初に手がけた卓上型ラジオ
(1955~1960)



家庭用14吋白黒テレビ
日本コロムビア(株)製(1962)



家庭用25吋カラーテレビ
日本コロムビア(株)製(1964)



卓上型ミシン
婦人の家庭内の行動に役立つシステム家具の要素を
盛り込んだデザイン ニューヨーク万国博覧会に出品
リッカー(株)製 (1965)



LPレコードを忠実に再現した
ハイファイ電蓄
日本コロムビア(株)製 (1956)



コンソール型アンサンブルステレオ
日本コロムビア(株)製 (1964)



ペア キャビネット 寝室用システム収納家具
第10回「全国優良家具展」
(社)木製品技術協会会長賞 (1966)



写真植字機的设计
株式会社写研 受託研究
(1978~1990)

スギ圧縮材による学校用
机・椅子的设计
株式会社アミノ共同開発(2002)

・研究論文

- 1974.3 椅子の構造設計に関する基礎研究
(Ⅰ) デザイン学研究NO.19(共著)
- 1974.11 箱物家具の基本構造(室内誌VOL.
239 工作社・共著)
- 1975.3 椅子の構造設計に関する基礎研究
(Ⅱ) デザイン学研究NO.21(共著)
- 1977.12 各種ノックダウン式接合金具の性
能試験 デザイン学研究NO.26
- 1978.9 横太柄形ノックダウン式接合金具
の性能試験 デザイン学研究NO.28
- 1985.3 椅子用成形合板の変形 拓殖大学
年報工学系第17号
- 1996.4 曲面パネルの新成形法と製品デザ
インへの適用 デザイン学研究117
号 第43巻3号
- 1997.7 圧縮木材の成形法と強度ースギ間
伐材の有効利用に関する研究 日
本・韓国デザイン学会 アジア国際
デザイン会議日韓シンポジウム
論文集(共著)

・報 告

- 1995 能代の杉利用と地域のデザイン
デザイン学研究特集号 第3巻1号
通巻9号

・論 説

- 2005 日本の木工界50年史 木の文化フ
ォーラム誌 第2号～第6号
- 2009 木の文化向上のための専門教育の
充実 木の文化フォーラム誌 第6号

・著 書

- 1961.6 木材加工・室内計画便覧(産業図
書・共著)
- 1963.1 工業デザイン全書「工業デザ
インの実際」(金原出版・共著)
- 1969.6 インテリアデザインの実際(理工
学社・共著)
- 1970.9 中学校技術家庭科[研究の手引き]
木工・金工・住居編(文部省・共著)
- 1975.2 木工製図(雇用問題研究会・共著)
- 1982.3 インテリア製図[基礎編・応用編]
(文部省・共著)
- 1987.7 家具事典(朝倉書店・共著)
- 1992.12 芸術・デザインの立体構成(六耀
社・共著)



松丸 隆

MATSUMARU Takashi
茨城県立水海道高校
大学2回生 (54.3卒)

- 54 日立工機株式会社入社
- 56 フリーランスインダストリアルデザイナーとして独立
- 70 GKインダストリアルデザイン研究所
事務局長
- 75 株式会社タニタ デザイン室長
- 97 中国国際芸術研修所主任講師
- 07 逝去

日本デザイン学会会員
日本インダストリアルデザイナー協会会員
理事、事務局長及び委員長を歴任
国際芸術研修所、中国工業設計協会
無錫工業設計協会 各顧問
千葉大学工学部工業意匠学科、東北工業大
学工業意匠学科、福島県立会津短期大学ブ
ロダクトデザイン学科 各非常勤講師
鄭州輕工業学院名誉教授、北京中央工芸美
術学院講師、無錫輕工業学院講師



第2回 中国工業デザイン研修 1998年8月

■ 中国にデザイン学校を創る——松丸隆氏のライフワーク

取材：工業意匠系同窓会

松丸隆氏は、北京日本中学校3年次在学時に敗戦、茨城県に帰国した。県立水海道高等学校を経て、千葉大学工学部工業意匠学科を卒業。日本の優良企業の数多くのデザインを手がけた。その後、日本インダストリアルデザイナー協会理事・事務局長として、日本の工業デザインを牽引した。

氏は、幼少時代を過ごした中国が生涯忘れられず、中国との交流を積極的に行った。そして、中国にデザイン学校創ることを生涯夢見ていた。氏は、そうした夢の実現の同志として、知己を得た中国の方々との思い出を、

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

千葉大学工学部工業意匠系同窓会卒業生作品集「IDCU40」（1970年発行）に記している。（文章は1969年に書かれた）

以下は、その文章の冒頭と、氏と交流のあった方々のお名前を中心に抜粋する。

還暦を控えて、感ずることが山積している昨今の私は、人生で一番充実している時期と自負している。8月の末から9月の末頃までの1ヶ月、中国は南の広州から北は北京までを旅した。

河南省鄭州市は省都である。～鄭州輕工業学院での講義～設立して日が浅く、先生方も若い。無錫の輕工業学院を卒業した若い夫婦の先生に逢った。～鄭州の講義は、成功だったと友人の楊君も自画自賛。

～北京中央工芸美术学院で半日講義。中国工業デザイン協会副会長の任維武氏とは、2度目で2年振りに逢う。

～無錫では、半日講義～中国のデザイン事情について張福昌と語り合う、彼は早く教授になって自分の理想と計画を実現したいと熱っぽく私に訴えていた。彼は～北京のIDの中心人物である任維武氏とも知己を得て～将来大いに希望の持てる、期待のできる夢多き中国男子である。～彼の夢は、



中国 国際芸術研修所活動記録
1997-2007



タニタ 脂肪計付ヘルスメータ

私の夢でもある。中国に育ち中国が故郷のような私にとって決して他人事ではない。私のライフワークとして、彼に協力することに、私の生きがいを見つけ出すことが出来ることを願っている。



村上 輝義
MURAKAMI Teruyoshi
大学2回生 (54. 3卒)

- 54 松下電器産業株式会社 (現パナソニック株式会社) 宣伝事業部
- 59 TAT工業デザイン研究所
- 64 西独ウルム造形大学留学
- 65 ヒューマンファクター株式会社

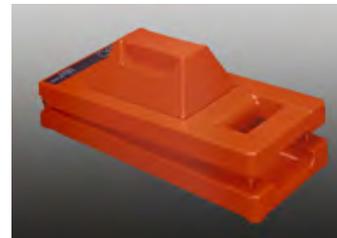
東北工業大学、千葉大学、会津大学短期大学部、拓殖大学、東京工芸大学、各非常勤講師
大葉大学 (台湾) 客員教授

国際協力事業団 (JICA)、東京都技術センター、東京都商工会議所、同商工会連合会各エキスパート

日本人間工学会アーゴデザイン事務局
日本インダストリアルデザイナー協会 (JIDA)
日本デザイン学会

・工業デザイン

- 1960-66 キューピー調理鍋
- 1968-77 リオン補聴器・騒音計
- 1969-86 中央無線モニタテレビ
- 1969-84 理想科学工業プリントゴッコ
- 1983-86 理化電機工業XYプロッタ
- 1975-81 フジソク自販機



プリントゴッコ1号



キューピー調理器 (Gマーク受賞)



リソグラフ

・工業デザイン

- 1978-80 三井東圧FRPドア、サービストレイ
- 1986-2010 ミマキEG. IJプリンタ、カッティングプロッタ
- 1993- 伊藤超短波電子治療器
- 1995 高齢者対応自動製本システム
- 1996- 白山工業データロガー
- 1999- 帝人在宅医療器



IJプリンタ



電子治療器



高齢者対応自動製本システム



データロガー

・グラフィックデザイン

- 1959-65 松下電器、東京電気化学工（TDK）、
ソニー録音テープパッケージ
- 1967 TDKのCIシステム
- 1970-71 ミットヨ産業広告シリーズ
- 1972 宮田自転車婦人車、包装規格
- 1976-00 東京大学帳票類、学位記、概要
- 1986-95 東京工業大学帳票類
- 1979-85 タニタカレンダー・銅と建築
- 1993-2010 日本学士院シンボルマーク、帳票類、概要
- 1998 大正大学帳票類
- 1995-2010 東芝家電GUIデザイン

・ユーザ調査

- 1975 タニタ消費者モニタ調査
- 1979 横浜市スカーフ調査
- 1981 松下電器、家庭内情報調査
- 2000 東芝家電ユーザビリティ調査



日本学士院バッジ



日本学士院シンボルマーク



東京大学概要

・主な受賞歴

- 1957-58 毎日工業デザインコンペ入賞
- 1959-62 キューピーソースパン各シリーズ Gマーク
- 1962 日本デザインコミッティ選定 金賞
- 1966-68 TDK企業広告シリーズ 日経賞
- 1968-69 自社製品卓上灰皿、スモーキングスタンド Gマーク
- 1970 ミットヨ産業広告賞（日本工業新聞）
- 1973 リオン補聴器 Gマーク（業界初）
- 1978 デジタル血圧計 大阪デザインセンタ選定グッドデザイン賞
- 1983 理化電機工業XYプロッタ Gマーク中小企業商品賞
- 1990 広告文字カッティングシステム 日経流通新聞優秀製品賞
- 1991 ミマキプロッタ Gマーク



卓上灰皿



デジタル血圧計



XYペンプロッタ



カッティングシステム



石川 弘

ISHIKAWA Hiroshi
藤嶺学園藤沢高等学校
大学3回生 (55.3 卒)

55.4 松下電器産業(株)中央
研究所意匠部研究課工業
デザイナー

61.5 千葉大学工学部助手

62.7 工業教育における調査・
研究の為、中華民国に出張

64.4 日本インダストリアルデザ
イナー協会 (JIDA) 研究会
委員長

64.4 日本人間工学会評議員

65.4 デザイン誌「造」編集委員

65.5 第1回工業デザイン会議
企画委員

66.1 環境と工業を結ぶ会
(DNIAS) 創立委員

68.5 欧米・台湾の工業デザ
インの研究

・ 研究論文

- 1973.6 生活空間と道具変化の設計研究
(TS-69) DNIAS ANUAL REPORT
1973
- 1973.6 光器具における空間変化の設計研究
(TS-70) DNIAS ANUAL REPORT
1973
- 1982.3 製品マネージメントについて：デ
ザイン学研究 No. 37
- 1983.3 デザイン用語混乱のタイプ別考察
について：デザイン学研究 No. 42
- 1984.3 工業デザインの生産性向上(概
念・要因・方策)(共著)：
(財)日本生産性本部生産性研究所
- 1985.8 工業デザインの生産性向上(デザ
イン評価と川上指向)(共著)：
(財)日本生産性本部生産性研究所
- 1985.8 工業デザインにおけるシステムの
構造について(1) — 各項目の位
置と情報の流れの考察 — デザ
イン学研究 No. 51
- 1989.5 創造的翻訳概念 — 工業デザイン
におけるシステムの構造について
(2) — デザイン学研究 No. 72.
- 1990.3 電機製品の使いやすさに関する研
究(共著)：松下電器ヒューマン
エレクトロニクス研究所
- 1991.3 郵便ポストの機能・デザインの在
り方に関する調査研究報告書(共
著)：郵政省郵務課同施設課
- 1997.8 4つの観点に基づく消費者の態度の
分析 — 製品造形における韓日の差
— (共著)デザイン学研究 No. 122
- ・ 著書
- 1963.1 工業デザイン全書「工業デザ
インの実際」(金原出版・共著)
- 1965.1 レンダリング／モデリング(美術
出版社・共著)
- 1967.8 工業デザイン計画(美術出版社)
- 1973.11 工業デザインプログラム(美術出
版社)('77にデザイン学会から
デザイン50冊の本・インダスト
リアルデザイン編に選定)
- 1978.11 デザイン製図(文部省委嘱工業高
校デザイン教科書・共著)
- 1983.2 デザイン技術(文部省委嘱工業高
校デザイン教科書・共著)
- 1987.4 工業デザインABC(原書房・共著)
- 1990.5 日本の近代デザイン運動史(ペリ
かん社・共著)
- 1994.4 インダストリアルデザイナーにな
るには(ペリかん社)
- 1994.4 インダストリアルデザイン — その
科学と文化 — (朝倉書店・共著)

- 70.7 デンマーク他8ヶ国へ工業デザインの研修
72.4 「D & I」誌編集委員
76.7 千葉工業大学工業経営
～科・デザイン科学学科非常勤講師
02.3 常勤講師
79.5 日本デザイン学会 (JSSD) 事務局長・理事
83.5 工業デザイン生産性向上調査研究委員会委員長 (日本生産性本部生産研究所)
87.2 千葉大学工学部教授
88.4 同大学大学院自然科学研究科教授
89.11 国民文化祭ちば'91 企画委員・事業別委員長 (千葉県知事委嘱)
91.7 中国瀋陽航空工業学院客座教授・同院で工業デザインの教育指導
91.9 千葉県工業技術展推進協議会副会長
97.11 学位授与機構審査会専門委員 (学位授与機構)
98.3 千葉大学定年退職
98.4 同大学名誉教授
99.11 日本デザイン学会名誉会員
- ・受賞作品
1955.1 第3回毎日工業デザインコンクール入選 (電気洗濯機・共作)
1958.1 第6回毎日工業デザインコンクール特選1席 (ポータブルTV・共作)
1958.11 大阪産業デザイン展・大阪市長賞 (電動ダイキャストミシン)
1959.1 大阪工芸展・大阪府知事賞・大阪工芸協会賞 (同上ミシン)
1960.3 大阪デザインセンター選定商品 (同上ミシン)
1960.8 通産省デザイン奨励審査会・Gマーク選定 (同上ミシン)
1959.1 第7回毎日工業デザインコンクール入賞 (ジアゾ式コピー機・共作)
1966.9 第7回機械デザインコンクール電子工業会賞 (ポータブルTV・共作)
1970.10 通産省デザイン奨励審査会・Gマーク選定・東京百貨店会会長賞 (ユニット・キャビネット・共作)
1976.10 通産省デザイン奨励審査会・Gマーク選定 (幼児歩行器・共作)
1978.1 第26回毎日ID賞特選3席 (幼児用野外乗り物・共作)
1981.1 第29回毎日ID賞課題賞 (タウンハウスに設備するミニ遊具・共作)
1982.12 第6回大阪産業デザインコンテスト銅賞 (2連式ガス・クッキング・テーブル・共作)
1985.6 Bicycle Design Circus '85 デザインコンテスト入選 (New Bicycle & Parking System・共作)
1986.1 第9回大阪産業デザインコンテスト入選 (タオル・ウエットティッシュ・バック・共作)
1989.1 通産省デザイン奨励審査会・Gマーク選定・中小企業商品賞 (スタイリスト・ハンガー・共作)
1990.9 通産省デザイン奨励審査会・Gマーク選定 (スライド・ハンガー・共作)
1991.2 第3回 SEKI刃物関連用品デザインコンテスト特別賞 (ROLL PUNCH・共作)
1992.2 '92 GREEN DESIGN IN YAMAGATA 入選 (TRTANS FORM with A GROWING BABY・共作)
1995.6 第35回全国優良家庭用品コンクール関東通商業局長賞 (スピードハンガー・共作)



ポータブルTV

'58 第6回毎日工業デザインコンクール・特選1席・通産大臣賞・協力・鶴岡英世・宇賀洋子



同左TVの使用状態



同下ミシンのキャビネットタイプ



幼児用歩行器

'76 Gマーク選定・協力 井村五郎・トミー工業株式会社



ユニット・キャビネット

'70 Gマーク選定・東京百貨店会会長賞・協力 小野産業株式会社



電動ビルトインモーターのポータブルタイプのミシン

'58 大阪市長賞、'59 大阪府知事賞・大阪工芸協会賞、'60 大阪デザインセンター選定商品、'60 松下電器製品で初のGマーク選定・協力・北川治彦



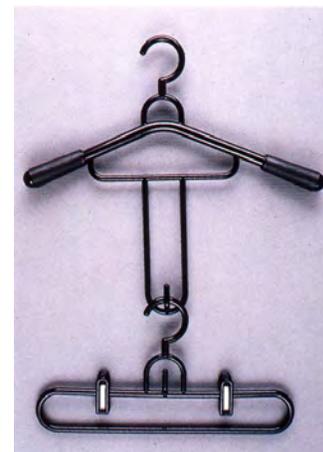
幼児用屋外乗り物

'78 第26回毎日ID賞・特選3席・協力・G.TACO



New Bicycle & Parking System

'85 Bicycle Design Circus デザインコンテスト入選・協力・G.TACO



(上)スライド・ハンガー

'90 Gマーク選定・協力・ソーコー株式会社

(下)スタイリスト・ハンガー

'89 Gマーク選定・中小企業商品賞・協力・ソーコー株式会社



タウンハウスに設備するミニ遊具

'81 第29回毎日ID賞・協力・G.TACO



ポータブルTV

'66 第7回機械デザインコンクール電子工業会賞・協力・G.TACO

(上)2連式ガス・クッキングテーブル

'82 第6回大阪産業デザインコンテスト銅賞・協力・G.TACO

(下)タオル・ウェティッシュ・パック

'86 第9回大阪産業デザインコンテスト入選・協力・G.TACO



宇賀 洋子

UGA Yohko
東京都立富士高等学校
大学3回生 (55.3 卒)

- 55.4 理研光学工業(株)(現リコー)
企画部および設計部勤務
 - 57.5 松下電器産業(株)(現パナソニック)
中央研究所意匠部等勤務
 - 63.9 英国 Hornsey College of Arts &
Crafts 大学院
 - 65.9~71.3 武蔵野美術大学短期大学部
生活デザイン学科非常勤、助教授等
 - 71.4~97.3 千葉大学短期大学部、学部
非常勤講師
 - 71.4 工業デザイナー宇賀洋子研究室設立
 - 92.9 有限会社宇賀デザイン研究所に改組
 - 68~ (社)日本インダストリアルデザイナー
協会会員・93~2003理事・05~名誉
会員
 - 89~ 日本デザイン学会会員・92~96理事
・2002~名誉会員
- 受賞
56~61 毎日工業デザインコンクール特選
一席通産大臣賞(共同制作)ほか



ナショナル・テレビ
第6回新日本工業デザイン
コンペティション(毎日新聞
社主催)特選1席(通産
大臣賞) 鶴岡英世・石川
弘・宇賀洋子 1957

National TV.

The First Prize of The 6th New Japan I.D.
Competition



ナショナル プッシュボ
タン式テープレコーダ
RQ-302(松下通信工業)

National Push-button
Tape Recorder

鶴岡英世・宇賀洋子 発売1958末頃
専門家仕様を一般家庭向けに小型化し、新開発。

ナショナル 家庭用足踏みミシン

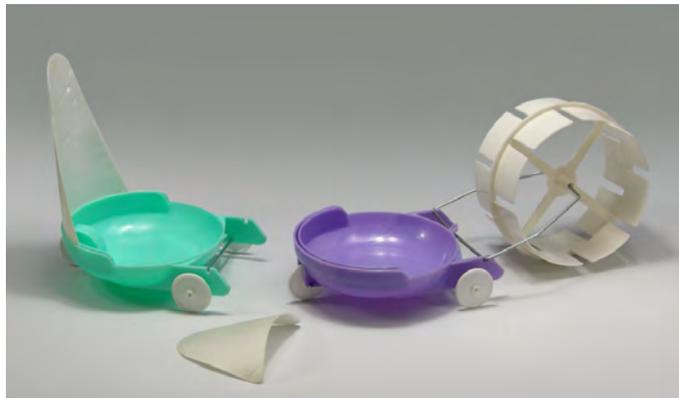
(松下電器産業)

National Home Sewing Machine

1960 大阪工芸協会賞受賞



「1ねんのかがく」～「6年の科学」他、月刊雑誌の付録（学習研究社）KAKと共同
Supplement to Science Magazine for School Children (GAKKEN Co., Ltd.)



1年のかがく「すいりくりょうよう かぜじどうしゃ」



よいこのがくしゅう
「はかり」



1年のかがく「かぜじどうしゃ」 3年の科学「水陸両用ゴム動力車」 2年のかがく「風しらべ」



1年のかがく「ふんすいせつと」

1965. 7～72. 12 幼稚園児から中学まで、毎月・毎学年の主に低学年を担当。兄弟と同じ付録
にならぬよう配慮して、毎回斬新な企画・デザインと厳密な原価計算が求められた。

ヨートー ハイブラック シリーズ (袴田金属工業株式会社) 1974

YOTO Hi-Black Series (YOTO Co., Ltd.)



グリルパン 18 (1人用) Grill Pan 18

工業デザイナー宇賀洋子研究室

製品デザイン: 宇賀洋子・山口泰子
グラフィック デザイン: 竹原あき子



グリルパン18 パッケージとタグ



グリルパン 27 (4~5人用)



フライパン26



いためなべ28

他に2個入セット、グリルパン
27用パッケージがある

「鉄に高級感を」との依頼に応じて、テーブルウェアから開発。クッキングしてそのまま食卓へ、1人用のグリルパン18と家族全員で楽しめるグリルパン27を提案。厚い鋼板プレスに表面皮膜・特殊ハイブラック加工、蓋はステンレス、柄には木材を使用。

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

ニコン ペンダント ルーペ FP1, FP2 1994

Nikon Pendant Lupe (Nikon Optical Co.,Ltd.)



(株)ニコンオプティカル開発部
(有)宇賀デザイン研究所
宇賀洋子・高野恭子

メニューやプログラムをちょっと見るとき、ショッピングなどに重宝。
89年発売の後継品としてミドル & シニア向けに開発。ニコンレンズ・
染色・ハードコート加工。スエード調の専用布ケース付き。

ニコンフレーム FS009 1990

Nikon Optical Frame (Nikon Corporation)



(株)ニコン眼鏡事業部開発部
宇賀洋子研究室 宇賀洋子
撮影：内田芳孝・岡野圭

チタン、近用メガネ専用のシニア向けに開発。
シンプルな機構で充分な機能。超小型・超軽量
を追求。眼鏡業界では異例のロングセラー商品。
1990年Gマーク選定商品。



黒木 靖夫

KUROKI Yasuo
宮崎県立妻高等学校
大学5回生 (57.3卒)

57.4 そごう百貨店入社

(宣伝部配属)

60.9 ソニー株式会社入社

(広報課配属)

88 同社取締役

90 ソニー企業株式会社代表取締役

93 ㈱黒木靖夫事務所設立

99 富山インダストリアルデザイン
センター(現富山県総合デザイ
ンセンター) 所長

07.7 逝去

東北芸術工科大学客員教授、
成安造形大学客員教授、
立命館大学客員教授



■ ウォークマン開発 1979～
(写真：1号機TPS-L2)

■ SONYロゴマークデザイン
(1961年版他)



■ ウォークマンWM-2 1981
(左：製品、右：モックアップ)

モックアップと製品とは、寸分違わなかった—構造から外形まで、デザイン集団が一体となって一貫して商品化を追求した結果の見事な一致であると語られている。

■ 黒木靖夫聞き取り

・CI (Corporate Identity) について：

「CIというのは、みんな企業統一って言うんだけど、それは違います。企業の独自性なんです。どこでも、独自性が大切です。」

・他の人と違うから価値がある：

「ある時、一人の部長が盛田（注：ソニー創業者の一人、当時社長）のところにやって来た。どうもトップと考えが違うから辞めたいと言うんです。盛田はこう言いました、『俺とお前は確かに意見が違う。だからお互いに存在価値があるんだ。まったく同じ考えだったら、どちらか一人でいいんだよ』って。盛田は、基本的にコンセンサスを嫌っていましたね。」

・デザインについて：

「ただ単に、色やかたちを整えること（ものの外観を決めること）をデザインだと、多くの人は思い込んでいる。デザインは商品企画から構造設計、意匠設計を含めたトータルなもの。これは、私が千葉大で学んだことでもあるんです。」

「デザインは、技術の側に押しかけてるけど（注：全体デザインとしてこうしたいのだが技術的に解決できないか、と技術側に要求しているが）、逆に技術からデザインに踏み込んでくれなくてはいけない。両者がせめぎあって、本当にいいデザインが生まれます。」



■ 著書

「ウォークマン流企画術」：筑摩書房 1987.6

「ウォークマンかく戦えり」：筑摩書房 1990.3

「大事なことはすべて盛田昭夫が教えてくれた」：
KKベストセラーズ 1999.12

「盛田昭夫と佐治敬三 本当はどこが凄いか!!」：
ワニ文庫 2000.11

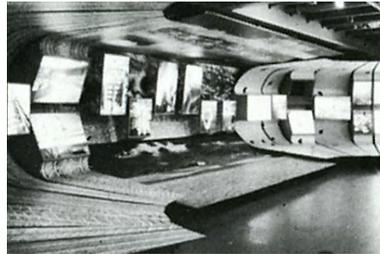
「ビジネスマンのための「個性」育成術」：生活人
新書 2001.11

「Mr.ウォークマンと他人とどこまで差が出る企画
術」：実業之日本社 2002.6

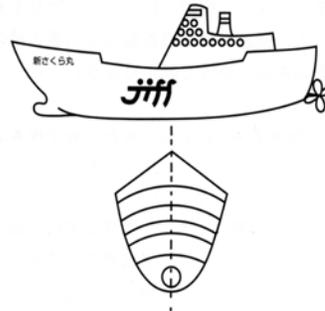


豊口 協
TOYOGUCHI Kyou
東京都立新宿高等学校
大学6回生 (58.3卒)

- 58.4 松下電器産業株式会社入社
(技術本部意匠部) 63.12まで
- 63.12 有限会社豊口デザイン研究所
(現:株式会社環境創研)入社
- 68.4 東京造形大学造形学部助教授
- 75.11 株式会社コミュニケーション
デザイン取締役 00.3まで
- 77.4 株式会社豊口デザイン研究所
代表取締役社長 94.12まで
- 79.4 東京造形大学造形学部教授
(デザイン学科) 94.3まで
- 84.4 東京造形大学長 92.3まで
- 94.4 長岡造形大学長 04.3まで
- 94.12 株式会社環境創研代表取締役
会長 07.12まで
- 97.7 中華民国大同工学院荣誉教授
- 99.10 無錫轻工大学荣誉教授
- 99.11 長岡造形大学理事長
- 00.11 韓国東西大学名誉博士
- 04.5 長岡造形大学名誉教授
- 97.6 勝見勝賞受賞 (JIDA)
- 99.10 デザイン功労者表彰 (通商産業省)
- 09.4 旭日中授賞 (文部科学省)



第7次巡航見本市船特設ブース 1966



第7次巡航見本市船 1966

■ 以下、写真・図で示す作品は、すべて
(株)豊口デザイン研究所におけるデザイン
ン。



大阪万博博覧会電気通信館 1970

・学会・協会活動

- 63.4 日本インダストリアルデザイナー協会会員
73.4~01.3理事、85.4~91.3まで理事長、
04.5~名誉会員
- 75.4 神奈川県デザイン協会理事 82.3まで
80.4~83.3会長
- 78.4 日本デザイン学会会員、80.4~84.3評議
員、80.4~84.3及び98.4~01.3理事
- 80.4 日本人間工学会評議員 94.6まで
- 85.4 日本流行色協会評議員 91.3まで
- 97.4 日本芸術工学会理事 00.3まで
- 03.9 日本商業施設学会会長 06.8まで

・ 審議会・審査会等委員歴

- 73.4 通商産業省選定グッドデザイン商品選定審査委員
77.4~78.3を除く96.3まで、
- 84.4~85.3 同上審査委員長
- 81.4 日本ディスプレイデザイン大賞審査委員
- 83.4~国際デザイン交流協会理事、国際デザイン・アワード推薦人、アジア太平洋交流委員会委員長ほか
- 85.4 通商産業省輸出検査及びデザイン奨励審議会委員
95.1まで
- 93.4 全国学生児童発明くふう展及び全日本教職員発明展審査委員会委員 06.3まで
- 94.5 新潟県生活文化創造産業振興会（IDS）IDSデザインコンペティション審査委員長 95.5~03.5理事
- 94.11新潟県産業教育審議会委員 96.5まで
- 95.4 通商産業省Gマーク選定制度検討委員会委員長
97.3まで
- 95.7 ユニオン造形文化財団選考委員会委員
- 97.7 テレビ新潟放送網・放送番組審議会委員、03.4~委員長
- 98.10日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞審議会委員会委員 04~委員長
- 99.5 宇宙開発事業団 H-II Aロケット名称・シンボルマーク選定委員会委員長
- 02.4 三条市環境審議会委員



SONY トリニトロン
カラーテレビ
KV-1821 1971



ミニプッシュフォン
700P 1971
(日本電信電話公社)



公衆電話機 1977
(日本電信電話公社)



SONY FMステレオ/AMレシーバ



スズキ50CCスクーター“蘭”1983 デジタル公衆電話機 DPT-B (NTT)



・関係団体歴・社会的活動ほか

- 84.4 桑沢学園理事・評議員 92.5まで
 86.4 通商産業省ニューオフィス推進委員会委員 92.1
 まで
 90.1 商業施設技術団体連合会商業施設技術教育評議会
 委員
 95.4 長岡市国際交流協会理事 04.5まで
 95.5 新潟県生活文化創造産業振興協会理事 03.3まで
 95.5 長岡市米百俵財団理事 00.3まで
 95.7 日本デザインコンサルタント協会名誉幹事
 95.9 大分県立芸術系大学構想委員会委員 96.6まで
 96.4 信濃川テクノポリス開発機構理事 04.3まで
 96.4 北鎌倉美術館理事 01.3まで
 96.4 かながわデザイン機構顧問
 96.7 岐阜県研究開発財団顧問 02.3まで
 96.10 横浜ファッション協会理事 07.6まで
 98.1 日本産業デザイン振興会理事 00.3まで
 98.4 長岡商工会議所顧問 04.3まで
 00.12 エヌ・エス知覚科学振興会理事
 01.5 商業施設技術者・団体連合会会長 05.5まで、現
 顧問
 03.6 日本ファシリティマネジメント推進協会企画・運
 営委員、03.6~07.7理事
 03.10 新潟県立歴史博物館運営協議会委員 06.3まで

- 04.7 北方文化博物館理事 08.6まで
 05.4 平成令終会理事
 06.5 NPO越の里山倶楽部理事長 10.3まで
 07.4 山の暮らし再生機構理事長
 07.8 社団法人県中央研究所理事
 08.4 長岡技術科学大学監事 10.3まで
 08.5 医療法人社団明和会評議員



電気通信科学館 1974



トヨタ会館展示ホール 1976

東京電力府中サービス
ステーション 1983ポートピア UCCコーヒー館
1979横浜元町商店街モール化計画 1985
第20回SDA特別賞、昭和61年横浜まちなみ
景観賞

・主な著書など

- ・「IDの世界」(単著) 鹿島出版研究会 1974
- ・「日本の企業博物館」(共著) 電通出版事業部 1984
- ・「Gマーク グッドデザインのすべて」(単著) 日本実業出版社 1985
- ・「デザインの時代 THE AGE OF DESIGN」ビデオ全4巻(共同制作) 神奈川県NECデザインセンター 1994
- ・「ファシリティマネジメントガイドブック」(共著) 日刊工業新聞社(編集) FM推進連絡協議会 1994
- ・「美術学習指導書」指導編2・3下(共著) 開隆堂(編集) 日本造形教育研究会 1995



第20回 日本医学学会総会総合医学展1979第23回 国際東京モーターショー
テーマ館 1979



万能顕微鏡
オリンパス光学工業(株)



富士通OAショールーム京都



モントリオール万博 日本館 1967



出雲 たけこ

Izumo Takeko
千葉県立市原第一高等学校
大学8回生 (60.3卒)

- 60.4 三菱鉛筆株式会社入社
デザイン室にて商品開発、
新聞広告、雑誌広告、
コピーライター、パッケージ
ジングデザイン等を担当
- 74~ C and B デザイナーズを結成
文具、玩具、ファンシー商品
事務機器、コンピューターゲ
ームによる日本語教材などの
商品開発デザインを行う
- 92~01 創形美術学校色彩論講師
- 10現在 先端医療技術の学術書シリ
ーズの表紙をCGで制作継続中

日本デザイン学会会員

趣味：読書、料理、数独、落語
モットー：多様性を深くみつめる

・ 研究論文・著書

- 1992 エッセイ「デザイン村の迷子たち」
1~13月刊「メディア・砂防」連載
- 1993 エッセイ「ものたちともの作り」
1~11月刊「メディア・砂防」連載
- 1994 エッセイ「ものとひとの夢風景」
1~11月刊「メディア・砂防」連載
- 1994 論文「異分野からのメッセージ」
日本機械学会誌
- 1995 論文「人間と機械の共生」
日本機械学会誌
- 1996 共著「人間と機械の共生」のうち
「人と機械の冷たい仲」
日本ロボット学会編 コロナ社
- 1998 論文「多様なイメージの中から見え
てくる危ういもの」
日本ロボット学会誌

・ 主要講演

- 1997 「奴隷とドラえもん」と研究者たち」
日本ロボット学会 中央大学
- 1998 「人間とロボットの仲」
日本ロボット学会 Dreamy Robotics
研究会 SONY本社
- 2001 「場の生成」の図解発表 場の研究所
駒場エミナース

・ 絵画 (CG)

- 1996 毎日現代日本美術展入選
- 1997 毎日現代日本美術展入選



共著「人間と機械の共生」1996 日本ロボット学会 コロナ社
本文・表紙デザイン・CG (1996年 毎日現代日本美術展入選作品)



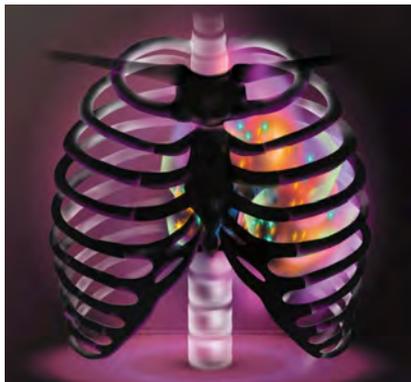
三菱ダーマトグラフ7600紙巻 1962
 三菱鉛筆株式会社
 Colored pencil DERMATOGRAPH 7600 1962
 パッケージ企画デザイン
 テクチャー素材撮影：斉藤 充、製品撮影：岡野宏美



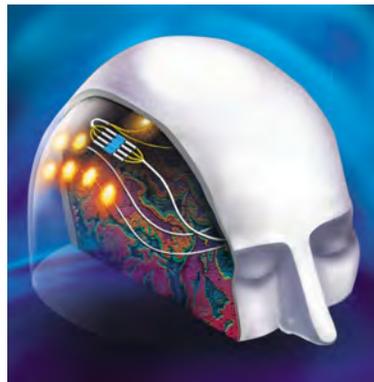
三菱鉛筆カレンダー1964 三菱鉛筆株式会社
 Calendar for MITUBISHI PENCIL 1964
 企画デザイン・イラスト
 撮影：斉藤 充、印刷：大日本印刷株式会社
 当時カラー写真とカラーイラストの合成は難しく、大日本の技術が話題になった



千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集



医療シリーズ20 肺癌



医療シリーズ16 機能的脳神経外科

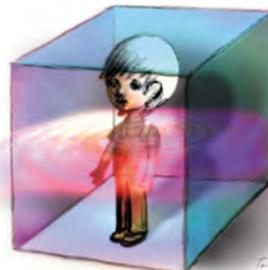


医療シリーズ37 人口臓器・再生医療



治療シリーズ1

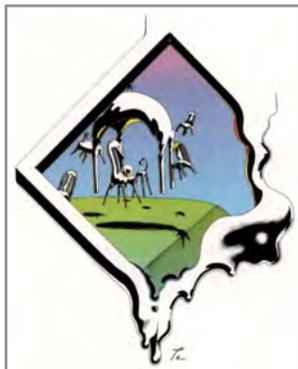
医学学術書 Institute for Advanced Medical Technology
(株) 寺田国際事務所/先端医療技術研究所
表紙デザイン・イラスト (手描き+CG) 2000~2010現在制作継続中



医療シリーズ34 小児科



医療シリーズ36
リハビリテーション医学



「碧い空…?」1994



「レンズの自問」1992

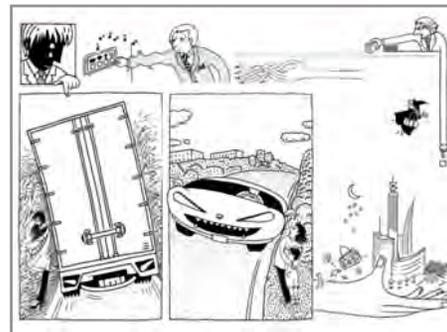


「ものとひとの仲」1993

手描きイラストレーション 1992~2008 Freehand illustration
「デザイン村の迷子たち」「ものたちとの作り」「モノ・モノ通信」他



「ひとびと」1992、2007、2008



「機械は偉い?」1992、2007、2008

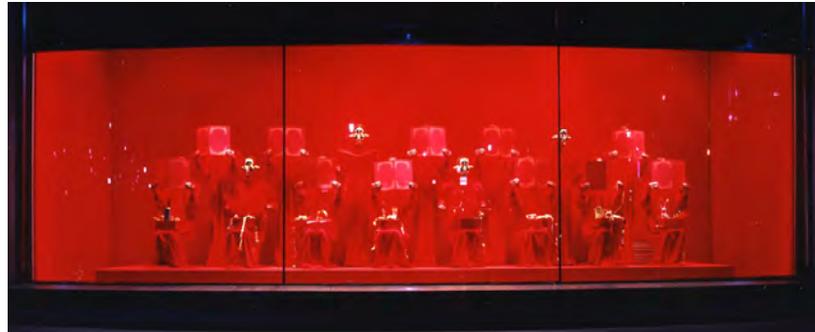


八鳥 治久
HATTORI Haruhisa
千葉県立千葉高等学校
大学8回生 (60.3卒)

- 60 株式会社和光入社
以降01にかけて、宣伝企画部長、
デザイン企画部部长、取締役、
常務取締役、デザイン顧問等を
歴任。この間、70~00にかけて
ショーウィンドウのデザインを
担当。
- 00 八鳥治久デザイン事務所設立
03よりJRタワー札幌ステラブ
レイス ショーウィンドウのデ
ザインを担当。

- 教育歴
- 69~00 千葉大学工業短期大学部非
常勤講師、千葉大学工学部非常
勤講師
 - 79~06 文化服装学院特別講師
 - 80~06 武蔵野美術大学非常勤講師
 - 02~04 中国清华大学美术学院客座
教授

和光ショーウィンドウディスプレイ Show Window Display for WAKO



聖歌隊 1980 日本ディスプレイデザイン賞 最優秀賞



夏 1984 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞

受賞

- 1972 日本ディスプレイデザイン賞 銅賞
 1973 日本ディスプレイデザイン賞 銀賞、
 銅賞
 1974 SDA賞 銀賞
 1976 日本ディスプレイデザイン賞 銀賞
 1977 日本ディスプレイデザイン賞 銅賞
 1980 日本ディスプレイデザイン賞
 最優秀賞
 1981 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1982 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1983 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1984 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1985 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1986 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1987 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1988 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1990 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1991 日本ディスプレイデザイン賞
 最優秀賞
 1994 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞
 1995 日本ディスプレイデザイン研究賞
 優秀賞
 2000 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞

和光ショーウィンドウディスプレイ Show Window Display for WAKO



風 1988 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞



白鳥 1990 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞

著書

- 1987 「デザインの眼」(學藝書林)
1988 「How To DISPLAY デザイナーに贈るディスプレイソース」(グラフィック社)
1992 「和光のウィンドウ」(リポレポート)
2000 「How To DISPLAY 楽しさを作る33のディスプレイ要素」(グラフィック社)

共著

- 1981 「銀座和光のウィンドディスプレイ」(九龍堂)
1986 「6人のディスプレイディレクション」(六耀社)
1990 「ディスプレイの情報社会」(NTT出版)
1996 「展示学事典」(ぎょうせい)
1997 「ディスプレイの世界」(六耀社)

所属団体

- 1971～ 日本ディスプレイデザイン協会
1987～2002 日本VMD協会 理事長、
現在 評議員

和光ショーウィンドウディスプレイ Show Window Display for WAKO



秋 1991 日本ディスプレイデザイン賞 最優秀賞



龍 2000 日本ディスプレイデザイン賞 優秀賞

JRタワー札幌ステラプレイスショーウィンドウディスプレイ Show Window Display for JR Tower Sapporo Stellar Place



イカロス 2003



星空の豹 2003



花模様 2006



睡蓮の池 2006



小林 康人
 KOBAYASHI Yasuto
 千葉県立第一高等学校
 大学9回生 (61.3卒)

- 61.4 富士通(株) 工業意匠課
工業デザイナー
- 79.6 本社宣伝部
- 85.6 デザイン部長
- 92.6 総合デザイン研究所長
兼務イメージライブラリ
取締役
- 97.1 生産システム本部長付
富士通ワーク
デザイン企画アドバイザー
富士通静岡エンジニアリング
デザイン企画アドバイザー
慈恵学園・非常勤講師
- 98.4 青葉学園短期大学
人間生活学科 教授
- 05.4 フリー
デザイン企画アドバイザー
人間工学会アーゴデザイン
部会員
トロック押しての会会員
- 08.5 ブチギャラリーONLを開設
・ストーンアート、コルクアート、
写真などの作品展示
モットー：自然体。

・ 著書

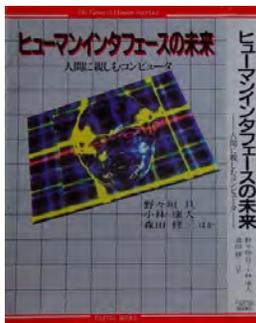
- 1991. 6 感性計測先端技術集成
人間工学的アプローチ・2章2節
(株)サイエンスフォーラム
- 1991. 7 ヒューマンインタフェースの未来
人間に親しむコンピュータ
(株)富士通ブックス：共著
- 1994. 10. オフィス環境プランニング
情報機器とオフィス環境：担当
(株)富士テクノシステム
- 1998. 5 ヒューマンインタフェース
機器と操作環境のデザイン：担当
(株)オーム社
- 2000. 10. ユーザー優先のデザイン設計
ワークスタイルと情報機器のデザ
イン：担当
共立出版株式会社
- 2001. 6 Webサイトづくり「成功の秘訣」
監修・共著
共立出版株式会社
- 2005. 9 人にやさしいユニバーサルデザイ
ン・美しく快適な社会にむけて・
共著
教育図書株式会社
- 2007. 5 人にやさしいユニバーサルデザイ
ン・改定版・教育図書株式会社

・ デザイン制作

- 1964. インターホンのデザイン
- 1965. 高速道路非常電話機のデザイン
- 1966. 磁気ディスク装置のデザイン
- 1967. データーライターのデザイン
電子交換機のデザイン
- 1969~84 富士通カレンダーの企画製作
- 1990. シグマシステム株式会社
・シンボルマークのデザイン
・社名のデザイン
- 2006. 神奈川大学・人間工学研究室
ポスターのデザイン



電子交換機のデザイン
 (ミニチュア模型)



著書: ヒューマン
インタフェース 表紙



著書: Webサイトづくり
成功の秘訣 表紙

・ 学術論文

- 1987. 6 新しい道具の出現と人間工学
(日本人間工学会誌 Vol. 23)
- 1987. 10. 情報機器と使いやすさの考察
計測自動制御学会・特別企画
(ヒューマンインタフェース)
- 1990. 10. 銀行営業店舗におけるハーモナイ
ズドデザインの展開
計測自動制御学会・特別企画
(ヒューマンインタフェース)
- 1991. 6 作業システムの人間工学的条件
(日本人間工学会誌 Vol. 27)
- 1991. 12. お客様とのお客様のためのデザ
イン (日本人間工学ID部会報)
- 1992. 12. コミュニケーション・デザインと
その展開 (日本人間工学ID部会
報・ソフトデザインの目指すもの)
- 1994. 6 情報化社会の落とし穴
(日本人間工学会誌 Vol. 30)
- 1995- 3 制御室の人間工学的設計 (ISO-TC
159 - WG8)
(日本人間工学会誌 ISO /TC-159対
策委員会の歩み)
- 1995. 3 ハーモナイズドデザイン・
新しい視点からの取り組み
(アーゴデザイン部会Vol. 15)
- 1995. 6 日本から発進する・新しい規格
(日本人間工学会誌Vol. 32)
- 1997. 5 人間工学国際規格 JIS規格便覧
(日本人間工学会・国内対策委
員会)
- 1999. 11. 21世紀におけるワークスタイル
の一考察
青葉学園短期大学紀要 第24号

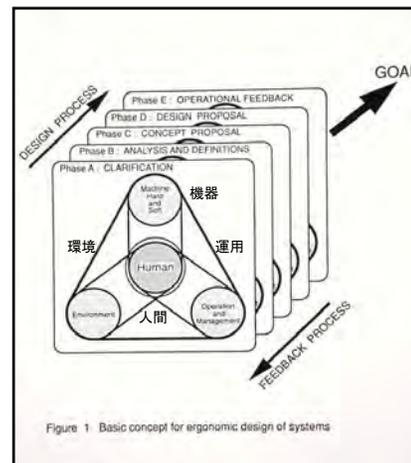


図: 日本よりISOへ提案した「人間工学
システム設計」の基本的考え方



著書：ユニバーサル
デザイン 表紙

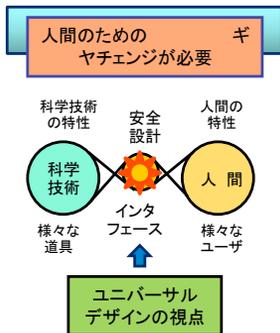
- ・一般誌
- 1986. 6 インナーオフィス：共著
(デザインニュース 203号)
日本産業デザイン振興協会
- 1990. 9 POSのデザイン
FUJITSU. Vol. 42 富士通社内報
- 1990. 10 スペースデザイン考
ED (エンパイロメントデザイン) No. 37 近代家具出版
- 1992. 7 ビジュアルコミュニケーション・
デザインの考え方とその活動
共著
FUJITSU. Vol. 43 富士通社内報
- 1992. 3 情報化とオフィス・共著
ED (エンパイロメントデザイン) No. 44 近代家具出版
- 1926~3. ハーモナイズドデザイン
技術と経済NO. 302-312隔月/6回
(科学と経済の会)
- 1993. 5 ヒューマンインタフェースの考え方・共著
富士通ジャーナルNo. 207
- 1993. 9 インナーオフィス・未来オフィスのデザイン
FINIPED-76 特集：情報と感性Ⅱ
情報処理教育助成財団
- 1994. 1 新しいデザイン活動とGUIデザイン
Sinfontic レポートNo. 7
統計情報開発センター
- 1994. 5 ヒューマンインタフェースデザインによる金融機関店舗のシステム設計
経営システムVol. 4 No. 2
日本経営協会
- 1996. 2 マルチメディアがオフィスを変える「オフィスはパソコンの中にある」
OFFICing No. 7 松下電工
- 1996. 5 生活者のためのマルチメディア情報サービス：共著
FUJITSU. Vol. 47 富士通社内報



インナーオフィス (コンピュータの中のオフィス) と新しいデスク (模型)



企業内デザイン誌
掲載ページ



講演:ユニバーサルデザイン
説明資料

・外部講師と講演

- 1986. 0Aオフィスとスペースデザイン
主催:日刊工業新聞
- 1987. 使いやすさとGB/BB
主催:日本人間工学会ID部会
- 1987. 情報機器の使いやすさ
主催:ヒューマンインタフェース
学会
- 1988. 情報機器と人間工学
主催:日本人間工学会第29回大会
- 1989. オフィスアメニティ
主催:生理人類学会
- 1990. 情報機器の新しいトレンドとデザ
イン技術 依頼:企業経営研究所
- 1992. 11 コミュニケーションデザイン
主催:日本人間工学会
- 1993. 10 マルチメディア総合基礎研修
「人間工学とデザイン」:担当
依頼:マルチメディアソフト協会
- 1994. 1 情報化社会の落とし穴
主催:日本人間工学会
- 1994. 2 21世紀の情報社会
依頼:神奈川県リカレント教育
- 1995. 1 マルチメディア社会の展望・講演
依頼:長岡市企業振興課
- 1996. 1 マルチメディアとデザイン・

21世紀への展望

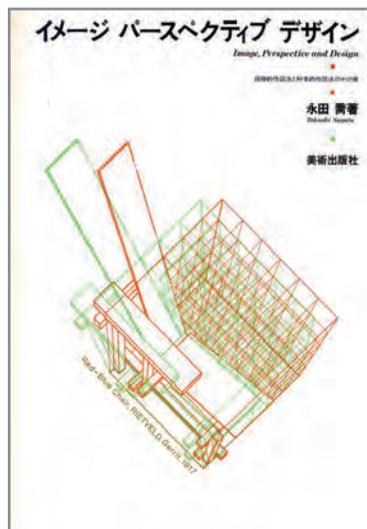
- 1996. 2 依頼:川崎市企業振興課
生活情報化とデザイン・講演
- 1996. 3 依頼:神奈川県中小企業センター
情報機器における安全性への取
組・講演
主催:日本人間工学会
- 1996. 3 富士通のヒューマン
インタフェースの取組
依頼:富士テクノシステム
- 1997. 2 地域情報化とデザイン・講演
依頼:島根県山陰経済経営研究所
- 1997. 8 企業戦略に基づいたデザイン研
究所の取組
主催:日本テクノセンター
- 1998. 6 ヒューマンインタフェースの
来(シンポジウム)
主催:日本学術会議
- 2000. 10 今ワークスタイルが変わる
・講演
主催:神奈川県中小企業経営セン
タ、神奈川県デザイン機構
- 2001. 12 Webサイトつくりの秘訣
主催:日本テクノセンター
- 2006. 9 ユニバーサルデザイン・講演
依頼:川崎ロータリークラブ

永田 喬

NAGATA Takashi
埼玉県立浦和高校
大学6回生(61.3卒)

University of California at Los Angeles (69 MA), De Montfort University, United Kingdom (99 PhD), 03 定年退職、03- 台湾国立成功大学および他大学の客員教授、03 オーストラリア・モナッシュ大学フェロー。65 台湾 中国生産力及貿易中心主催セミナーに参画、83 中国 湖南大学に派遣(JICA)、デザイン系学科設立に協力、84 シンガポール国教育部に派遣(JICA)、85 香港デザイン・セミナーに招聘(APO)、90 ロンドン大学インペリアルカレッジ・ビジティングレクチャラー、01、02 オーストラリア・モナッシュ大学で学生指導。
08 日本デザイン学会および日本工業デザイン協会名譽会員。

■主な著作



イメージ パースペクティブ デザイン 1979
美術出版社
Image, Perspective and Design 1979

担当していた授業のためのテキスト。学生時代に教えられた古典的図法に疑問をもち、空間理解と図法の原理からそれらを踏まえてデザイナーが必要とされる描くための図法を示した。そのためにはいくつかの新たな幾何学的研究を根拠とした。また理解を助けるために赤緑3D表現を用いた。



中国 湖南大学セミナー公式報告書
(吉岡道隆と共著) 1983 JICA
Seminar on Industrial Design:
JICA SEMI/1.82

日本国際協力事業団(JICA)の要請により中国湖南省長沙の湖南大学に工業設計学科設立にあたって、全国から集まった教師たちに行ったデザインセミナーの報告書。A4全260頁(英文・中文)



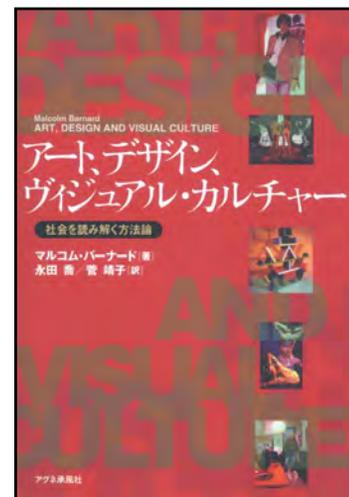
訳書 アメリカの機械時代 1918-1941
1988 鹿島出版会
THE MACHINE AGE IN AMERICA 1918-1941

1986年10月からニューヨーク・ブルックリン美術館で開催された同名の展覧会のカタログの全訳で、その後ピッツバーグ、ロサンゼルス、アトランタで巡回展が開かれている。2つの世界大戦の間の時代的雰囲気とエネルギーを機械、ランドスケープ、輸送機械、建築、美術などを通して示されている。全362頁余。



訳書 現代アメリカ・デザイン史
1991 岩崎美術社
THE AMERICAN DESIGN ADVENTURE

アメリカのデザイン史は断片的に伝えられていたが、アメリカ人自身が著してこなかったためよく知られてこなかった。本書は第2次世界大戦後を扱っている。筆者にはコロニアル時代から扱ったAmerican Design Ethic (1983)があるが日本では翻訳されていない。全413頁。



訳書 アート、デザイン、ヴィジュアル・カルチャー 2002 アグネ承風社（菅靖子と共訳）
DESIGN AND VISUAL CULTURE

わが国ではまだなじみのないヴィジュアル・カルチャーという視点から、視覚的に表された美術やデザインの表象の意味を読み解くことを述べた書。つまり、アーティスト・デザイナーが意識的、あるいは無意識に作品に込めた意味を解読することの必要性を例示しながら説かれている。A5版全232頁。



佐藤 中信
 SATOU Nakanobu
 長野県立松本深志高等学校
 大学11回生 (63.3卒)

浅野スレート(株);業界新聞・雑誌
 広告デザイン、カタログ・カレン
 ダーデザイン。(株)開成学習研究
 所;社内広報・教材開発を経て、
 80.4 フリーイラストレーター。

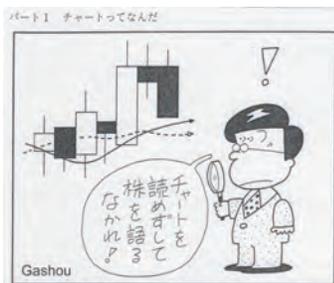
NHK出版、婦人生活社、日本文芸社、
 経営実務出版、海南書房、泰光堂、
 学研、サンエス技研など、雑誌・
 書籍のイラスト多数。

面白キャラクターの制作、au携帯
 「待受画像」、「おもしろキャラ
 駄館」ブログ、自作落語・漫才な
 どのWeb寄席「おたのしみ寄席やじ
 うま亭」を展開。
 詳細はホームページ「ぎやらりー
 徒然庵」に掲載。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/omoshiroya/gallery.html>



浅野スレート社
 '65カレンダーイラスト



(ビジネス実務書から)
 株取引の話



NHKきょうの健康カット



NHKきょうの健康カット



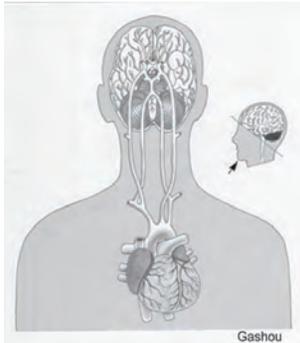
(ビジネス実務書から)
 ビジネスと効率



NHKきょうの健康カット



(NHKきょうの健康から)
 太り過ぎの原因



Gashou

(NHKきょうの健康から)
脳と心臓の関係



Gashou

(NHKきょうの健康から)
心臓のメンテナンスを



Gashou

(NHKきょうの健康から)
医師と患者の信頼関係を



Gashou

'98二科展デザイン部
特別テーマ入選
備蓄米「たくわえくん」
のキャラクター



Gashou

NHKきょうの健康カット



Gashou

(NHKきょうの健康から)
C型肝炎ウイルス



Gashou

(防災グッズキャラクター)
犬のおまわりさん



Gashou

(ビジネス実務書から)
ビジネスマナー



au携帯「待受けプロダクション」
待受け画像



au携帯「デコフラ待受け
ヒット10」デコメ画像



au携帯「デコフラ待受け
ヒット10」デコメ画像



au携帯「デコフラ待受け
ヒット10」デコメ画像



UP-SOLD インターネット
ショップ出品



au携帯「待受けプロダクション」
待受け画像



au携帯「待受けプロダクション」
待受け画像



漫画
第19回凡展出展



「噴火する火山」
CG絵画 第14回凡展出展



「月下満開」
CG写真 第14回凡展出展



第4回茨城カートゥーン
漫画大賞 奨励賞



季刊誌「わたしのここから」
表紙イラスト' 08秋号



「台風近し」
CG写真



「月下美人」
CG写真



「おぼろ月夜」
CG写真



提案
視界良好観光タクシー



鈴木 成治

SUZUKI Shigegi

静岡県立浜松北高等学校
大学11回生（1963.3卒）63.4 鐘淵紡績株式会社入社
意匠研究所配属65.7～66.1 ナイロビ駐在員（1年
6ヶ月）

73 ファッション情報開発課長

85 株式会社カネボウファッ
ション研究所取締役

05.10 同上取締役退任

94.4～07.3 日本女子大学非常勤
講師（家政学部被服学科）01.4～09.3 共立女子大学非常勤
講師（家政学部被服学
科）

シルクネクタイ 1969

国内向、ドレス用（水玉変形
ボーダー）デザインであったが、
ネクタイ用として採用された。

工業意匠学科では平面デザイン専攻。これからの社会は「女性の時代」になると考え、女性のためのデザインをテーマにしようと志した。卒業後、鐘淵紡績株式会社に入社。テキスタイルデザイン(服地デザイン)制作を行う。



シルクスカーフ 1970

クリスチャン・ディオール

デザインは日本で制作し、パリディオール社で採用された。この年のディオール社のスカーフの中で、ベストセラーになった。



デザイン画「ブーケ」
1969



「竹」(シルク地プリント) 1964

繊維意匠コンクール(財)日本繊維意匠センター主催 銅賞受賞。

1960年代は、日本の既製服産業はまだ発展途上であり、流行は衣服のスタイルでなく、主に服地の柄、プリントデザインによって形成されていた。このころ、鐘紡は合成繊維の事業化を機に、プリントを世界的規模に拡販することを目指し、世界各地(パリ、ニューヨーク、香港、シドニー、ナイロビ)に情報拠点を設置、デザイナーを駐在員として派遣した。



「花園」シルクプリント 1970

1970年代、団塊世代の女性の社会進出が本格化し、いよいよ女性の時代が到来、日本の既製服産業も一気に開花する。そのためファッション業界に商品企画の前提となるトレンド情報のニーズが高まった。

こうした潮流の下、1980年、新たに独立採算の関連会社「鐘紡ファッション研究所」を立ち上げた。

デザインを中核にしなが、ライフスタイル分析をベースにした「トレンド情報販売」、商品企画をベースにした「ビジネス提案」など、あらゆる角度からソフトウェアビジネス化に挑戦した。鐘紡はもとより、産地、業界、異業種、海外では台湾、韓国、中国などに対し、ファッショントレンド情報、ファッション企画、ブランドビジネス、スペシャリスト育成、会員制情報サービスなどを積極的に展開した。



寺澤 勉
TERAZAWA Tsutomu
神奈川県立湘南高等学校
大学短2回生 (1963.3卒)

- 67 千葉大学教務員
 - 70 千葉大学助手
 - 67 東京工業大学工学部建築学科清家清研究室に内地留学
 - 87 拓殖大学助教授 (工学部工業デザイン学科)
 - 98 同大学教授 (工学研究科、工学部)
 - 99 博士 (工学) 千葉大学
 - 01 拓殖大学工学部工業デザイン学科学科長
 - 08 拓殖大学名誉教授
 - 10 現在、日本デザイン学会名誉会員、日本展示学会会員、日本ミュージアムマネジメント協会理事、日本ディスプレイデザイン協会理事
- を経て参与、東京モーターショー

企画グループ委員

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

「東京モーターショー」会場計画 The Exhibition Site Planning of TOKYO MOTOR SHOW



第35回 東京モーターショー (乗用車・二輪車) 北2ゲート 2001



第36回 東京モーターショー (商用車) 中央ゲート & モニュメント 2002



第37回 東京モーターショー (乗用車・二輪車) 北2ゲート 2003

「東京モーターショー」会場計画（ゲートデザインを中心に） & その他、公共作品+論文・著書

東京モーターショー（以下、TMS）は、世界の自動車に関する最新の製品と関係情報を一般に公開する「国際展示会」である。

その歴史をたどると1954（昭和29）年に日比谷公園で第1回を開催、第5回に後樂園（1958年）に会場を移し、第6回から27回（1987年）まで東京・晴海の国際見本市会場で22回（28年間）開催された。その後、1989年に新設された「幕張メッセ」を会場に第28回から2009年の第41回まで14回（20年間）開催。戦後の展示会の中でも集客力と内容の充実において実績が認められている「展示会」のひとつである。

私（寺澤）は、第9回（1962年）当時、千葉大学に在籍の森崇先生がTMS主催者の立場で会場計画を担当しておられた関係で、その設計アシスタントとしてお手伝い（学生アルバイト）をした。それを契機に晴海会場と幕張メッセでのTMSを体験、現在（2010年）まで、ほぼ48年間、会場全体の企画とプランニングと実施設計を担当している。

その間、日本の自動車産業は著しい経済の発展とともに成長した。TMSもそれと歩調を合わせて、世界の5大モーターショーに数えられる展示会に成長した。入場者数でいえば 約2週間の会期中100万人以上があり、パリサロンと並んで「人気のある自動ショー」である。

会場計画の主な内容は、出品面積の調整と小間割、会場全体のイメージづくり（ポスターデザインやサインの基本プラン等）やゲートのメーヅづくり、会場施設とサイン等の実施デザインなどである。

ここではTMSゲートデザインの2001年以降の変遷とその他の私の作品（写真）、論文・著書（リスト）を紹介する。



第38回 東京モーターショー（商用車）
中央ゲート 2004



第39回 東京モーターショー（乗用車・二輪車）
北1ゲート 2005



第40回 東京モーターショー(総合ショー)オブジェ 2007



第41回 東京モーターショー(総合ショー) 中央ゲート 2009



第40回 東京モーターショー(総合ショー) 北1ゲート 2007



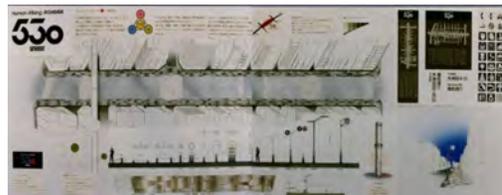
東京国際見本市ブースデザイン (DD奨励賞) 第13回東京モーターショー予告 1965



大阪国際見本市ブースデザイン (DD奨励賞) 第15回東京モーターショー予告 1967



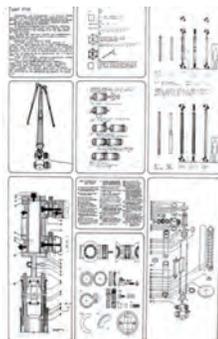
東京国際 グッドリビングショー
「会場デザイン」1976
寺澤勉・前田高裕・三村昌弘・今田博（共同制作）



「東京・秋葉原中央通り修景事業
モールリフレッシュ・計画」
デザインコンペ最優秀賞(実施設計・
施工図面・官庁折衝) 秋葉原
電気街振興会、1986～1995
寺澤勉・山本武人・高間豊・小椋勇記
夫（共同制作）



「横浜東邦病院サイン計画」
& 「老人保健施設“すこやか”
インテリア・エクステリア色彩実施計画」
寺澤勉・宮河良昭・中西理恵
(協力)



卒業制作=MOTEL (自動車旅行者のための宿泊施設) 1963



東京国際見本市ブースデザイン
DDA奨励賞「東京モーターショー
一予告」1964



「東京国際照明デザインコンペ 佳作賞」
Lighting System for Safety = 山際照明造形
美術振興会 1975
イタリア雑誌「domus」に掲載される。
寺澤勉・宮河良昭・前田高裕・梓田進 (共同制作)

論文／ ・「東京モーターショー会場計画のソフトコントロールの要件と構造」学位論文(千葉大学)、1999

・「日本デザイン学会」や「日本展示学会」等の学会論文など

著書／ ・「ディスプレイ小辞典」ダヴィッド社(共著) 1981

・「展示学事典」ぎょうせい(共著) 1996

・「ディスプレイの世界」六耀社(共著) 1997

・「環境デザイン・ベスト・ライブ」グラフィック社(共著) 2005

・「ディスプレイ」鹿島出版会(共著) 2010 など



宮崎 紀郎

MIYAZAKI Michio

静岡県立浜松北高等学校

大学11回生 (63.3卒)

博士 (学術) (97.3千葉大学)

63.4 キヤノンカメラ (株) 営業
部宣伝課デザイナー

66.8 千葉大学助手 (工学部工業
意匠学科)

97.7 教授

06.3 千葉大学定年退職

06.4~11.3 千葉大学グランフェ
ロー

10.4 千葉大学名誉教授

06~ 日本デザイン学会名誉会員

06~ JPC (Japan Packaging
Competition) 審査委員長

82.4~09.9 東京電機大学非常勤
講師 (工学部建築学科)

趣味: 囲碁、競馬、読書。

モットー: 敷衍して考える。



キャノラ新聞広告デザイン監修
(制作ライトパブリシティ) 1965

Advertisement of Canon Canola for Newspaper 1965



35ミリハーフサイズカメラ “DIAL35” パンフレット 1965

35mm Half Size Camera “Canon DIAL35” Pamphlet 1965



35ミリハーフサイズカメラ “デミ”
リーフレット 1966

35mm Half Size Camera “Canon
DEMI” Leaflet 1966



横浜博覧会トイレピクトグラム（東陶機器、大広）1989
Pictogram for Yokohama EXPO 1989



CHIBA CANCER CENTER

千葉県がんセンターシンボルマーク 1996
Symbolmark for Chiba Cancer Center 1996



千葉大学名誉教授章 1992
Badge for Professor Emeritus
Chiba University 1992



新聞レイアウト提案 1992
A Proposal For Newspaper
Top Page 1992



金融庁シンボルマーク 2000
Symbolmark for Japan Financial
Services Agency 2000



あいうえお
かきくけこ がぎぐげご
さしすせそ ざじずぜぞ
たちつてと だぢづでど
なにぬねの
はひふへほ ばびぶべぼ
まみむめも ぱぴぷぺぽ
や ゆ よ
らりるれろ
わみゑをん
千葉大学工学部工業意匠
宮崎紀郎 ユニバーサル
デザイン書体 花鳥風月

画面ディスプレイ用ユニバーサルデザインフォント 2007
Universal Design Font for Display 2007



千葉大学ユニオンシンボルマークデザイン 2004
Symbolmark for Chiba University Union 2004

イワタ丸ゴシック体
あめつちほしそらアメツチホシソラ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
• ABCDEFGHIJKLMNOPQR abcdefghijklmnopqrstuvw 0123456789
◦ ABCDEFGHIJKLMNOPQR abcdefghijklmnopqrstuwx 0123456789

イワタ丸ゴシック体
あめつちほしそらアメツチホシソラ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
• ABCDEFGHIJKLMNOPQR abcdefghijklmnopqrstu 0123456789
◦ ABCDEFGHIJKLMNOPQR abcdefghijklmnopqrstu 0123456789

イワタ中丸ゴシック体
あめつちほしそらアメツチホシソラ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
• ABCDEFGHIJKLMNOP abcdefghijklmnopqrstu 0123456789
◦ ABCDEFGHIJKLMNOP abcdefghijklmnopqrstu 0123456789

イワタ太丸ゴシック体
あめつちほしそらアメツチホシソラ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
• ABCDEFGHIJKLMNOP abcdefghijklmnopqrst 0123456789
◦ ABCDEFGHIJKLMNOP abcdefghijklmnopqrst 0123456789

丸ゴシック体「アルファ」書体デザイン 1988
Font Design 1988



千葉大学看護学部バッジ 1975
Badge for School of Nursing
Chiba University 1975



SND世界デザイン会議
フィラデルフィア大会
招待講演 1998
Guest Speaker of
SND (Society for News
Design) World Design
Congress in Philadelphia
1998

・ 研究論文・著書

1992. 3 新聞文字の読み取り量とイメージ (日本デザイン学会誌 No. 90)
1996. 5 モノクロ写真を使用した雑誌広告が与えるイメージ (同上)
1997. 1 The Effects of Colorizing and Positioning Pictures in the Newspaper Layout on its Image/Bulletin of JSSD, Vol.43, No.5
2002. 1 日本と台湾の新聞広告イメージ比較 (JSSD, Vol. 48, No. 5)
1993. 4 「インダストリアルデザイン」CIの章担当 (朝倉書店・共著)
2003. 10 「デザイン事典」出版デザインの項目担当 (朝倉書店・共著)

・ 海外講演

1994. 5 台湾における「1994広告デザインシンポジウム」招待講演
1998. 9 SND世界デザイン会議フィラデルフィア大会招待講演
1999. 3 「21世紀へ向けての視覚伝達デザイン」招待講演 (台湾)
2000. 1 「現代漢字デザイン及びデジタル化技術」招待講演 (台湾)



「21世紀へ向けての視覚伝達デザイン」
招待講演 (台湾) 1999
Design Congress in Taiwan 1999



Exempla' 81 伝統文化の漆 企画・展示
デザイン (於ミュンヘン) 1981
Sonderschau Japan Display Design 1981



大津 豊

OTU Yutaka

山口県立岩国高等学校
大学12回生 (64.3卒)

- 64.4 シチズン時計株式会社入社
技術部
- 65.11 シチズン商事株式会社
デザイン室
- 86.5 シチズン時計株式会社
生産性本部ライフデザイン
センター
- 01~05 雇用能力開発機構神奈川
センター

趣味：ダンススポーツ



シチズン電動レジスター

CR-31S 1964

Citizen Electric Cash Register CR-31S



シチズン電動レジスター

CR-Seven 1967

Citizen Electric Cash Register CR-Seven

当時の事務機器は、そろばん、手動計算機、手動タイプライター、和文タイプライターなど、手動が主であったが、アメリカで電動式が誕生すると、シチズンは多角経営化事業の一つとして参入した。新人に量産モデルデザインを担当させるほど開発競争は激しく、木型モデル承認後の金型手配用図面を一夜で仕上げなければならないほどであった。

電動レジスターは、電動加算器をキャッシュボックスに合体させた構造で、小規模商店を対象とした廉価モデルとして日米欧で販売。



シチズン液晶ポケット
テレビ 06TA-0J 1985
Citizen Liquid Crystal Display
Pocket Television 06TA-0J



シチズン液晶ポケット
テレビ 03TA-0J 1983
Citizen Liquid Crystal Display
Pocket Television 03TA-0J

シチズン液晶カラー
テレビ「ブックビジョン」
05TA-0J 1986
Citizen Liquid Crystal
Display Color Television

ウォッチメーカーが液晶デジタルウォッチ技術の応用製品として、液晶テレビの開発を競ったモデル群の一部。小型軽量省電のために、「バックライト無し」とし、「外光」で透過した映像をミラーに映して見るという独特の構造。主に日米で販売。



ネーミングも含めて担当したペーパーバックサイズのカラーテレビ。バックライト内蔵型のため、容積の半分は乾電池とバックライトが占めている。

今日隆盛を極めている大型液晶テレビと基本的な技術は同じで、当時の技術者は1メートルサイズの大型液晶テレビの登場を予言していた。

これが話題のブックビジョン
小さなポテに鮮やかなカラー画面がそのまま入った。●2.7型で、とても見やすい。●薄型ブックサイズで、携帯に便利。●ビデオモニター可能。●価格はなんと¥54,800。●21世紀を見透した最新の野心作。05TA-0J



宮崎 清

MIYAZAKI Kiyoshi

大学13回生 (65.3卒)

修士課程1回生(67.3修了)

67.4 千葉大学工業意匠学科助手

85.9 同助教授、91.3 同教授

96.4 千葉大学評議員(～05.3)

02.4 千葉大学工学部長(～05.3)

04.4 国立大学法人千葉大学理事
・副学長(～08.3)06.12 千葉大学地域観光創造セン
ター長(～08.3)08.4 放送大学特任教授・千葉学
習センター所長

千葉大学名誉教授

千葉大学グランドフェロー

85.3 工学博士(東京大学)

共立女子大学、東北工業大学、筑

波大学大学院、県立会津大学、農
業者大学校非常勤講師

68.5 日本デザイン学会正会員

97.4 同会長 (01.3まで)

01.4 同特設理事・監査(～現在)

74.4～日本生活学会正会員

94.4～日本道具学会正会員

96.4～日本工芸教育協会会員

05.4～日中科学技術交流協会会員

■ 主な著書

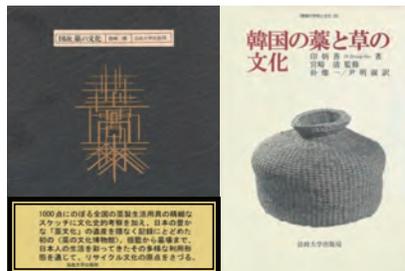
- ・漆碗の再発見 1989
- ・陶磁器の再発見 1991
- ・伝統的工芸品のグランドデザイン百箇条 1992
- ・伝統的工芸品のグランドデザイン 1996

以上、伝統的工芸品産業振興協会

- ・インダストリアル・デザイン 1993
- ・環境をデザインする 1997
- ・デザイン事典 2001

以上、朝倉書店

- ・現代デザインを学ぶ人のために
世界思想社 1996
- ・日本民俗辞典 吉川弘文堂 2000



- ・藁 I・II 1985
- ・図説藁の文化 1995
- ・韓国の藁と草の文化 1999
以上、法政大学出版局
- ・わら加工 農文協 2005
- ・「ワラの文化」考 三州足助屋敷
1989
- ・Encyclopedia of Vernacular
Architecture of the World,
Blackwell Publishers, Oxford, 1997
- ・デザインを地域の活力に 1996
- ・ひと・くらし・みのり 2000
水巡郷 2001
以上、関東広域圏産業活性化センター
- ・藁のちから 遠野市立博物館 1999
- ・日本民俗小辞典 吉川弘文堂 2002
- ・生活の創造 千葉県商工会議所 2009

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

■ 主な論文

- ・日本における生活空間構成とワラの文化に関する基礎的研究（博士論文）、東京大学、1985
- ・「文化」としてのデザイン、デザイン学研究59号、1987
- ・大漁祝着「万祝」の図像解析、デザイン学研究65号、1988
- ・地域社会における「適性デザイン」概念の検討、デザイン学研究66号、1988
- ・初期風俗画にみられる看板意匠、デザイン学研究69号、1988
- ・台湾における工芸文化の生成過程と現代的課題、デザイン学研究69号、1989
- ・腕を事例とした物質文化研究の視座と領域、デザイン学研究72号、1989
- ・前田正名にみる「内発的」地域開発理念、デザイン学研究77号、1990



- ・内発的地域振興の視座と過程、デザイン学研究40巻3号、1993
- ・設計(Design)與地方振興—以人心之精華建設地方、台湾手工業49号、1994
- ・台湾における地域文化の再生としての「社区総体营造」の展開、デザイン学研究43巻1号、1996
- ・CLOTHING MATERIALS IN THE NOVEL OF THE DREAM OF THE RED CHAMBER、5TH ASIAN DESIGN CONFERENCE、2001
- ・地域資源活用に基づく「ベトナム伝統工芸村」設立計画、デザイン学研究 48巻3号、2001
- ・IMPLEMENTING COMMUNITY EMPOWERMENT FOR POST-EARTHQUAKE COMMUNITY、THE SCIENCE OF DESIGN、Vol55、No5、2009
- ・洛陽地域における唐三彩制作技術の形成と変容、デザイン学研究第56巻第2号、2009
上記のほか論文多数

■ 受賞

- 66. 10 国際自転車デザインコンクール
特選3席 関西自転車産業協会
- 68. 12 幼児用家具セット入選
国際幼児家具コンペ
- 76. 10 Internationalen Handwerksmesse
Munchen、EXEMPLA'76
最高栄誉賞
- 84. 12 日本生活学会研究奨励賞
- 88. 10 日本デザイン学会賞
- 88. 11 福島県建築文化賞
- 89. 10 國井喜太郎産業工芸賞
- 99. 5 ドイツ国際コンペ・In Between
特別賞
- 99. 10 亜太編織藝術節工藝交流展
特別貢献奨
- 99. 11 日本デザイン学会特賞
- 00. 11 通商産業大臣賞
- 04. 10 Jiangsu Industrial Design Award
2004 江蘇省工業設計學術論壇暨
優秀設計評選 優秀學術獎
- 05. 3 新潟県高柳町 特別表彰
- 06. 11 中国江南大学設計科学與文化
研究所 特別貢献奨
- 06. 7 勝美勝賞
- 08. 11 三島町名誉町民
上記のほか受賞多数

■ 地域振興活動

・1967年より、地域に伝えられてきた生活文化・理念を地域振興デザインに活かしていく Design Survey を行い、地域の人びとと協働して内発的地域振興活動を展開してきました。そのなかで、国指定の伝統的工芸品が生誕しました。



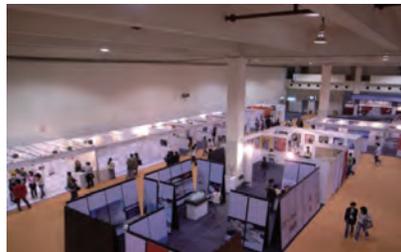
・経済産業大臣指定伝統的工芸品の生誕
福島県三島町編組



・経済産業大臣指定伝統的工芸品の生誕
新潟県山北地区科布



・国内外で藁の文化再興運動を提唱。野に出て地域の生活を学ぶ Design Survey のなかで、かけがえのないアジア圏の地域資源である藁の生活文化再興運動を提唱・実践してきました。



・国内外の Design Survey に基づく地域振興活動の実践事例を展示紹介し、アジア圏における生活文化デザインの振興を図ってきました。そのなかで、「社区総体營造」（台湾）、「アジアデザイン文化学会」などが生誕しました。

■ 主な社会的活動歴

【大学・研究関係】

中国湖南大学名誉教授 中国江南大学名誉教授
 中国華東大学客座教授 台湾雲林科技大学客座教授
 台湾実践大学客座教授 帝京平成大学客員教授
 中華人民共和国国家教育委員会招聘講師
 国立民族学博物館 共同研究員

【国関係】

経済産業省伝統的工芸品審議会 委員
 同省21世紀伝統的工芸品産業検討委員会 委員長
 国土庁過疎地域問題調査会 委員
 文部科学省文化審議会 専門委員
 学位授与機構大学評価委員会 委員

【自治体関係】

千葉県デザイン産業振興委員会 委員長
 幕張インターナショナルスクール 評議員・理事
 千葉県三番瀬保護マーク・標語選考委員会 委員
 佐原市CI計画策定委員会 委員長
 奈良市ならまち工芸工房整備研究会 委員長
 山梨県工業試験場運営委員会 委員
 福岡市新作博多織・博多人形展審査会 委員長

【民間関係】

環太平洋デザイン交流推進委員会 委員
 UNIDO Chief Technical Advisor
 INDUSTRIAL DESIGN SUMMER SEMINAR CPTC 講師

上記のほか委員会活動多数

■ 主な海外招待講演

- 94 設計 (Design) 與地方振興—以人心之精華建設
 地方 無錫輕工業学院
- 94 21世紀の設計理念 中国工業設計協會
- 94 日本地方産業振興の政策與施行 台湾國務院
- 95 社区総体營造 台湾行政院文化建設委員会
- 98 從「伝統地方工芸品産業」試論「産業文化化・文化
 産業化」國際社区美学研究会 台北國際會議中心
- 02 伝統造形文化の繼承與創新 地方工芸産業
 營運行銷策略國際檢討会 台北
- 05 生活形態與創造設計 台湾經濟部工業局創
 造型生活産業發展計畫國際檢討会 台北
- 06 生活工藝設計の意義 中国湖南大学
- 07 Regional Development Design Based on
 Traditional Resources 中国同济大学
- 11 伝統造形文化與自然環境保全 台湾嘉義蚶州社
 区総体營造國際檢討会 台湾嘉義文化中心



台湾手工業研究所市民広場に藁モニュメントを設置

■ デザインについての所感——学んできたこと



恩師・小池新二先生。写真は、工業意匠学科における最終講義（撮影：宮崎紀郎氏）。右は名著『汎美計画』。

小池先生が千葉大学を去られた1967年に当時の意匠論・意匠史研究室助手となり、爾来41年、終始、小池先生が遺されたメッセージを大切にしてきました。

「工藝の本質は飽くまでも『用』にある。材料や技術の進歩だけで工藝が発達するわけではない。そこには『生活』に対する、科学的検討、分析と総合がなければならない」 工芸家 2 ラッセルライト、『工芸ニュース』1948

「われわれは、工業の大規模な humanization を図るべきではないか」 工芸から工業設計（インダストリアルデザイン）へ、『建築雑誌』1949

「人間の作り出した文明である以上、飽くまでも人間のために奉仕するものでなければならぬ」 『デザイン』1965

これらの小池先生のメッセージは、モリスにも繋がっていました。

The condition of life and death in the heart of nations are also the condition of life and death in artists own.

William Morris

また、「意匠人心之華也」の格言にも繋がっていました。



私は、「手汗想創」（私の造語：手にいっぱい汗をかくほどに、一所懸命、さまざまなこと・ひとに想いをめぐらし、そして、創る）の思いを、これからも大切にしていきたいと思っています。



■ 公募展

石川 重遠
ISHIKAWA Shigetoh
新潟県立佐渡高等学校
大学短5回生 (66.3卒)
博士 (学術) (03.千葉大学)

- 65.4 (株) ブラン&コピー
デザイナー
- 66.6 フリーランスデザイナー・
イラストレーター
- 72.4 千葉大学教務員(工業短期
大学部工業意匠科)
- 86.7 千葉大学助手(工学部工業
意匠学科)
- 89.6 筑波技術短期大学大学
助教授-教授(デザイン学科)
- 05.10筑波技術大学教授
- 09.3 筑波技術大学定年退職
- 09.6 筑波技術大学名誉教授

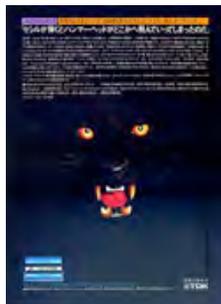
日本デザイン学会会員
日本国際児童図書評議会会員



第17回日宣美展 準入選 1967
JAAC 17th EXHIBITION 1967



第18回日宣美展 入選 1968
JAAC 18th EXHIBITION 1968



■ TDK雑誌広告イラストレーション 1976 Magazine Advertising Illustrations 1976

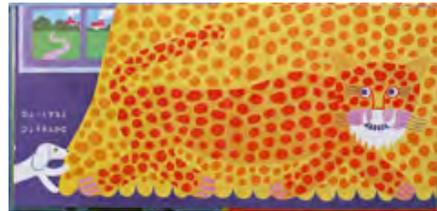
千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集



千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

■絵本 Picture Books

- ・みえる みえる 八木田宣子著
文化出版局 1971
- ・キリンはどこからくるの
福音館書店 1972
- ・かくれんぼ 文化出版局 1972
- ・だれのぼーる 文化出版局 1972
- ・にじのくに 文化出版局 1973
- ・にじます 福音館書店 1976
- ・ひっこし 福音館書店 1977
- ・のりものあれあれ絵本
文化出版局 1979
 1. じどうしゃ
 2. でんしゃ きしゃ
 3. ひこうき
 4. ふね
- ・Baby's Food For Good Health,
Asian Cultural Centre for Unesco,
1984



■グラフィックデザイン

Graphic Design



第4回国際毒科学会会議 1986
Symbol Mark Design 1986



第13回国際テレコミュニケーションズエナジー
会議 1991
Poster Design 1991

■研究論文

Papers · Thesis

- 1995.4 書体「ファット・フェイス」出現の要因
Factors Leading to Appearance of Fat-Face Type
- 1997.4 書体「ファット・フェイス」の形態形成
The Making of Form of Fat-Face
- 2002.1 イギリスにおける印刷ピラと見出し書体—1477年から1871年までの変遷
Printed Bills and their Display Typefaces in England —Their Changes from 1477 to 1871
- 2003.2 欧文書体「ファット・フェイス」の形成過程と出現の背景（学位論文）博士(学術)(千葉大学)
The Forming Process of Fat-Face Type and The Background of Its Appearance



安井 敏

YASUI Satoshi

名古屋商科大学付属高等学校
大学短6回生 (67.3卒)

67～71 石川ゼミ専攻課程

71～77 大学教務補佐員

77～91 王子職業技術専門校講師

86～95 (株) グローブス役員

96～ (株) BING INC代表

07～09 (株) 良品計画企画デザイン
室長

受賞

68 日本自転車デザインコンクール
特選一席

73 グッドデザイン賞 (自転車)

78 毎日ID賞特選三席 (子供乗り物)

91 グッドデザイン賞 (自転車)

04 グッドデザイン賞 (紙管ユニット)

05 iF design award gold prize
(紙管ユニット)

再生紙を使った紙管は、古今東西、幅広い用途に使われて来ました。軽く、丈夫で、安価、環境適合性等、その素材特性は他に類を見ません。

紙管は従来、全て丸管で作られて来ましたが、この製品は40x40mm角管を採用することで、今までにない実用性能を得ました。

収納棚、パーテーション、ワゴン、テーブル、ベンチ、ベッド台、ペットの家等。寸法をかえたり、色を塗ったり、カスタマイズも自在です。これらは、丸管では問題にならなかった、温度、湿度に拠る捻れの解消という生産技術の成果で実現出来たものです。

無印良品 角紙管ユニット
Square paper tube Unit System

2004 グッドデザイン賞受賞
2005 iF design award gold受賞



無印良品 角紙管ユニット

Square paper tube Unit System



Paper tube, made by recycled paper, has been used widely and globally. Paper tube whose characteristics are light, strong, reasonable price and environmentally friendly is quite rare and precious.

Normally paper tube is round shape. However this paper tube system applies square shape, which dimension is 40x40 mm, and makes the further practical function and usage.

We can use it for partition, shelter and so on. Any kind of customization is possible. Those possibilities have been realized by new production technology, which prevents from twisting the square tube caused by moisture.



佐子 武

SAKO Takeshi
都立墨田川高等学校
大学16回生 (68.3卒)

68.4 (株) 講談社出版研究所に
百科事典編集要員 (編集者) として
入社 (71年 講談社版『現代世界
百科大事典』完成)。

73.6 (株) ミサワホーム総合研究
所 (出版制作室) に入社。以後P
R誌の編集 (84年まで)。

82~ ミサワホーム総合研究所発
行の一般書店売り書籍「住まいの
文化誌シリーズ」全17巻の編集
長。編集業の傍ら、ワークとして
『形論のはじまり』を初めとする
エッセイ集 (私家版5冊、市販書
籍3冊) を刊行。また風景写真撮
影を趣味にし、作品を『旅人と呼
ばれん』を初めとする5冊の私家
版写真集と1冊の市販写真集にま
とめる。

03 ミサワホーム総合研究所を退
社し、編集事務所「竹枝庵 (ちく
しあん)」(TEL&FAX 03-
3814-8284) を開所。現在、書
籍の編集と著述にあたる。



・編集書籍

「住まいの文化誌」シリーズ (全17巻)
ミサワホーム総合研究所刊 1983~2000

「住まい」に多角的な光を当て、日本の住まいの行方を探ろうとした書籍シリーズ。執筆陣は学者、評論家、随筆家、小説家など各界で活躍する文化人各巻平均60名。ビジュアル化を目指し、見るだけで楽しい本になるよう心掛ける。読者対象を、住まいを建てる人、設計する人、販売する人に設定。

■ 日本図書館協会選定図書

■ 平成4年 建設大臣表彰

第1巻『日本人』(内容) 日本人の風土、日本人の美意識、日本人の伝統、素材と日本人、日本人のライフスタイル、変化する日本人

第2巻『天災人災』(内容) 災害の文化論、現代社会と災害、災害の科学、歴史から学ぶ、災害に強い住まい

第3巻『健康人間学』(内容) 自然と人間、現代を生きる、見る聞く触れる、労働休息眠り、住まいにかかわる病、健康法案内

第4巻『閑暇活人』(内容) 余暇と文明、茶の文化と華の文化、日本人の伝統的な余暇の過ごし方、日本における余暇の変遷、余暇と生活空間、今日の余暇 → 5巻に続く



→ 4巻から続く

第5巻『四季遊人』——四季と日本人と住まい

第6巻『人世祭事』——民俗と祭りと住まい

第7巻『室礼先人今人』

——日本の座敷の伝統的な使用法と装飾法

第8巻『道具人間家屋』——道具と生活と住まい

第9巻『家人三代』——三世代家族と住まい

第10巻『人間成長期』——子供と子育てと住まい

第11巻『邸宅佳人』——世界と日本の邸宅

第12巻『山海人居』——古今東西の別荘

第13巻『趣味人間』——趣味、仕事、そして併用住宅

第14巻『築蔵人間史』——蔵と収蔵と日本人

第15巻『広邸好人』——住まいの広さ狭さ

第16巻『創園』——庭と住まいと人間

第17巻『地球環境』——環境と住まいと人間

A4変型判、平均300ページ、発行部数/23万部
(シリーズ合計)。



- ・著作（エッセイと評論）
- 1975『形（かたち）論のはじまり』私家版
——人生論および造形論
- 1989『生存についての基礎的考察』私家版
——宗教的エッセイ
- 2002『日本風景抄』私家版
——日本各地の紀行
- 2002『無心と宇宙』私家版
——宗教論集
- 2003『美の再建』私家版
——美論と文明論
- 2005『四畳半再生記』智書房刊
——取り壊されることになった生家（明治時代創建）
の一部（客間だった四畳半と古風な風呂場）を
「離れ」として再生させた記録
- 2006『おじさんからの手紙——輝く未来の君たちへ』智書房刊
——宗教的エッセイ



- 2008『おじさんの骨董論』智書房刊
——骨董をテーマにした用具論、デザイン論



・著作（風景写真集）

1983『旅人と呼ばれん』私家版——モノクロ、B4変型判、140ページ

1986『風光頌』私家版——カラー、A4変型判、64ページ

1990『遊歩録』私家版——カラー、A4変型判、64ページ

1995『遊歩録 其の二』私家版——カラー、A4変型判、64ページ

2000『路傍の光景』私家版——カラー、A4変型判、72ページ

2004『身辺の風光』智書房刊——カラー、初の市販写真集、A4変型判、88ページ



丸山 和子

MARUYAMA Kazuko
 県立足利女子高等学校
 大学17回生(69.3卒)

69 本州製紙パッケージセンター(現 王子製紙)
 74 丸山デザイン事務所設立

社団法人日本パッケージデザイン協会会員

商品の想いを伝えるパッケージのフォルムデザイン、 それを可能にする構造設計(コンストラクションデザイン)

①新規性 ②メッセージ性 ③工業的生産性 ④経済性 を基盤とした意匠の追求
 具体的なデザイン作業は、生産現場でのパッケージの供給・組立・中身の充填・封緘・集積・
 配送・店頭での陳列というパッケージングシステムの様々な流れに対応させつつ、経済性を
 損わずに、商品に対するデザインする者の思想(想い)を破綻の無い形として結実させる事と
 言える

キャドバリージャパン Clorets ICE【クロレッツ アイス】(粒ガム)

2008 ジャパンパッケージングコンテスト

(JPI)日本包装技術協会主催 菓子包装部門賞



森永製菓 Lu i【リュイ】 (一口チョコレート)

2007 ジャパンパッケージングコンテスト

(JPI)日本包装技術協会主催 菓子包装部門賞



ロッテ airs【エアーズ】 (一口チョコレート)



GOOD DESIGN AWARD 2005

日本産業デザイン振興会 主催 グッドデザイン賞

2005 ジャパンパッケージングコンテスト

(JPI)日本包装技術協会主催 菓子包装部門賞



森永製菓 VELVET BITTER【ベルベツトビター】

(一口チョコレート)

2005 ジャパンパッケージングコンペティション

(JPC)日本印刷産業連合会 洋菓子部門賞



味の素 ほんだし ギフト用個装



AGF コーヒー・紅茶 詰め合わせギフト

2000 ジャパンパッケージングコンペティション

(JPC) 日本印刷産業連合会 日本百貨店協会会長賞



ロッテ Air CRUNKY (一口チョコレート)

ロッテ AIR-LE (一口チョコレート)





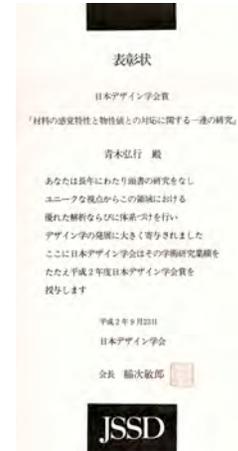
青木 弘行

AOKI Hiroyuki
 岐阜県立岐阜高等学校
 千葉大学大学院工学研究科
 (72.3修了)
 工学博士(88.4 東京大学)

- 74.06 千葉大学工学部工業意匠学科助手
- 88.07 同助教授
- 94.04 同教授
- 97.10 日本学術会議、人間と工学研究連絡委員会委員
- 98.01 文部省学術審議会専門委員
- 98.10 日本感性工学会理事
- 98.11 学位授与機構審査会専門委員、造形工学・芸術工学部会主査
- 06.01 全国発明表彰選考委員会委員意匠専門部会副部会長
- 06.04 機械工業デザイン賞(日刊工業新聞社)、専門審査委員会代表
- 08.04 日本デザイン学会会長
- 12.04 大学評価・学位授与機構、日本技術者教育認定機構、認証評価委員会専門委員
- 13.04 千葉大学名誉教授

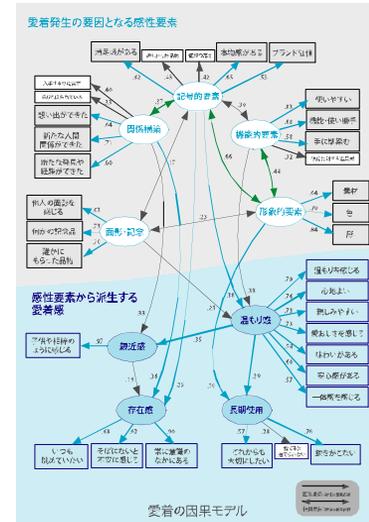
■ 主な学術論文

- ・プラスチックフィルムの劣化に関する速度論的考察、材料、Vol.21、309-314、1972
- ・障害者教育の教具開発に関する研究、デザイン学研究、No.19、3-36、1974
- ・Photo-oxidative Degradation of Polyvinyl Alcohol and Measurement of Thermally Stimulated Current, European Polymer Journal, Vol.16, 571-575, 1980
- ・Thermo-oxidative Degradation of Polyvinyl Formal and Measurement of Thermally Stimulated Current, European Polymer Journal, Vol.16, 577-581, 1980
- ・「デザイン」ということばの領域と規範の探求、デザイン学研究、No.42、102-152、1983
- ・表面性状の触温度感覚に及ぼす影響について、デザイン学研究、No.53、37-42、1985
- ・天然皮革と代替皮革材料の風合いの比較、デザイン学研究、No.53、43-48、1985
- ・乗心地の良いソフトバイクシート形状に対する設計方法の検討、デザイン学研究、No.56、19-24、1986
- ・ソフトバイクシートの乗心地と物性値との関係、デザイン学研究、No.53、25-30、1986
- ・材料感覚の変容と材料体験の関連性—ワラとプラスチックを対象として、デザイン学研究、No.57、5-12、1986



材料開発・材料物性というハード的側面に留まらず、ハードとソフトの融合を目指し「材料計画」という概念を導入。デザイン材料が有する各種物性値と感覚特性との対応関係を解明した一連の研究が、デザイン学における重要な方向性を提示したものとして日本デザイン学会賞を受賞。1990

- Dielectric Properties of Thermooxidized Poly(vinyl Formal), Journal of Polymer Science, Polymer Physics Edition, Vol.25, 369-378, 1987
- Study on Thermal Behavior of Thermooxidized Poly(vinyl Formal), Journal of Polymer Science, Polymer Chemistry Edition, Vol.25, 369-378, 1987
- 腕の感覚特性と形状構成要素との関連、デザイン学研究、No.72、83-90、1989
- 生活用具としての腕の物理的特性、デザイン学研究、No.72、91-98、1989
- 材料分類における要因の検討、デザイン学研究、No.83、83-90、1991
- 材料選定のためのガイドラインの検討、デザイン学研究、No.83、91-98、1991
- 音色イメージを考慮した信号音の操作特性、デザイン学研究、No.91、37-44、1992
- Ni-Ti合金の組成と熱処理が形状記憶特性に及ぼす影響について、材料、Vol.42、1103-1108、1993
- 強化繊維組成の違いによるハイブリッド効果の検討、デザイン学研究、Vol.40、No.4、43-50、1993
- 材料物性値を推論するニューラルネットモデルの構築とハイブリッド効果の探索、デザイン学研究、Vol.42、No.4、31-40、1995
- 反復冷凍処理による [PVA-PAA] ゲルの構造について、材料、Vol.44、1047-1052、1995
- ゲルの伸縮挙動を利用したアクチュエータの可能性、デザイン学研究、Vol.42、No.5、65-70、1995
- インタフェースとしての材料研究—材料計画からのアプローチ、設計工学、Vol.39、No.6、202-207、1998
- 材料技術と道具観の相互依存製に関する考察、デザイン学研究、Vol.47、No.6、17-26、2001
- Design Guidelines for Environmentally Conscious Products with Consumers' Behavior, The Science of Design, Vol.48, No.6, 95-104, 2002
- Haptic Evaluation on Malay Females' Traditional Clothes in Kansei Perspective, KANSEI Engineering International, Vol.3, No.2, 23-30, 2002



■ 愛着の因果モデル
 愛着発生要因となる感性要素と、感性要素から派生する愛着感を特定し、愛着の因果モデルを共分散構造分析を用いて導出
 デザイン学研究。2005

- ・ 2次元フーリエ変換を用いたテクスチャ解析法によるメタリック塗装中の光輝材分散性評価、色材、Vol.77、No.1、7-12、2004
- ・ 愛着の発生に関わる因果モデルの構築—人工物設計における質的転換を目指して、デザイン学研究、Vol.51、No.6、45-52、2005
- ・ 材料計画の枠組み、デザイン学研究、特集号、Vol.13、No.2、2-3、2005
- ・ Shape and Form's Characteristics of Japanese & Vietnamese Traditionally Daily Products, The Science of Design, Vol.56, No.3, 31-40, 2009
- ・ 韓国における高齢者福祉施設に関する研究動向に対する一考察、デザイン学研究、Vol.56、No.5、47-54、2010
- ・ Study on Current Situations of Service Engineering Research and Necessity of Product Value Creation, The Science of Design, Vol.56, No.5, 65-72, 2010
- ・ サービス・プロダクトデザインにおける価値共創について、デザイン学研究、Vol.57、No.3、87-96、2010
- ・ Conceptualization of Product Subjective Sustainability, The Science of Design, Vol.58, No.1, 1-6, 2011
- ・ Approaching Product Subjective Sustainability—Comparative Analysis of the Lifecycle of Short- and Long-lived Products from the Viewpoint of *Kansei* Engineering, Design Principles and Practices, an International Journal, Vol.5, 1-28, 2011
- ・ 持続的発展に向けた価値の創造—時間軸をデザインする時代、横幹、Vol.6、No.1、5-8、2012

■ 工学博士 学位論文

高分子の劣化現象に関する基礎的研究
東京大学 1988

- The levels of *Kansei* Items and their Structure from Product Lifetime and Lifecycle Points of View
Seyed Javad Zafarmand (IRAN)氏との共同研究
Design Principles and Practices, an International Journal,
COMMON GROUND, 2011

■ 受賞

- 81.3 33rd Internationalen Handwerksmesse München / EXEMPLA'81, Highest Honor Prize
- 83.10 1st International Design Competition, Special Award
- 90.9 日本デザイン学会、学会賞「材料の感覚特性と物性値との対応に関する一連の研究」に対して
- 02.9 International Journal of Industrial Ergonomics, Best paper Award「An Investigation into a Synthetic Vibration Mode for Humans」
- 02.11 日本デザイン学会、年間論文賞「Development of Pediatric Polycentric Knee Joint from Materials Viewpoint」
- 09.12 EcoDesign 2009 (6th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing), Best Paper Award

Mexico, it is advisable to build SOENFICOSY in the four harbors (Manzanillo, Tampico, Salina Cruz, and Progreso) of this country. This system features a heat collector which collects the sun's heat in the daytime, thereby generating electricity. In the nighttime, the electricity is charged into a battery so that the system is kept in continuous operation.

Explanatory Comment
Applicable in other countries with comparable climatic, economic and technical conditions, this solar energy solution to the crucial problem of conserving the fishing harvests in four Mexican ports was granted for its realism, careful research and sense of social responsibility. It was hoped that official support would be forthcoming to develop the project.

Profile of the Prize Winner
Sergio Rivera Conde (born in 1968, Mexico City, Mexico, Post-Graduate Professor, Industrial Design Faculty of Universidad Autónoma Metropolitana Xochimilco Unit, Mexico City, Co-producer Hiroyuki Aoki)

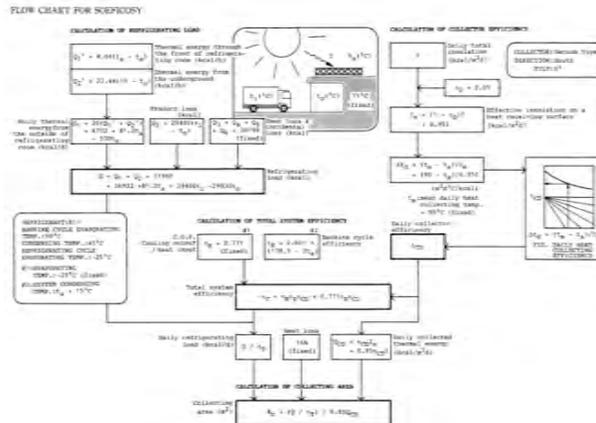


■ 第1回国際デザインコンペティション：テーマ [集] 特別賞 1983

SOENFICOSY-Solar Energy Fish Conservation System (太陽熱利用の魚保存装置)

Sergio Rivera Conde (Mexico)氏との共同制作

[選評] 類似の気候、経済的、技術的条件があれば、他の国でも利用できるもので、太陽エネルギーを使って、メキシコ国内の4つの漁港における漁獲物を保存するという重要な課題に対する解答は、その実用性、慎重な研究および社会的責任という面で高く評価された。なお、この作品を実現するための公的な援助が得られれば、との希望が表明された。



■ 主な科学研究費補助金

- ・感性情報データベースの構築とユニバーサルデザイン設計支援ツールの開発、2004-05年度
- ・ Analysis of Product Subjective Sustainability through *Kansei Engineering Approach*, Grant-Aid for JSPS Fellows, fiscal 2009/10
- ・愛着に着目した設計方法論の構築、2009-11年度

■ 主な著書

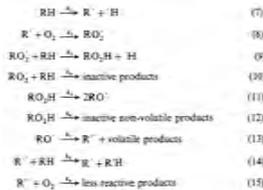
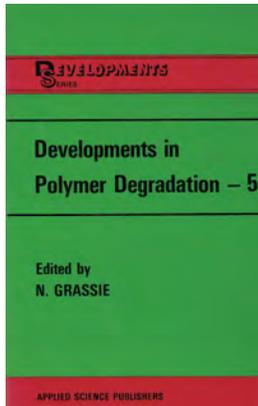
- ・ Developments in Polymer Degradation – 5, Oxidation of Polymers and Associated Thermally Stimulated Current, 149-191, Elsevier Applied Science Publishers, 1984
- ・ デザイン事典、朝倉書店、2003
- ・ 工業デザインのための材料知識、日刊工業新聞社、2008
- ・ かたち・機能のデザイン事典、丸善、2011

■ 材料体験[survey]の一例(『工業デザインのための材料知識』より)

- ・ ポリエチレンやポリプロピレンからできている製品を燃やして、その状態を観察してみよう。
- ・ 型跡(ゲート跡、割型のパーティングライン、突き出しピン跡)を確認してみよう
- ・ みかんを包装してあるネットの作り方を考えてみよう。
- ・ 家庭用掃除機を利用して簡易シート成型器を作り、既存の形状を写し取って壁飾りを作ってみよう。
- ・ 割り箸に水を十分含ませた後、電子レンジで加熱して柔らかくし、曲げてみよう。
- ・ ケント紙を用いてハニカム構造を作ってみよう。完成した構造体に物を載せ、その強さを体感してみよう。



材料と生産技術に関する知識の入門書
記載内容をより深く理解するために、
「材料体験」を重視して編集
岩井正二氏(大学院2回生)と共著
発行: 日刊工業新聞社 2008



■ Developments in Polymer Degradation-5 (Elsevier Applied Science Publishers, USA) 1984

高分子の劣化現象に関する独創的研究成果を紹介する世界的啓蒙書
 高分子材料の劣化現象を、反応過程で生成する各種カルボニル基に着目し、その挙動を速度論的観点から
 検証。生成カルボニルが熱刺激電流を増大させることを理論的に解明。

If steady-state conditions can be assumed to exist for the radicals R[·], R[·], RO[·] and RO₂[·], then,

$$\begin{aligned}
 \frac{d}{dt}[\text{R}^\cdot] &= k_1[\text{RH}] - k_2[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] + k_3[\text{R}^\cdot][\text{RH}] = 0 & (16) \\
 \frac{d}{dt}[\text{R}^\cdot] &= k_1[\text{RO}^\cdot] - k_4[\text{R}^\cdot][\text{RH}] - k_5[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] = 0 & (17) \\
 \frac{d}{dt}[\text{RO}_2^\cdot] &= k_2[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] - k_3[\text{RO}_2^\cdot][\text{RH}] - k_4[\text{RO}_2^\cdot][\text{RH}] = 0 & (18) \\
 \frac{d}{dt}[\text{RO}^\cdot] &= 2k_4[\text{RO}_2\text{H}] - k_5[\text{RO}^\cdot] = 0 & (19)
 \end{aligned}$$

Rearranging eqns (16) and (18), solving eqn (17) for [RO[·]] and substituting this expression into eqn (19), the following expressions are obtained:

$$\begin{aligned}
 k_1[\text{RH}] &= k_2[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] - k_4[\text{R}^\cdot][\text{RH}] & (20) \\
 2k_4[\text{RO}_2\text{H}] &= k_3[\text{R}^\cdot][\text{RH}] + k_3[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] & (21) \\
 k_2[\text{R}^\cdot][\text{O}_2] &= (k_3 + k_4)[\text{RO}_2^\cdot][\text{RH}] & (22)
 \end{aligned}$$

Also, the rate of hydroperoxide formation may be written as

$$\frac{d}{dt}[\text{RO}_2\text{H}] = k_3[\text{RO}_2^\cdot][\text{RH}] - (k_3 + k_4)[\text{RO}_2\text{H}] \quad (23)$$

Solving eqns (20)-(22) for [RO₂[·]],

$$[\text{RO}_2^\cdot] = \frac{k_1(k_2[\text{RH}] + k_4[\text{O}_2]) + 2k_4k_1[\text{RO}_2\text{H}]}{(k_3 + k_4)(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2])} \quad (24)$$

and substituting this expression into eqn (23) gives

$$\frac{d}{dt}[\text{RO}_2\text{H}] = [\text{RO}_2\text{H}] \left\{ k_4 + k_4 \frac{2k_1k_2k_3[\text{RH}]}{(k_3 + k_4)(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2])} \right\} - \frac{k_1k_3[\text{RH}]}{k_2 + k_4} \quad (25)$$

The rate of carbonyl formation (v_{C=O}) is obtained from eqn (12) as

$$v_{\text{C=O}} = k_5[\text{RO}^\cdot] \quad (26)$$

Integrating eqn (25) with the boundary condition, t = 0 when [RO₂H] = 0, leads to

$$[\text{RO}_2\text{H}] = \frac{k_1k_2[\text{RH}]}{(k_3 + k_4)A} (1 - \exp(-At)) \quad (27)$$

The rate of carbonyl formation is given by substituting this expression into eqn (26)

$$v_{\text{C=O}} = \frac{k_1k_2k_5k_4[\text{RH}] + k_4[\text{O}_2](1 - \exp(-At))}{(k_3 + k_4)(k_2 + k_4)(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2]) - 2k_1k_2k_3[\text{RH}]} = B(1 - \exp(-At)) \quad (28)$$

where

$$A = k_4 + k_5 - \frac{2k_1k_2k_3k_4[\text{RH}]}{(k_3 + k_4)(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2])}$$

$$B = \frac{k_1k_2k_5(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2])}{(k_3 + k_4)(k_2 + k_4)(k_2[\text{RH}] + k_3[\text{O}_2]) - 2k_1k_2k_3[\text{RH}]}$$

Values of A and B may be regarded as constant under these experimental conditions. Furthermore, eqn (28) may be converted to eqn (29)

$$v_{\text{C=O}} = \frac{\{K_1K_2 + K_1[\text{O}_2]\}(1 - \exp(-At))}{K_3 + [\text{O}_2] - K_1K_2} = \frac{K_1(1 - \exp(-At))}{1 - \frac{K_2K_1}{K_3 + [\text{O}_2]}} \quad (29)$$

where

$$K_1 = \frac{k_1k_2k_4}{(k_3 + k_4)(k_2 + k_4)}$$

$$K_2 = \frac{2k_1k_2}{(k_3 + k_4)(k_2 + k_4)}$$

$$K_3 = \frac{k_4[\text{RH}]}{k_3}$$

Equation (29) predicts that for a given oxygen concentration the value of v_{C=O} should increase and approach a maximum value as photooxidation time increases. On differentiating with respect to photooxidation time, eqn (28) becomes

$$\ln \frac{d}{dt} v_{\text{C=O}} = \ln AB - At \quad (30)$$



西田 幸生
NISHIDA Yukio
東京都立江戸川高校
大学18回生 (70.3卒)

- 70.4 凸版印刷株式会社入社
- 77.4 株式会社ヴァンガードを設立
- 08.4 千葉大学デザイン学科
非常勤講師



- 店頭ツールデザイン
参天製薬+エヴァンゲリオンコラボ展開
・デザイン：フロアディスプレイ・トップ
ボード・サイドPOP・定番棚POP他
(2012年8月から展開)

爽快系目薬カテゴリーでシェアトップ商品の参天製薬「サンテFX」。エヴァンゲリオンの起用で、CM・ネット広告などの広告施策なしで売り上げ増を実現。

MTG Display Plan 2010.3.20



Nature&Co Display Plan 2011.2.16



PHILIPS Bodygroomer Display Plan 2011.2.16



■ 化粧品用什器及びSPツールデザイン
 売場で消費者の目をとらえ、商品の魅力を伝え、購買に結びつけるツールの開発。

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

360 Degree Visual Plan 2011.3.1



■ 食品用SPツールの開発
食品のシズル感を表現し、消費者が手に取りたくなる魅力を持つデザイン展開。

アミノ酸 Drinkable Plan 2009.11.3



アミノ酸 2011.4.1



■ 飲料SPツールの開発
天然のミネラル・清涼感・清潔感を表現、多様に展開可能な仕器の開発。

■ 薬品SPツールの開発
CMイメージと店頭SPとのイメージ連動を意図した販売仕器の開発。





■ カタログ・エディトリアルデザイン



■ ペーパークラフト及び特集本編集—トヨタ・日産・ホンダのクラシック名車、各20台のペーパークラフトの構造設計デザイン及び本の編集デザイン。



■ おもちゃ売場店頭ディスプレイデザイン



■ 飛び出す絵本デザイン
店頭で求められる、より立体的でギミックがありインパクトの強い表現に対応したペーパークラフトツールの開発・デザイン。

劇場スタンディ Plan-G

2009/1/20



Panasonic Display plan

2010/3/1



大手カメラの家電量販店、目黒駅前パルティス、展示機AM

2010/10/12

劇場スタンディ Plan-G

2009/1/20



2009/1/20



■ スタンディデザイン

映画内容を的確かつスムーズに紹介し、強い表現でオーディエンスの導入を促進する。

■ コーナーDPデザイン

激戦のデジカメ売場で、商品の魅力を分かり易く正しく体感してもらい、販売力アップを促す魅力ある什器の開発。



大矢 富保
 OYA Tomiyasu
 私立早稲田高等学校
 大学19回生 (71.3卒)
 71.4三菱電機 (株) デザインセンターデザイナー、89.10ビデオグループマネージャー、00.10宣伝部、03.10宣伝部デジタルメディアグループマネージャー
 趣味：テニス。
 モットー：Positive



安齋 利典
 ANZAI Toshinori
 福島県福島高等学校
 大学院28回生 (82.3卒)
 82.4三菱電機 (株) デザインセンター、デザイナー、05.4宣伝部、10.4宣伝部ウェブサイト統括センター長
 趣味：音楽、写真
 モットー：迷ったら実行

三菱電機オフィシャルウェブサイト



三菱電機オフィシャルウェブサイトの総合プロデュース

三菱電機オフィシャルウェブサイトは「企業価値向上」と「商談機会創出」を目的として、HCD: Human Centered Design Process ; 人間中心設計と ISMS : Information Security Management System ; 情報マネジメントシステムを基本方針として構築されている。

特に、社内研究部門の協力によるHCDからは、数々の独自機能開発やガイドライン策定等の発展がありユニークなサイトとなっている。

・ISMS認証基準ISO/IEC 27001:2005 JIS Q 27001:2006を「三菱電機オフィシャルウェブサイトの開発・運用・保守業務」範囲で取得。

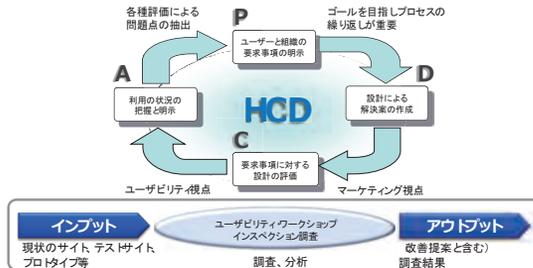
1) オフィシャルウェブサイト構築基本方針

- ・HCDとISMSが基本方針：継続的に最適で安全なサイト構築の基盤
これら2つのマネジメントシステム/プロセスが基本となって、統合サイトマネジメントへ発展。
- ・HCD: Human Centered Design Process; 人間中心設計
⇒ コンテンツの最適化のためのPDCAマネジメントシステム/プロセス
- ・ISMS: Information Security Management System; 情報セキュリティ・マネジメント・システム
⇒ 目的達成のためのPDCAマネジメントシステム/プロセス
 <サイトの目的> 企業価値向上: 企業情報・顧客情報を守る
 商談機会創出: 製品情報・顧客情報を守る



2) HCDの必要性

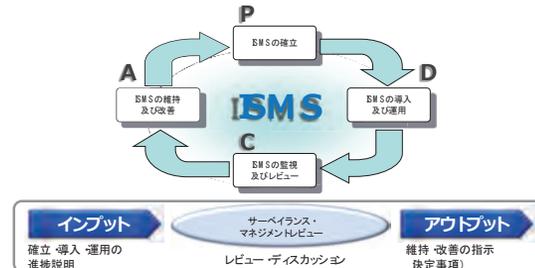
- ・企業ウェブサイトの情報 ⇒ 常に新しく正確
- ・情報を正しく理解 ⇒ 使い勝手
- ・使い勝手の3側面 ⇒ 使いやすさ、有用性、おもしろさ
これらを実現するためにはHCDの概念と方法論をコンテンツデザインプロセスに導入することが不可欠 ⇒ 勝手のよいインターフェース



3) ウェブサイトデザインとISMS

- ・公開前も公開後もデザインを改ざんされてはならない。
- ・制作過程、完成後のデザインの維持に関して重要なマネジメントシステム
- ・サイトデザインは情報資産であり、より一層の高い安全性が求められる

■ ISMSとは、個別の問題毎の技術対策の他に、組織のマネジメントとして、自らのリスクアセスメントにより必要なセキュリティレベルを決め、プランを持ち、資源配分して、システムを運用することである。





赤瀬 達三
AKASE Tatsuzo
東京都立九段高等学校
大学18回生 (72.3卒)

- 69.4 村越デザイン事務所勤務
- 73.11 ㈱黎インダストリアルデザイン事務所 (現・黎デザイン総合計画研究所) を設立し代表取締役に就任
- 06.4 千葉大学教授、
- 07.4 千葉大学大学院教授
- 08.4 黎デザイン総合計画研究所代表に復帰

博士 (工学) 東京大学
国土交通省国土交通大学校・千葉工業大学・千葉大学特別講師
日本デザイン学会・日本サインデザイン協会・都市環境デザイン会議・土木学会会員

専門：サイン計画コンサルタント、デザインディレクター。
モットー：用と美を踏まえた創造力で公衆に奉仕する。



営団地下鉄サインシステム整備デザイン監修
Design consulting on Tokyo TRTA Subways
Sign System Project
Involved term: 1972-2003
Client: Teito Rapid Transit Authority

1972年、村越デザイン事務所のチーフデザイナーとしてサインシステムを立案。以来32年間にわたり、サインマニュアルの作成、130駅のサイン実施設計デザイン監修。



みなとみらい線サインシステム計画デザイン監修
Design consulting on Minatomirai Sign System Project
Involved term: 1993-2004
Client: Yokohama Minatomirai Railway Company

横浜駅コモンサインプロジェクト・デザイン監修
Design consulting on Common Sign Project at Yokohama
Station
Involved term: 1995-2010
Client: City of Yokohama, Urban Development Bureau



アークヒルズサイン計画・環境デザイン計画デザイン監修
 Design consulting on Ark Hills Sign System and
 Environmental Design Project
 Involved term: 1984-1986
 Client: Mori Building Co., Ltd.

六本木ヒルズ全域サイン計画デザイン監修
 Design consulting on Roppongi Hills Sign Improvement for
 Pedestrians, Office Floors and Parking Area
 Involved term: 1999-2008
 Client: Mori Building Co., Ltd.



首都高速道路案内標識レイアウト改訂デザイン監修
 Design consulting on drawing up the Sign Graphic Manual
 at Tokyo Metropolitan Expressway
 Involved term: 2006-2008
 Client: Metropolitan Expressway Co., Ltd.

NEXCO高速道路案内標識レイアウト改訂デザイン監修
 Design consulting on drawing up the Sign Graphic Manual
 at Nippon Expressway
 Involved term: 2008-2010
 Client: Nippon Expressway Research Institute



児山 啓一
KOYAMA Keiichi
岡山県立大安寺高等学校
大学20回生 (72.3卒)

72.4 (株)村越愛策デザイン事務所
92.4 同、代表取締役
97.7 社名を(株)アイ・デザイン
に変更

千葉大学・長岡造形大学非常勤講師
日本デザイン学会・日本インダストリアルデザイナー協会・日本サインデザイン協会・IIID (International Institute for Information Design)・Sign Design Society会員
埼玉県景観アドバイザー

専門分野：インフォメーションデザイン、サインデザイン
常に利用者の立場で考え、一人でも多くの方々に役立つ公共デザインを心がけます。



中部国際空港サイン設計
Sign system design : Central Japan International Airport
Involved term : 2000-2005
Client :
Central Japan International Airport Co., Ltd.

中部国際空港は日本で最初に本格的にユニバーサルデザインを導入した空港で、建築と共にサインも高く評価され、その後のUDのモデルケースとなっています。



成田空港は、村越愛策デザイン事務所が開港以前から、よりわかりやすい情報を提供するために、建物の拡張に合わせて幾度もリニューアルを繰り返しながら、通算して約半世紀にも及ぶ大事業となりました。

成田国際空港サイン計画

Sign system design : Narita International Airport

Involved term : 1972-

Client : Narita International Airport Corporation



新千歳空港国際線ターミナルは日、英、中(簡体)、中(繁体)、韓、ロシア語の6カ国表示と、大きな表示が特徴です。建築と同様、サインにも様々なUD的配慮をしています。

新千歳空港サインシステムデザイン

Sign system design : New Chitose Airport International and Domestic Terminals

Involved term : 2007-2012

Client : Hokkaido Airport Terminal Co., Ltd.



JR東海のフルカラーLED発車案内は、見やすさ、読みやすさを徹底的に追求しました。サイン全般は毎年更新されるサインマニュアルにより管理されています。

JR東海サインシステムデザイン
Sign system design : Central Japan Railways
Involved term : 1987-
Client : Central Japan Railway Company



JR西日本の運賃表は、予め作図されたデザインベースに自動的に運賃データを流し込んで印刷します。サイン全般は毎年更新されるサインマニュアルにより管理されています。

JR西日本サインシステムデザイン
Sign system design : West Japan Railways
Involved term : 1988-
Client : West Japan Railway Company



富士河口湖町では、外国人観光客にとってわかりやすい案内情報を構築するために、国土交通省観光活性化プロジェクトのモデルケースとして標識整備を行ってきました。

富士河口湖町観光活性化案内標識のデザイン
 Sign system for sightseeing : Fuji-kawaguchiko area
 Involved term : 2006-2010
 Client : Town of Fuji-kawaguchiko



知的障害、聴覚障害の方々や高齢者、外国人等とのコミュニケーションを円滑に行うためのサポートツールとして、公共交通機関等で利用できるコミュニケーション支援ボードを作成しました。

コミュニケーション支援ボードのデザイン
 Design and planning : Communication support board
 Involved term : 2008-2011
 Client : Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation



清水 啓子
SHIMIZU Keiko
(旧姓：岩藤)
千葉県立千葉高等学校
大学21回生（73.3卒）

- 74. 4 (株) 三越商品本部設計デザイン課
- 78. 4 渡独(マンハイム、ハイデルベルグ)
- 80. 4 (株) 柳井紙エアイデアセンター
- 84. 4 (有) 絆リサーチ生活研究室
- 92. 9 デザインハウス生活応援団設立
- 97~03 帝京平成大学情報専門学校マルチメディア科講師
- 01~ 千葉情報経理専門学校DTPデザイン科講師
感性工学学会会員

趣味：温泉旅行、フラメンコ
モットー：不失花 時分花



三越の生活工房のカタログ(1988~1990)

商品開発・マーチャンダイジング・企画制作：絆リサーチ・コーヨー社家庭用品の研究、コンセプトメイキング、ネーミング、売場ゾーニング、商品・パッケージデザイン、什器、パンフレット まで一連のマーケティングデザインの開発



ホーローのスパター模様パッド 1988
製造：野田ホーロー



力士の吟醸酒
ネーミング
不知不識しらずしらず
1989 製造：釜屋
パッケージ 舘武
企画 絆リサーチ



(株)イトーヨーカドーPB和菓子銘店[菓の子や] 2006年 和風バレンタイン企画

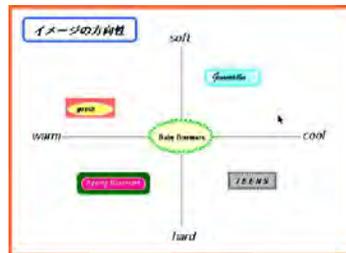
名称 菓の伝 ネーミング・小粋也・花胡蝶・豆時雨、レシピ、パッケージデザインディレクト、ディスプレイ



講演 創意台湾

「デザインの新しい領域とその役割」

雲林工科大学 2002. 7



(株)サンエス1997年コンフェクショナリー・フェア 5ブースディスプレイ 企画制作



中村 豊四郎
NAKAMURA Toyoshiro
大阪府立北野高等学校
大学21回生 (73.3卒)
89.7 アール・イー・アイ
(株) 設立、
00.10 同 代表取締役
www.rei-jp.com/REI/



萩野 美有紀
HAGINO Miyuki
宮城県第一女子高等学校
大学30回生 (82.3卒)
印刷会社、フィルムメーカー
を経て
91.4 アール・イー・アイ
(株) 入社

■東京メトロ(東京地下鉄) 案内サインシステム制作

Sign System for Tokyo Metro



一日600万人が利用する地下鉄のデザイン検討の重要視点として、従来の利用者に加え高齢や障害のある利用者、海外や地方からの観光客、美しい都市東京を求める生活者をとらえ、心地よくわかりやすいシステムを作り上げた。

東京メロ きっぷうりば



丸ノ内線ホーム可動柵 色彩計画



ホーム柵の固定部を比較的暗い色、可動部を明るく刺激の強い色の組み合わせとすることにより、扉位置を明確にするとともに、床面との際をはっきりさせ、低視力者が空間認識しやすとした。

■都営地下鉄サインシステム制作

Sign System for Toei Subway



都営地下鉄のサインシステムでは、東京メトロのシステムと整合をはかる一方、乗り間違いを防ぐため区別すべき箇所を明確に表現した。

■四国民家博物館
(四国村)

Shikoku Folk House
Museum

- ・民家解説編集
- ・案内板デザイン
- ・ロゴマークデザイン



■触知と音声による施設案内

-視覚・聴覚・触覚を統合したサイン計画

Information system unified with
soundscapes and visual signs and tactile.

- ・メルパルク熊本(写真左)
- ・ぱるるプラザGIFU(写真右)





野中 公子

NONAKA Hiroko
千葉県立船橋高等学校
大学21回生 (73.3卒)

73.4 三菱電機 (株) デザイン室デ
ザイナー

75~85 西武百貨店商品部商品開発
室、販売計画部

85~98 商品科学研究所 商品研究、
機関誌編集

93~04 共立女子大学非常勤講師

00~ 文京学院大学非常勤講師

05~ Office C&N 主催

趣味：家事を科学する

モットー：踏み込んだところにドラ
マがある



家庭用品商品開発 (西武百貨店)
1975~80 Oh! My Dining

生活情報誌 Two Way の編集 1995~98
商品科学研究所



主な担当記事

- 1995 生理用ショーツ
- 1996 食べずに捨てた食品の実態とその対策
- 1996 背負い型小学生の通学カバン
- 1996 家電製品の修理事情
- 1996 水の使用実態と節水対策
- 1997 商品情報の利用実態と生活者の意識
- 1997 カビ取り用洗剤をテストする
- 1997 PHS
- 1997 コンパクトオープンレンジ
- 1998 中高年女性のシェイプアップ水着
- 1998 商品科学研究所25年の記録

- ・商品科学研究所の生活情報誌 Two Way は、行政、作り手、生活者をつなぐ生活情報誌として隔月に発行された。

Office C&N 2005～

人、物、地球、コミュニケーションの場作りを目指した活動を開始



くらしの良品研究所
コーディネーター
(無印良品)



東欧の文化紹介
(日本ホビショー)



チェコ ボビンレース



スロバキア デトバ刺繍



三橋俊雄

MITSUHASHI Toshio
芝学園高等学校
大学21回生 (73.3卒)

- 73.4 GKインダストリアルデザイン
研究所 入所
- 79.10 (株)シー・エフ・アイ 入社
- 85.4 筑波大学大学院修士課程 入学
- 87.4 筑波大学大学院博士課程 入学
- 88.4 千葉大学自然科学研究科環境科学専攻博士課程 入学
- 91.3 千葉大学自然科学研究科環境科学専攻博士課程 修了
- 91.4 筑波技術短期大学デザイン学科助教授
- 93.4 千葉大学工学部デザイン工学科講師
- 97.4 京都府立大学人間環境学部環境デザイン学科 教授
- 08.4 京都府立大学生命環境科学研究科環境科学専攻 教授
- 91.3 博士 (学術) (千葉大学)
- 受賞
- 92.9 日本デザイン学会、研究奨励賞
「内発的地域開発計画に関する一連の研究」に対して

「自然共生と内発的地域づくり」「地域生活文化」「伝統産業・地場産業の活性化」「福祉機器・ユニバーサルデザイン」などの研究と実践を展開。京都府丹後地域における高齢化・過疎化地域を対象に、地域資源を活用した内発的地域づくりを「エコミュージアム」という視点で推進するほか、京都市内の高齢者を対象に「記憶の中の京の暮らし」というテーマで京都文化の基底をなす生活文化・生活の知恵の調査研究を行う。また、丹後半島の日常生活に今も残るマイナーサブシステム（遊び仕事）の自然共生的価値の研究などをすすめている。さらに、台湾をフィールドにした調査研究を行っている。



生活文化調査: のぞきからくり唄最後の伝承者



西陣織製品開発: ファッションバッグ、京漆小箱

高齢者自立機器開発:
Walking Aid

■現在の主な研究

1) 自然共生型の生活文化・行動を内包するマイナーサブシステム（遊び仕事）研究の構築（科研・基盤研究

(B)2010-2012)

自然共生教育と地域活性化計画について考究することを通して、「遊び仕事」の今日的価値・役割について検討する。

2) 台湾客家の食文化研究

民俗学、文化地理学の視点から、客家の食文化変容について、日本時代の文献や現地踏査を通して、その共生循環・一物全体活用、協働性、共同体的行動規範などについて明らかにする。

3) 台湾の竹と生活文化・生活技術

民俗学的・道具学的視点から、台湾の竹に関する適材適所、地産地消、技の探求、一物全体活用、象徴性・真正性などに注目して調査・研究する。

■主な学術論文

1) 開発における「適正デザイン」概念の基礎的検討——アプロプリエイト・デザインに関する研究（1）、共著、デザイン学研究No. 66、31-38、1988

2) 内発的地域開発計画の特質——過疎地域・新潟県山北町における実践を通して、共著、デザイン学研究 No. 80、43-50、1990

3) ものづくりを通じた自然と人間の共生に関する行動と観念-福島県三島町の自然に働きかけるものづくりの実態調査を通して、共著、デザイン学研究No. 113、71-80、1996

4) 中国の近代化に伴う食生活文化の変容——上海都市郊外

「嘉定鎮」の食生活用具調査を通して、共著、生活文化史No. 29、59-72、1996

5) Design of Roads for Social Communication — Functions and Meanings of Roads in Community、共著、The Science of Design Vol. 48 No. 2 no. 146、25-32、2001

6) Some Aspects of an Endogenous Regional Development、共著、The Science of Design Vol. 48 No. 6 no. 150、47-56、2002

7) 延辺朝鮮族における台所道具文化の変容、共著、生活文化史No. 46、61-85、2004

8) Research on Persimmon trees Landscape Patterns and Life Culture of Kamiseya, Miyazu City in Kyoto Prefecture、The 3rd International Symposium of Local Resource Application & Community Empowerment、33-40、2007

9) 京丹後市袖志地区における水と暮らし—シミズ、カワ、イケ、イネの調査を通して、文化創意産業発展新趨勢、2008

10) マイナーサブシステム（遊び仕事）とエミュージウム、韓国・地域文化デザイン国際シンポジウム、2009

■博士（学術）論文

地域開発計画の「内発性」に関する基礎的研究——デザインを通しての地域の潜在的資質の内発的活性化を軸として、千葉大学、1991

■著書

- 1) 身体障害者の生活環境と道具、みんなのねがいNo. 58、全国障害者問題研究48-51、1974
- 2) もう一つの観光開発—新潟県山北町観光開発基本計画、共著、住民運動No. 62、48-52、1989
- 3) エコツーリズムと内発的地域づくり、丹後地域文化オープンカレッジ、古今書院、1-16、2001
- 4) 地域のアイデンティティ (266-267)、デザインにおける適正技術論 (322-323)、デザイン事典、朝倉書店、2003
- 5) 緑と華の楽園、菩提長青村の存続に関する検討—日本の震災復興事例を参考にして、一個老人福利・社区的营造、行政院文化建設委員会 (台湾)、19-63、2004
- 6) ブリコラージュ・方杖と砥石台、道具学への招待、道具学叢書001、ラトルズ、134-135、2007
- 7) 伝統與創意-部落編織深度体験營、国立台北芸術大学 (台湾)、18-20、40-49、2008



■粉搗きとジェンダー解放

マリ共和国の女性たちが5時間かけて穀物を粉に搗いている。ジェンダーの問題として安易に自動粉挽き機を導入することは、かえって彼女たちの集落での「立場」を失うことになりかねない。発展途上地域における「近代化」は、教育や技術の習得など多角的見地から時間をかけて行うことで真に内発的地域づくりに向かうのではないか。(科研・基盤研究C「西アフリカにおける援助活動による住民組織化へのインパクトに関する研究」2005年)



■丹後の山村に見るブリコラージュ

人間は、自然物をその道具に見立てその形状や構造を最大限に活かして目的にかなった道具につくりあげていく「ブリコラージュ」の手法をとってきた。写真手前は、鎌などを研ぐための砥石の台。一本の木の三つ又部分をそのまま切り取り利用した、まさにブリコラージュの傑作。後方は現在使用のもの。(宮津市、奥波見集落1998年)



セイコー競技時計1974(GK)



セイコー羽田世界時計1974(GK)



セイコー柏駅前時計1974(GK)



セイコー麹町通り時計1974(GK)



セイコー都ホテル世界時計1974(GK)



共石ガソリンポンプ1974(GK)



東京スタイルファッション家具1975(GK)



渡辺測器XYプロッター(GK)



楠本化成環境試験器1983 (CFI)



アルプス電気パソコン1984 (CFI)



シチズンプリンター1986(三橋)



若杉 集

WAKASUGI Syu

東京教育大学付属高等学校

大学21回生 (73.3卒)

- 77 栃木県益子町で築窯 独立
- 87頃 焼締急須を中心に製作を始める
- 00 益子陶芸展 審査員特別賞
- 03 日本陶芸展入選
- 04 益子陶芸展 濱田庄司賞
- 06 おおたき北海道陶芸展 大賞
- 10 日本伝統工芸展入選
- 11 長三賞常滑陶芸展入選



「北郷谷木ぐされ土焼締須」

2012年5月 個展

池袋東武にて



多種の益子産陶土を使って焼成
後の発色をグラデーション展示
2009年11月 個展
益子「陶庫」にて

「窯変焼締急須」
2009年10月 個展
益子「陶庫」にて



2004年10月第5回益子陶芸展 濱田庄司賞
「益子北郷谷土組合子」
益子陶芸美術館所蔵

「北郷谷黄土焼締酒器揃い」
2005年4月 個展
佐野「藤野屋」にて





田中 千秋

TANAKA Chiaki
 神奈川県立川崎高等学校
 大学22回生 (74.3卒)

74 小田急ハルク入社
 76 Hans Von Klierデザイン
 事務所 (MILANO) 入所
 78 Carlo Bartoli建築事務所
 (MILANO) 入所
 85 Studio A&O 設立
 代表取締役
 インテリア・家具・プロダクト
 を主にデザイン活動を展開
 景観学会会員として環境とデザ
 インの調和を探究

電気自動車用充電装置
 CHARGER FOR ELECTRIC AUTOMOBILE
 (The Okinawa Electric Power CO., LTD.)

新神戸電機 (沖縄電力)
 SHIN-Kobe Electric Machinery CO., LTD.
 (The Okinawa Electric Power CO., LTD.)

1993

1993



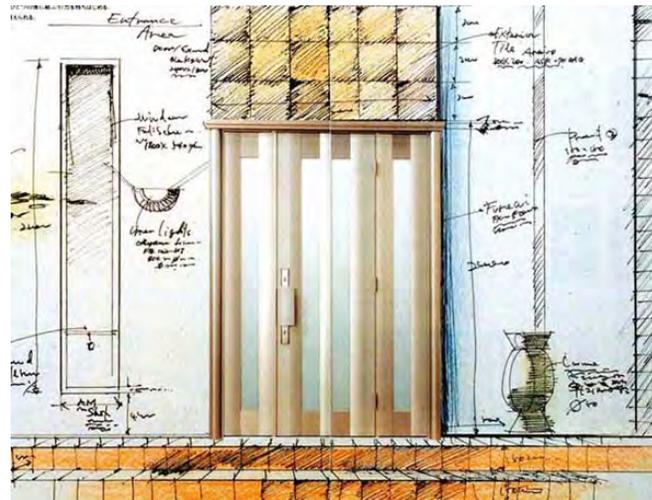
電気自動車の初期実用化時代における急速充電装置

住宅用出窓 “ふくわうち” 不二サッシ株式会社 1991
 BOW WINDOW “FUKUWAUCHI” FUJI SASH CO., LTD. 1991



工業意匠学科同級生(大塚裕史氏)とプロジェクトチームを
 組み G マークを獲得した商品

住宅用玄関ドア “ふれあい” 不二サッシ株式会社 1992
 ENTRANCE DOOR “FUREAI” FUJI SASH CO., LTD. 1992



住宅建材業界初、曲面アルミ押出型材を使い新しい表情を創出

チェアー “ガルボ” 柏木工株式会社 1987
 CHAIR “GARBO” KASHIWA MOKKO CO., LTD. 1987

ホワイエ バーカウンター 川口総合文化センター 1991
 BAR COUNTER OF FOYER KAWAGUCHI “LILIA” 1991



修正テープカッター“リムカ” ニチバン株式会社 1990
 TAPE CUTTER “RIMUKA” NICHIBAN CO., LTD. 1990

粘土へら&ケース フレーベル館株式会社 2005
 SPATULAS AND CASE FROEBEL-KAN CO., LTD. 2005



片手で扱える利便性と使い捨てでないテープカッター
 ケースの美しさが評価された商品



幼稚園、保育園児でも安全にかつ興味を持って
 使えるような粘土へら



宮城 壮太郎

MIYAGI Sotaro
東京学芸大学附属高等学校
大学22回生 (1974.3卒)

- 73.4 浜野商品研究所商品研究所
入社
- 88.9 宮城デザイン事務所設立
現在に至る
- 92~95 平成4~7年度Gマーク商品
選定審査委員
- 96~ 日本デザインコンサルタ
ント協会 会員
- 98~05 千葉大学工学部デザイン
工学科非常勤講師
- 04~ 湘南工科大学工学部機械デ
ザイン工学科 非常勤講師
- 06 富山デザインコンベン審査委員
- 07~08 新日本様式協議会評議会委員
- 07年~ 法政大学大学院システムデザ
イン研究科兼任講師
千葉工業大学工学部デザイン
工学科非常勤講師



Bio-Light(旺文社) 1986



照明器具(松下電工) 2002



無停電電源装置(山洋電気) 2005



空気清浄器(松下電工) 1997



ホッチキス(プラス) 2006



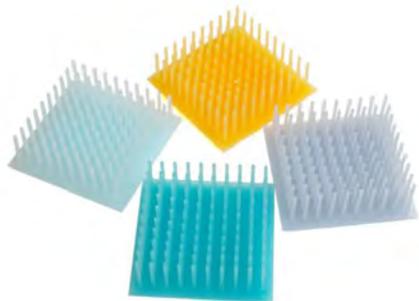
FUJICA HD-1(富士写真フィルム) 1979



テープカッターなど(アスクル) 2004



受付ペン(アスクル) 2005



TSUN TSUN (アッシュコンセプト) 2004



グラスセット
(Cherry Terrace)
2001



歯ブラシ
(マーナ)
1995



オールラウンドボウルズ (Cherry Terrace) 2004



腕時計
(interform)
2000



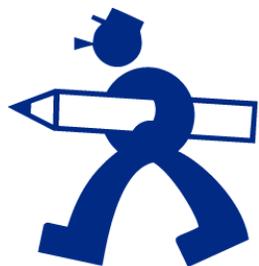
アスクル本社ビル(アスクル)
2004
共同設計：日本IBM



渋谷東急プラザ(東急不動産)
1985、2004、2007
共同設計：
H20デザインアソシエイツ



宮城デザイン事務所軽井沢スタジオ
1998



HAPPY OFFICE NETWORK SERVICE
ASKUL[®]
Call! 0120-345-861
<http://www.askul.co.jp>

アスクルC. I.
(アスクル)
1992

山洋電気C. I. (山洋電気) 1990



セルリアンタワー東急ホテルサイン計画(東急電鉄) 2001



パッケージデザイン(アスクル) 1999



石崎 弘文
IIZAKI Hirofumi
愛光学園高等学校
大学23回生 (75.3 卒)

81 ダイハツ工業株式会社
デザイン部入社
08 現在 ダイハツ工業株式会社
デザインブロック担当理事

趣味 水泳・自転車(ロード)

ダイハツ オプティ 1992



合理性のミラに対して感性に訴求する新しい軽乗用として、オプティを追加。デザインコンセプト「MOVING ART」
工芸品の様ないつまでも手になじむあたたかさをイメージしてコンセプトをムービングアートとした。永い生命力を持つスタイリングとすべく、小さい車の古典的な手法をベースにロングライフデザインを狙った。
前後にテンションを持つティアドロップシェイプはコペンで集大成となった。



スケッチは、開発スタートの初日に画いたもの (1989)

限られた軽自動車の制約の中で、次世代は全高を上げるしかないとトールワゴン計画をスタート(1990)。
 1993年デビューのはずが、経営判断でプロジェクトが中断。
 プロジェクト再開後、1995年に販売スタート(1ヶ月で45,000台の受注をうけた)。



ダイハツ ムーブ 1995

デザインコンセプト「FUN TO USEのCASUAL BOX」
 見て乗って、そしてなにより使って楽しい車とすることをデザインの
 狙いとした。ウルトラコンパクトノーズとビッグキャビンを象徴的に
 表現したAピラーのキャラクターラインと、当時類例の少なかった
 ハイマウントリアコンビネーションランプが大きな特徴。
 初期モデルはイタリアI. DE. A社エルコーレ・スパーダと共同作業による。



開発初日に画いたもの



プロジェクト再開時に画いたもの



ダイハツ ネイキッド 1999

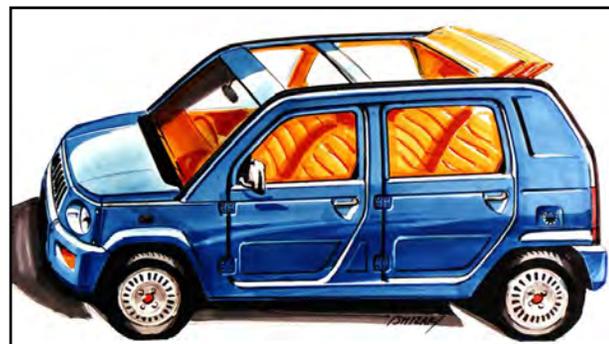
1997年、東京モーターショーモデルとして「ネイキッド」を提案。好評につき1999年新軽規格のサイズに全面変更して量産化。

デザインコンセプト「NAKED」

素材感を強くアピールした構築的なスタイリングで、男性的で気楽に使えるタフさを表現した。

前後ドアパネルの共通化やヘッドランプ、ターンランプの共通化等安くつくる工夫も楽しく織込んだ新ジャンルの車。

(NAKEDも私の命名)



1999年東京モーターショーにショーモデルとして提案。
好評につき量産化決定。2002年発売。
デザインコンセプト「FFスポーツ」
量産アンダー（ミラ）のFFエンジンレイアウト
を活用したティアドロップシェイプのスポーツタイプ。



スケッチは当社チーフデザイナー-山本叔弘の手による



ダイハツ コペン 2002



グッドデザイン金賞受賞
(軽自動車初)



ドイツレッドドット賞受賞

初代オプティ以降追い求めてきたロングライフデザインをめざして安定感、親しみ深さを古典的な手法をベースとして表現し、若い人からシルバーまで永くつきあえるスタイリングとした。2002年デビュー以降現在6年を越えるが、いまだにフル生産（700台/月）が続き、ロングライフデザインは狙いどおり実現しつつある。

**玉垣 庸一**

TAMAGAKI Yoichi

岐阜県立岐阜高等学校

大学24回生（76.3卒、大学院80.3修了）

博士（工学）（98.3 千葉大学）

80.4 千葉大学工学部技術補佐員

83.4 同教務職員

89.2 同助手

98.6 同助教授

受賞

90 日本デザイン学会、研究奨励賞

「ベクトル空間におけるパラメトリック
曲面群としてのカラーモデルの表現」
に対して

所属学会

日本デザイン学会、日本図学会

■博士（学術）論文

「三色表色系に基づくCG色立体の研究」

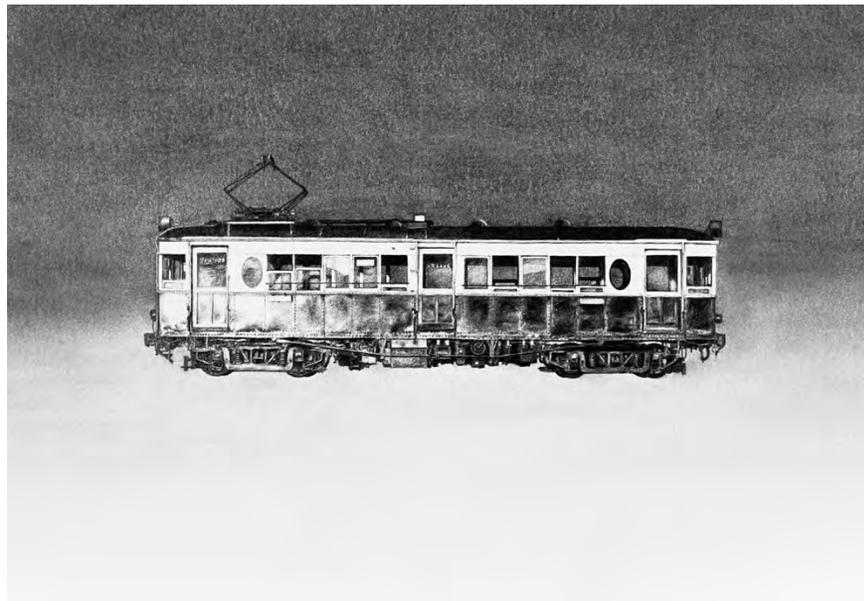
■主な学術論文

1. 商ベクトル空間としての色空間について——コンピュータグラフィックスのための三色表色系（1）——、デザイン学研究Vol. 52 No. 1、pp47-54、2005
2. 三色表色系に対するユークリッド計量の導入——コンピュータグラフィックスのための三色表色系（2）——、デザイン学研究Vol. 52 No. 1、pp55-62、2005
3. 平行投影行列によるフォンクリースタイプ色順応変換の拡張——コンピュータグラフィックスのための三色表色系（3）——、デザイン学研究Vol. 52 No. 2、pp1-8、2005
4. HSVカラーモデルとオストワルト表色系の類縁性、デザイン学研究 Vol. 54 No. 3、pp9-19、2007
5. RGBディスプレイの色域に適用できる新たなオストワルト型カラーシステム、デザイン学研究Vol. 54 No. 3、pp19-28、2007
6. Tristimulus Matching for Color Management of 3D Computer Graphics、デザイン学研究 Vol. 54 No. 3、pp29-38、2007

■主な著書

海を渡った50sデザイン、1988、（分担執筆）

デザイン編CG標準テキストブック、（財）画像情報教育振興協会、1996、（分担執筆）



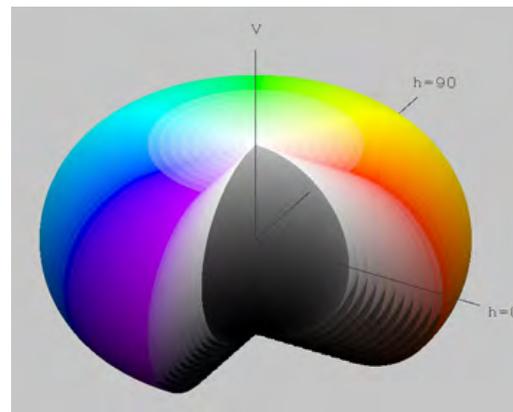
車両の印象（海を渡った50sデザイン） 1988

■主な研究

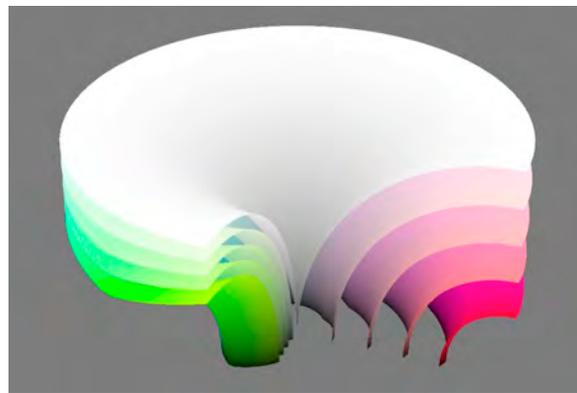
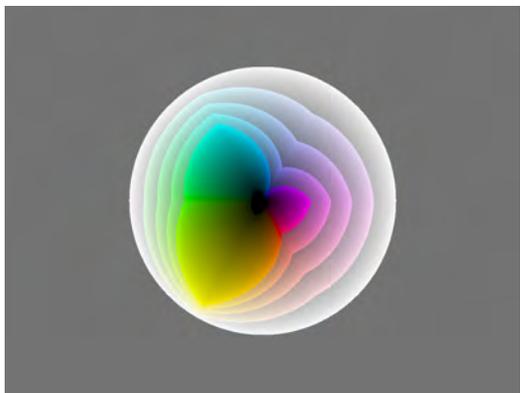
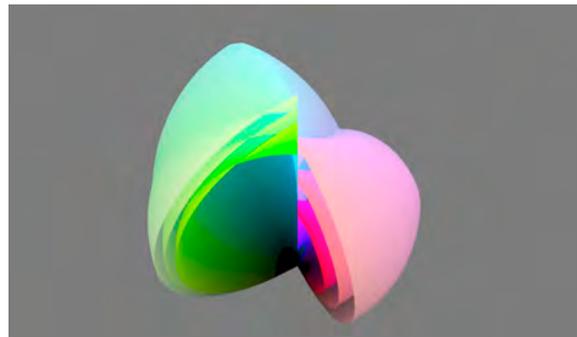
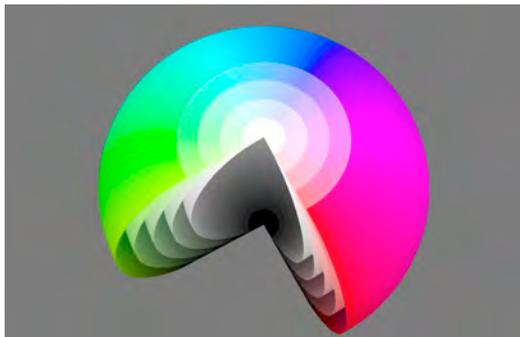
CGの陰影計算とカラーモデルを融合した新たな色立体

3次元CGのシェーディングモデルと2次元CGのカラーモデルを結びつけた新たなCG色立体をいくつか考案した。右の図はそのひとつであり、HSVカラーモデルの等S面が玉葱のように入れ子のシェル構造となることから色玉葱と名付けたものである。

図では一部を切除してあり、いちばん内側のシェルが無彩色の球面であり、内部は空洞であることが見て取れる。無光沢の拡散反射面と仮定したシェルを取り出し、一様な天空輝度分布の下に置いた場合を計算すると、各反射地点の相対輝度と高さが比例するようなシェードを得ることがわかった。色立体表面の反射率変化も組み合わせることによって輝度の平方根や立方根に比例した明るさ尺度を得ることもわかった。各色の輝度の絶対値を高さに比例させようとするれば、無彩色のシェルが最外殻となる不思議なかたちの色立体が得られる。



色玉葱



色玉葱、色ニンニク、色キャベツ、色きのこ
——カラーモデルとシェーディングモデルの統合による色立体——、デザイン学研究 Vol. 19-2、2012

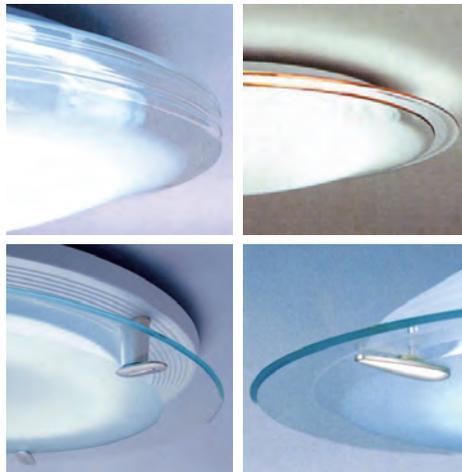


青木 正英

AOKI Masahide
東京都立新宿高等学校
大学25回生 (77.3卒)

- 77.4 (株) 日立製作所デザイン研究所入所
- 81.4 日立セールスUK (ロンドン) に海外業務研修で駐在
- 97.4 日立照明 (株) デザインセンター設立・出向
- 99.9 日立ライティング (株) に転属

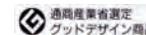
趣味：タウンウォッチング、
模型製作。
モットー：デザインを楽しむ。



住宅用照明器具 "KIRARIシリーズ" 2002-2003
Ceiling Light & Pendant "KIRARI series" 2002-2003
ガラス調の質感を再現したキラリ感のあるデザイン
シリーズ



ミニヘアードライヤー "POPROLL" 1986
Compact Hair Dryer "POPROLL" 1986

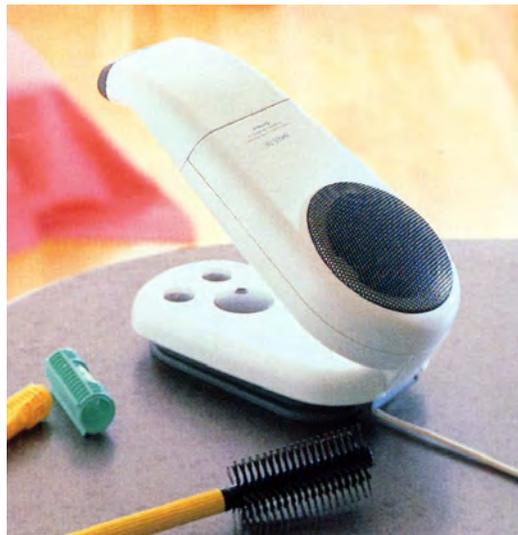




酒商産業省選定
グッドデザイン商品



コンパクトディスククリーナー 1986
Automatic CD Cleaner 1986



酒商産業省選定
グッドデザイン商品



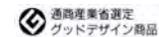
ポバィデザインオブザイヤー

ハンズフリードライヤー 1989
Hands Free Dryer 1989





20形ビデオテレビ 1979
VTR combined TV 1979
入社して最初にデザインしたテレビ。
当時としては画期的なビデオ一体型。



ワイドテレビ/CSデジタルチューナー 1996
Wide TV & CS digital tuner 1996
マルチウインドウ番組ガイドで一発選局。



ルームエアコン "BIGFLOW" 1990
Room Air Conditioner "BIGFLOW" 1990
ハルクホーガンのTVCM「ホソナガー！」で話題となった。



冷蔵庫「うるおいチルド」1993
Refrigerator 1993
TVCMに篠ひろ子を起用した。



海老澤 洋子

EBISAWA Yoko
東京学芸大学附属高等学校
大学25回生 (77.3卒)

- 77.4 SONY (株)
物流技術センターパッケージGp. デザイナー、
- 80.4 PPセンターゼネラルオーディオGp. デザイナー
- 84.6 SONY退社以降フリーランス
主にHILOデザイン研究所と共にキッチンツールのデザイン、虎ノ門病院のサイン計画、東京大学生産研究所のサイン計画などに従事

ものづくり大学製造技能工芸学科
非常勤講師
東洋大学ライフデザイン学部人間
環境デザイン学科非常勤講師



オーディオカートリッジシリーズ パッケージ (ソニー) 1979
Package for Sony Audio Cartridge 1979



オーディオアクセサリシリーズ
パッケージ (ソニー) 1977
Package for Sony Audio Accessory 1977



デジタルクロックラジオ (ソニー) 1981
SONY Digital Clock Radio 1981



ドルビーC ウォークマン (ソニー) 1983
SONY Dolby C "WALKMAN" 1983



コンパクトカセットテープ (ソニー) 1982
SONY Compact Cassette-tape Half 1982



キッチンガジェットシリーズ 明道 DOMESTIC (HILO) 1997
Kitchen Gadget Series" DOMESTIC" for Myodo 1997



キッチンワイヤシリーズ 明道 DOMESTIC PRO (HILO) 1999
Kitchen Wire Series "DOMESTIC PRO" for Myodo 1999





面矢 慎介 (旧姓: 福島)
OMOYA Shinsuke
群馬県立前橋高等学校
大学25回生 (77.3卒、大学院
79.3修了)

79.4 (株) GKインダストリアル
デザイン研究所、95.3 (株) GKデ
ザイン機構・GK道具学研究所副
部長を退職、95.4 滋賀県立大学
人間文化学部助教授、08現在は、
生活デザイン学科教授。
博士 (学術) (千葉大学2004)
MA (RCA) (英国ロイヤルカレッジ
オブアート1990)
日本デザイン学会、道具学会、デ
ザイン史学研究会、意匠学会、日
本生活学会会員

趣味: 読書 (海外文学の翻訳書が
中心。学生時代のサークルは文
芸部に所属)

モットー: 大学に閉じこもらず。
「民間」にいたころの軽いフッ
トワークで動き回る。

(1) 学術論文

1. "The Development of Modern Household Objects: Electric Pots and Thermos Bottles in Post-War Japan" 平成8年/Proceedings of the First China-Japan Joint Inter-national Symposium on INDUSTRIAL DESIGN pp.27-32
2. 「近代家庭機器の発展・普及過程: 日本の家庭用風呂の近代化を事例として」平成9年/:日韓デザインシンポジウム論文集「Design Studies」Vol.22 pp. 253~258
3. "The Development of Modern Household Objects; Modernization of Pots and Pans in Japan, 1900 - 1970"/平成10年/ Proceedings of the Third Asia Design Conference pp.295~300
4. "The Development Process of Modern Household Objects; Coffee Making Devices for Homes in the United States 1900-1980"/平成13年/Bulletin of the 5th Asian Design Conference(CD-Rom)
5. 「英国と日本における近代家庭機器の発展過程およびデザイン変遷に関する研究」平成16年/千葉大学自然科学研究科博士論文
6. 「英国における鍋の近代化:近代家庭機器のデザイン史」平成18年/日本デザイン学会「デザイン学研究」第52巻
7. "Small Electric Cooking Appliances in the U.S.: Their development from the 1920s to the 1950s"平成20年/Proceedings of ICDHS 2008 OSAKA

(2) 研究発表

1. 「近代家庭機器のデザイン史—その5—鍋を事例として」平成7年日本デザイン学会「デザイン学研究」第42回研究発表大会
2. 「道具学の枠組みと 研究領域—会員アンケートからの試論」平成9年道具学会「第1回研究フォーラム
3. 「モンゴルのゲルと生活財:遊牧のゲルと定住のゲル」平成9年日本生活学会第24回秋季研究発表大会
4. 「米国におけるコーヒー抽出器具の変遷:近代家庭機器のデザイン史」平成11年日本デザイン学会第46回研究発表大会
5. 「アメリカの道具ミュージアム — ヘンリー・フォード博物館、アメリカ歴史博物館を中心に」平成12年道具学会第4回研究フォーラム
6. 「プラスチックと近代のデザイン:道具デザイン史からの視点」平成14年道具学会第6回研究フォーラム
7. 「コンビビリティとマクドナルド化:人を幸せにする道具/不幸にする道具」平成16年道具学会「第8回研究フォーラム
8. 「米国における小型調理家電の発展過程:1920~50年代を中心に」平成17年意匠学会第47回大会
9. 「生活空間とプロダクトデザイン」平成19年意匠学会第49回大会
10. 「食卓上のUFO?:1940年代アメリカのワッフルアイアン」平成19年道具学会研究フォーラム



(3) 論説

1. 「考現学：モノの集まりは生活の堆積」平成10年／朝日新聞社刊『アエラムック・生活科学がわかる』48頁
2. 「自動販売機」平成11年／日本生活学会編・TBSブリタニカ刊『生活学事典』464頁
3. 「新しい道具と古い身体：道具は身体の延長なのか」平成14年／岡山県立大学デザイン学部刊『リブレ』創刊号21-22頁
4. 「道具デザインの名作たち：亀の子束子、日本アルミ丸瓶、タッパ－ウエア」平成15年／日本デザイン学会編・朝倉書店刊『デザイン事典』26,31,33頁
5. 「生活様式と生活史」同上書156-157頁
6. 「晴れとケのデザイン」同上書306-307頁
7. 「モンゴルの住生活と生活財：その考現学的調査」平成9年／滋賀県立大学人間文化学部研究報告「人間文化」第3号84~97頁
8. 「伝統産業彦根仏壇と現代デザインの融合化研究」(共著)平成11年／滋賀県工業技術総合センター研究報告1998、54-64頁
9. 国際学会参加報告「デザインと進化」デザイン史学会年次大会2006デルフト工科大学／平成18年／道具学会『季刊道具学』第15号164-167頁
10. 「明治の雑貨産業2：畳、箒、筆筒」平成19年／日本産業技術史学会編・思文閣刊『日本産業技術史事典』45-46頁
11. 「庶民の住まいと調度」平成20年／日本デザイン学会編・朝倉書店刊『家具の事典』所収

(4) 研究報告書

1. 『デザインのおゆみ』共著 平成8年／日本デザイン学会「デザイン学研究特集号」
2. 『伝統産業彦根仏壇の展望』共著 平成12年／虹の匠研究会編・県工業技術総合センター
3. 『ユニバーサルデザイン対応ものづくり強化事業・平成14年度報告書』平成15年／滋賀県工業技術総合センター
4. 『彦根仏壇産業における創作仏壇のデザイン開発』平成17年滋賀県立大学等学術文化振興助成事業報告書
5. 『彦根城下町における町家の考現学的調査報告書』平成18年彦根市史民俗部会報告書
6. 『道具学論集13・「研究」の研究』編集 平成18年／道具学会「季刊道具学」15号

(5) 著書／共著

1. 『生活学第七冊』共著 昭和56年 日本生活学会編／ドメス出版
2. 『都市とデザイン』共著 平成4年 (株)ボイスオブデザイン編／電通
3. 『暮らしの中のガラスびん』共著 平成6年 GK道具学研究所／東洋ガラス(株)(左写真・上)
4. 『長浜市史・第7巻・地域文化財』共著 平成15年 長浜市史編集室／長浜市
5. 『道具学への招待：道具学叢書001』共著 平成19年 道具学叢書編集委員会／ラトルズ(左写真・下)

英国と日本における近代家庭機器の発展 過程およびデザイン変遷に関する研究 — 熱系家庭機器の近代化を中心に —

論文概要

20世紀において工業的に生産された製品(プロダクト)のデザイン変遷は、デザイナーの造形思想の変化からだけでは説明できない。製品のデザインは、利用可能な技術、製品化した企業の活動、流通・販売のシステム、購買し使用した生活者の行動・心理・慣習など、さまざまな分野にわたる諸要因の総和として成立するものだろう。個々の製品には、デザイナーたちの造形思想を超えた、これら社会全体のダイナミズム、つまり、個々の製品をめぐる諸要因のはたらかぎが反映されているはずである。

本論文では、英国と日本において近代以降に量産されてきたいくつかの製品の発展・普及の過程について、特にそのデザインの変遷過程に着目しながら、具体的な考察をおこなった。そのための事例研究の対象として、家庭内での熱の利用に関わる「熱系」の家庭機器の中から、電気ケトル(魔法瓶と電気ポットを含む)、家庭用の風呂(浴槽および浴室設備)、調理用の鍋の3群を選んだ。本論では、これらの各事例ごとに、日・英での機器の近代的変容(近代化)の過程について、その変容をもたらした社会的背景、技術的背景、経済的背景、文化的背景(生活慣習・生活志向)から考察した後、それぞれの発展・普及・変容の要因およびプロセスの特性について、日・英で比較した。結論では、日・英の熱系家庭機器の近代化について総括するとともに、これらの機器の近代化を「進化」ととらえる概念や理論について検討した。





中瀬 博幸

NAKASE Hiroyuki
名古屋市立向陽高等学校
大学25回生 (77.3卒)

78.5 徳島県工業試験場
91.9 徳島県立工業技術センター
生活科学課勤務

インテリアコーディネーター
2級建築士
福祉住環境コーディネーター

89、91 ジャパンデザインコンペ
石川 奨励賞
98 平成9年度地域技術指導貢献賞

研究歴

82～床座生活のための座具の研究
86～トータルインテリアの研究
89～ニューオフィス市場における
インテリア
92～先端的競技用車椅子の研究
96～ユニバーサルデザイン住宅の
開発
07～高齢者用家具の開発



「樹」

製造：中瀬博幸(卒研作品)



ニューシルバーのための家具「茜」シリーズ

製造：本林家具(株)
撮影：米津光



座具「楽座椅子」(改良品)
製造：(株)ジャパンニューファニチア



座位保持椅子製作用測定椅子
製造：中瀬博幸(専攻生作品)



座具(初期モデル)
撮影：米津光



座具「正座椅子」
製造：(株)ジャパンニューファニチア



革張ジャイアントテーブル
製造：(協)眉山コレクション
撮影：米津光



黒い家具シリーズURBAN-B
製造：(株)丸二
撮影：米津光



黒い家具シリーズURBAN-B
製造：(株)丸二
撮影：米津光



CFRP製バスケット用車椅子
製造：工業技術センター (試作)
撮影：米津光



宇宙船α
製造：(協)眉山コレクション
撮影：米津光



阿波和紙+突板加工による
阿波踊り人形
製造：清田化粧合板

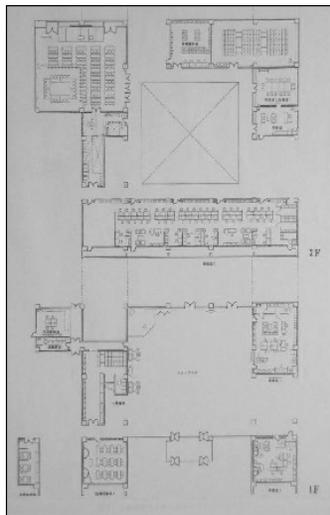


リウマチの方も使いやすい
座面昇降椅子
製造：(協)コムラ製作所



高齢女性が座りやすい
Sサイズソファ
製造：(有)大久保椅子製作所

工業技術センター新築時のインテリアコーディネート企画
 (公設機関の中に県内企業の技術素材や県内作家作品を取り上げ、県内
 外の方にアピールできるように配慮しました。)



工業技術センター共通空間の
 インテリアレイアウト



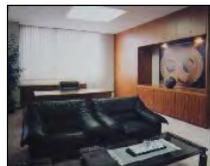
各部屋の配色・素材一覧



コーディネート資料 1



コーディネート資料 2



コーディネート事例1(所長室)



コーディネート事例2(会議室)



徳島の塗装 撮影:米津光



徳島の空張 撮影:米津光



徳島の藍染 撮影:米津光



徳島の和紙 撮影:米津光



徳島の陶芸 撮影:米津光



徳島のラグによる阿波踊りのタペストリー



徳島の素材と技術紹介ポスター
 グラフィックデザイン:坂東孝明
 撮影:米津光

ユニバーサルデザイン住宅のインテリア企画

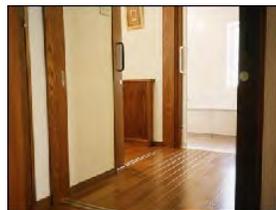
・1996～2001年にかけて行った一般住宅の内装企画です。ご高齢の方や車椅子の方も、その家族構成や様々なハンディーキャップの種類と程度に合わせて対応を変えていくことができる住宅です。



玄関（外側）



リビングダイニング1撮影:幸田青磁



サニタリー入り口



浴室



玄関（内側）



リビングダイニング2撮影:幸田青磁



トイレ（車椅子対応1）



浴室（高齢者対応）



キッチン



リビングダイニング3



トイレ（車椅子対応2）



浴室（車椅子対応）



三菱電機のデザイン戦略

<ブランド力向上のための統一デザイン>

コントロール機器

原 正樹

HARA Masaki

長野県立伊那北高等学校

大学25回生 (77.3卒)

大学院 (79.3修了)

1979.4 三菱電機(株)入社

デザイン研究所

2007.4 同所長

国際ユニヴァーサル

デザイン協議会 (IAUD)

理事

日本デザイン学会員

趣味：園芸、釣り、テニス、
ゴルフ。

モットー：Challenge。

共同研究者：同 阿部 敬人

樋口 直人



産業メカトロクス機器





吉田 光利
YOSHIDA Mitsutoshi
群馬県立高崎高等学校
大学25回生 (77.3卒)

77.4 花王石鹼株式会社
(現在の花王株式会社) 作成部入社
入社以来、花王の全カテゴリーの
商品デザイン開発に関わる

05.9~ パッケージ作成部長

08.3~ グラフィックデザイン部長
日本パッケージデザイン協会会員
桑沢デザイン研究所非常勤講師

パッケージデザイン関連の受賞多数
PENTAWARDS(GOLD, SILVER)、
WORLD PACKAGING CONTEST
(WARLD STAR)、
JAPAN PACKAGING COMPETITION
(通産省生活産業局長賞、通産省商務情報
政策局長賞、日本印刷産業連合会長賞、
各種部門賞・奨励賞等多数)、
JAPAN PACKAGING CONTEST
(JAPAN STAR、日本包装技術協会会長賞、
各種部門賞多数)



エスト (Est) 2007



アジエンス (Asience) 2007



エッセンシャル (Essential) 2007



セグレタ (Segreta) 2007



リーゼ (Liese) 2007~8



ケブ (Cape) 2006~7



リーゼ (Liese) 2007~8



ロリエエフ (Laurier F) 2004~6



きれいスタイル (Laurier PL) 2005



ロリエ (Laurier) 2006



スーパースリム (Laurier SSG) 2005



スーパースガード (Laurier SG) 2007



ロリエアクティブガード (Active Guard) 2007



ロリエアクティブガード (Active Guard) 2005



アタック (Attack) 2004~6

ハミング (Humming) 2005~6

ハミングフレア (Humming-F) 2008



マジックリン (Magiclean) 2004~7



キュキュット (Cucute) 2004~7



健康エコナ (Econa) 2005~7



ヘルシア (Healthya) 2004~7



片山 享男
KATAYAMA Takao
東京都立明正高等学校
大学28回生 (80.3卒)

- 80.4 富士電機冷機 (株)
- 85.2 (株) ダイチ
- 87.11 プラス (株) を経て
- 94.12 フリーランスとして活動
- 03.5 (有) ビーバルーンズ設立
代表取締役
- 96~98 職業能力開発大学校
造形工学科非常勤講師
- 99~07 拓殖大学工学部
工業デザイン科非常勤講師

自動販売機・ストリートファチャー・オフィス家具の企画・デザイン及び設計の仕事を経て独立。
現在、オフィス家具、インテリア雑貨のデザイン提案を行っている。モットーは自由な発想とデザインを楽しみながらシンプルに作り上げていくこと。
趣味: 華道
日本デザイン学会会員
<http://www.beballoons.com>
t-katayama@beballoons.com



Puzzy' s-chair (LUMINAX) 2007



MEZZO series (ITOKI) 2003



AIR LOUNGE G-type (ITOKI) 2007



PEACE WALL (BeBALLOONS) 2006



PEACE WALL一壁のかけら展 (BeBALLOONS) 2006



WOOD PANEL (LUMINAX) 2007



OUTPUT-working High-table (BeBALLOONS) 2004



MEZZO (ITOKI) 2000 Gマーク受賞



RIORD (ITOKI) 2002



DDD-table (ITOKI) 2005 Gマーク受賞



XV-EXECUTIVE (ITOKI) 2005



emit (ITOKI) 2003



LINX PANEL-SYSTEM (PLUS) 1991



Project-room (PLUS 音羽倶楽部) 1993



Entrance Sign (WING-Building) 2004



Street Light (Kinmon) 1996



CupVender (Fujidenki-reiki) 1983



花澤 周志
HANAZAWA Hiroshi
千葉県立千葉東高等学校
大学29回生 (81.3卒)

- 81.4 東洋リノリウム株式会社
現東リ(株)営業推進部
(広告宣伝担当)入社。
東京第2営業所、販促宣伝
部、販促デザイン部を経て
- 09.4 同社販促企画部。

- ・ベネッセアートサイト直島ファン
クラブ会員
- ・インテリアコーディネータ870417A
趣味：旅。
モットー：『行きたかった』こと
と『行かなかったこと』は同じ。

・ 著書

- 2003. 5 dwipa03
 - 2006. 10 dwipa06
 - 2009. 12 dwipa09
- 多島美の瀬戸内海。国内から見れば辺境に
位置する海流の中の島々。国内約300の有人
島を民俗学、生物学、地学、歴史、意匠、
建築等様々な視点から広く浅く訪ね歩く自
費出版シリーズ。

dwipa=サンスクリット語で『島』

- 1994. 1 執筆共著／(社) インテリア産
業協会発行インテリアコーディ
ネーターハンドブック販売編
第8章 床・壁・天井仕上げ材
- 2000. 3 共同編集／(社) 日本インテリ
アファブリックス協会発行イン
テリア情報ハンドブック

・ 制作

- 1988. 1 東リJAPANTEXブースプラン
～1998. 1
- 1988. 3 東リJAPANSHOPブースプラン
～1992. 3
- 1989. 10 建築設計家向けPR誌編集担当
～2008. 3
- 1992. 4 (社) 日本インテリアファブ
リックス協会シンボルマークデ
ザイン

・ 個展

- 2003. 8 千葉市緑区NAJAにて『島の写真
展』



上：dwipa 3部作表紙
up:dwipa series book
covers
左：dwipa03内面
右：dwipa06,09内面



JAPANTEX'96
テーマ:LIFE
高齢者福祉施設における
創発的空間提案



JAPANTEX'91 テーマ:純素材高感度1991



91JAPANSHOP
テーマ:素材の棲む国—マダガスカル編—



池田 吉伸
IKEDA Yoshinobu
千葉県立船橋高等学校
大学30回生 (82.3卒)

- 82.4 広告制作会社 (株) アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー入社。
87.8 有限会社テラックス・カンパニー設立。現在に至る。
アートディレクター
グラフィックデザイナー

許してくれ。この番組が見たかっただけなんだ。

脱走犯ブラウン・カーンも読んでいる
積極的にブラウン管を使いこなす人の情報誌へ

話題の人、これから注目の人大紹介
美人キャスターウォッチング
日本エレクトロニクスショー
ワイド版ビデオホットメニュー・大型モニター大特集

NHK大河ドラマ
独眼竜政宗大研究
話題のシリーズドラマ徹底ガイド
金曜日には花を買って

TV&VIDEO AIRCHECK MAGAZINE
TeLePAL
テレバル22号 本日発売 定価200円 小学館

10/25→11/7 2週間分TV番組表

「テレパル」小学館 1986



「テレパル」 小学館 1987



「東京ウォーカー」 角川書店 1988



「ビッグコミック」小学館 1999



「図説現代用語便覧」双葉社 1993

「青春の光トカゲ」 フジサンケイビジネスi 2005
 「バニーのブックカフェ」 フジサンケイビジネスi 2007



伊藤透

ITO Toru
都立富士高等学校
大学30回生 (82.3卒)

TORU ITO DESIGN代表
長岡造形大学 非常勤講師
社)日本パッケージデザイン協会理事

82.4 (株)資生堂宣伝制作部入社
89.8(株)資生堂退社、渡仏
90.1 カレノアール(CARRE NOIR)社入社
95.1 TORU ITO DESIGN設立
06.4 帰国

受賞

日本パッケージデザイン大賞、特賞
JPC 通産大臣賞 他

趣味：旅行、読書、映画鑑賞
URL：www.toruitodesign.com



ipsa Metabolizer 2006



Design Tex 2008



ipsa 2008



Switer AI-15 2011



Bio-Performance1988



Shiseido Rosarium 1986



The Make-up1987



Pure White W 2011



Plum Wine 2007



Shochu 2010



Shochu 2007



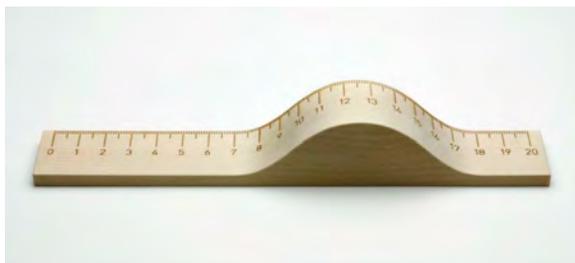
Memorise 2010



Bi-Matic 1994



Shiseido Nasca 2009



Uwabami Jogi 2011



Tefal Fondue 1996



Tefal Tajine 1997



大橋 俊夫

OHASHI Toshio

千葉県立船橋高等学校

大学 回生 (82.3卒)

82.4 (株) 設計機構入社

グラフィックデザイン

85.10 キヤノン (株) 入社 事務機

品質保証C グラフィックデザイン

87.1 システムデザインセンター

92.1 映像事務機デザインセンター

94.7 キヤノン販売 (株) 広報宣伝

本部 制作センター

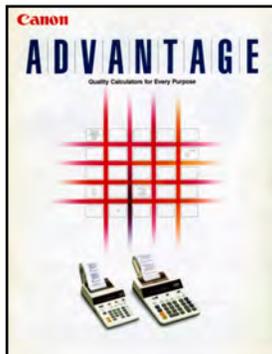
97.1~03.6 キヤノン (株) 総合デザインセンター

関東学連千葉大男子バレー部OB

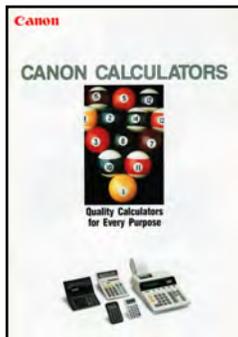
趣味: スキー、ランニング

モットー: 「ダメでもともと」

「Let it be.」



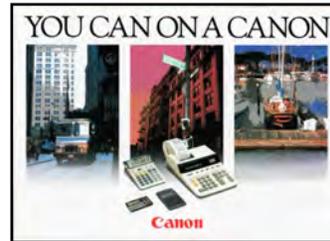
電卓海外向け販促材・総合カタログ制作 AD (D: 長谷川デザイン事務所) 1989
Calculators Catalogue for USA 1989



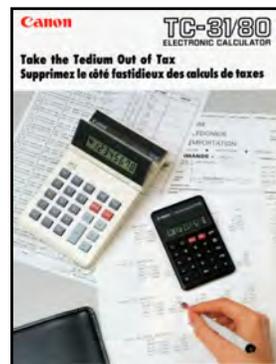
電卓海外向け販促材・総合カタログ制作 AD (D: 長谷川デザイン事務所) 1990
Calculators Brochure for Hong Kong 1990



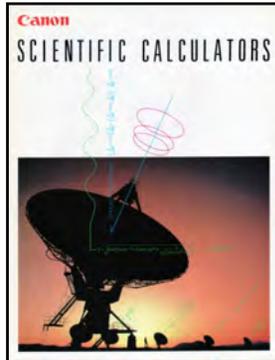
電卓海外向販促材・チラシ制作 A D 1991
Data Management Calculator Leaflet for Overseas 1991



電卓海外向販促材・総合カタログ制作 A D
(D : アコグラフィス アソシエイツ(株)) 1990
Calculators Brochure for Australia 1990



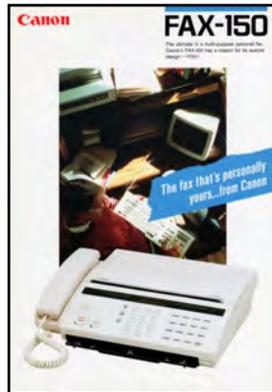
電卓海外向販促材・チラシ制作 A D 1991
Electronic Calculator Leaflet for Overseas 1991



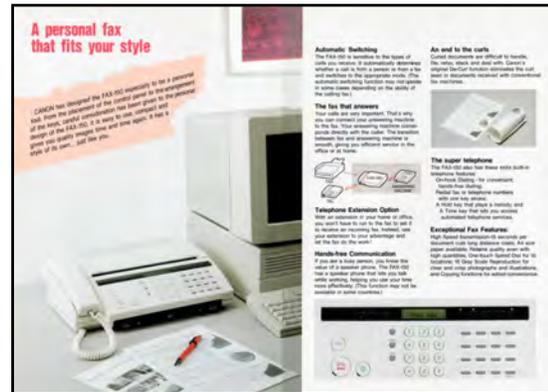
関数計算機海外販促材・総合カタログ制作 A D (D:長谷川デザイン事務所) 1991
Scientific Calculators Brochure for Overseas 1991

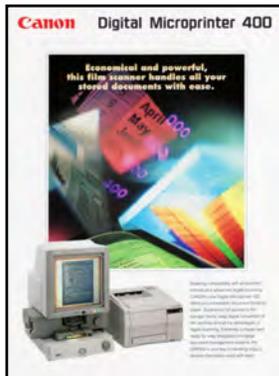


日本語ワープロ用POP制作 A D、D 1991
Word Processors Point of Purchase Advertising 1991



ファックス海外販促材・カタログ制作 A D、D 1991
Personal Fax Brochure for Overseas 1991





マイクロフィルム関連機器海外向販促材・チラシ制作
監修（制作：㈱シェフハウス）1996
Digital Microprinter Leaflet for Overseas 1996



マイクロフィルム関連機器海外向販促材・チラシ制作
監修（制作：㈱シェフハウス）1997
Roll/Fiche Carrier Leaflet for Overseas 1997



CDドキュメントレコーダ
海外向販促材 カタログ制作 監修
（制作：㈱シェフハウス）1998
CD Document Recorder Brochure
for Overseas 1998





金田 享子
KANEDA Kyoko

大学30回生 (82.3卒)
静岡県立浜松北高等学校
82.04 (株)オリエンタルランド入
社東京ディズニーランド開業
に携わる
83.10 (株)丹青社
02.04 (株)丹青シグネクス
03.04 アトリエ景発足
07.08 アトリエ景株式会社設立

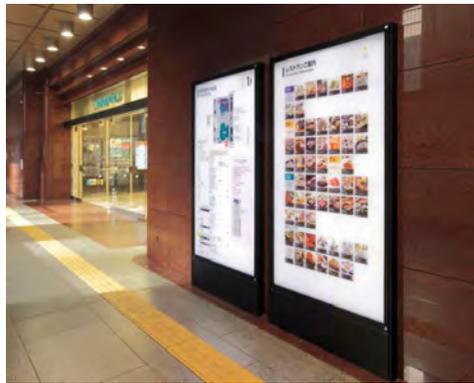
所属団体：

(社)日本サインデザイン協会
(社)日本グラフィックデザイナー協会
受賞歴：恵比寿ガーデンプレイスサイン
計画、ウェスティンホテルサイン計
画、本町ガーデンシティサイン計画、
セントレジスホテル大阪ほか。
モットー：施設の規模や領域にこだわ
りなく「伝えるデザイン」が専門域。
サインデザインを通じてたくさんの人
をつなぐこと、つなぐことで温かい笑
みがこぼれるような景色作りを目指
しています。



本町ガーデンシティ/セントレジスホテル大阪
Hommachi Garden City / St.Regis Osaka

大阪ステーションシティ
Osaka Station City



ホテル日航アリビラ
Hotel Nikko Alivila



BRASSERIE
Verdemar

Herb & Grill
HANA HANA



CHINESE RESTAURANT
KINSHASA
金紗沙

日本料理
・ 琉球料理
佐和



おだわら十郎梅干
雲上

おだわら十郎梅干
雲上

小田原プレミアム梅干プロジェクト
Odawara Premium Umeboshi project



浅賀 武
 ASAKA Takeshi
 東京都立西高等学校
 大学31回生 (83.3卒)

83.4 オリンパス光学工業 (株)
 第一開発部デザイングループ、
 05.12 (株) IPB、06.5 (財) 日本
 産業デザイン振興会、現在に至る。

全国発明表彰、グッドデザイン賞など
 受賞多数。
 法政大学非常勤講師 (デザイン工学
 部)

趣味：写真、鉄道、模型
 好きなこと：“わ” (和と輪)



製品デザイン (オリンパス光学工業株式会社)
 Product Design for 35mm film Cameras (OLYMPUS Optical.co.,Ltd)



OM40 1985



AM-100 1987



0-product 1988



TRIP 100 1992

OLYMPUS

顕微鏡システムのデザインとブランディング (オリンパス光学工業株式会社)
Design and Branding for Microscope System (OLYMPUS Optical.co.,Ltd)



システム生物顕微鏡 BX50 1993



教育顕微鏡 CH30 1997



手術用顕微鏡 OME-7000 2003



小規模事業へのデザインの支援 (オリンパス株式会社)
Design support for small business (OLYMPUS Corporation)



自動血液分析装置 AU5400 1999



ドットコードリーダー
Scan Talk R-300 1999



院内管理システム端末
Solemio nurse 2004



グッドデザイン賞などデザイン振興事業の運営 (日本産業デザイン振興会)
2006-2008

Design support and promoting organization (Japan Industrial Design Promotion Organization)
2006-2008



スーパーデザイナー養成講座

※ 私は運営を担当しマークは作成していません

卒業研究のその後：奈良井宿街並み保全地区のストリートファニチャーに関する提案を1983年に檜川村役場に提出。その後、提案の通り、電柱の移設と古い街並みに相応しい街路灯の設置が実現。

Proposal on street furniture of Narai, the streetscape convention area.



奈良井 1983



奈良井 1983

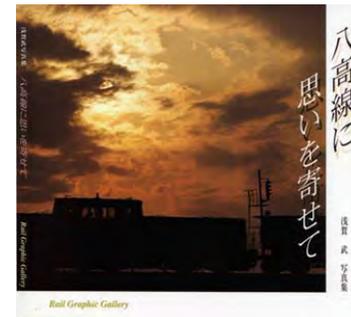


奈良井 2008

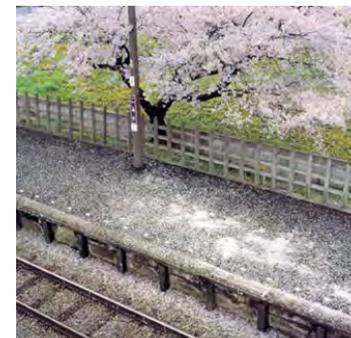


奈良井 2008

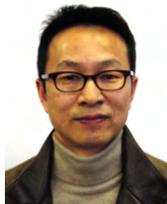
趣味：鉄道写真
(写真集・写真展・フォトコンなど)
Hobby : Photo shooting of railway



写真集発行 1997・写真展開催 1998



「現代鉄道写真抄」参加 1997/2000



酒井 隆司

SAKAI takashi
長野県立伊那北高等学校
大学31回生 (83.3卒)

83.4 ブラザー工業(株)入社
00 (有)アールツー・ドットコム・
ジャパン設立 代表取締役

00 中小企業診断士登録
02 ITコーディネータ登録

中京大学オープンカレッジ
新規創業、マーケティング講師
愛知県中小企業振興公社
外部専門家登録
名古屋市中小企業振興センター
経営診断員
中小企業基盤整備機構
IT推進アドバイザー登録

研究論文

・日本科学技術連盟 官能検査シンポジウム
「書字機会における文字イメージの分析」
・経済産業省 ITSSP 事業
「エクセルを活用したバランススコアカード
経営の実践マニュアル」

講演・セミナー

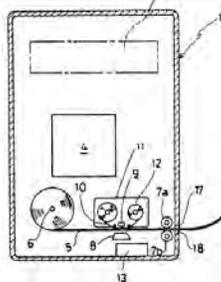
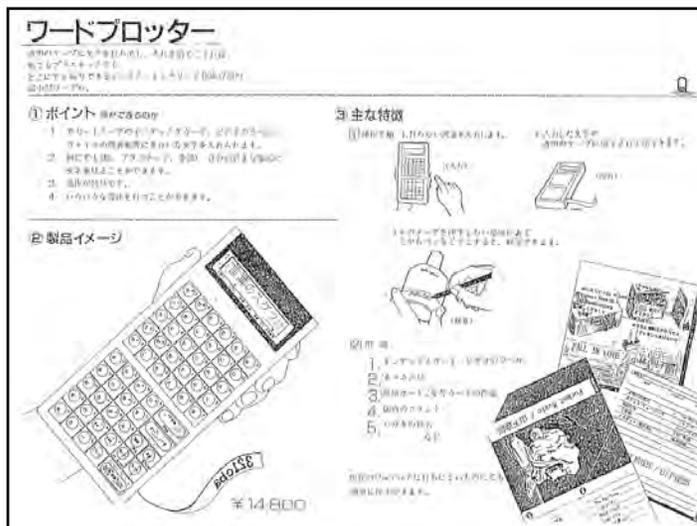
・名古屋市工業技術振興協会：「バランススコアカード経営をエクセルで実践する」講演会
・中京大学：「新規創業」、「エクセル活用セミナー」、「インターネット活用セミナー」
・中部産業連盟：「財務分析セミナー」、「4DM紹介セミナー」
・名古屋ソフトウェアセンター：「問題発見・課題解決」、「アイデア発想法」
・愛知県経営者協会：「エクセルによる経営革新セミナー」
・経済産業省 ITSSP 事業：「4DMによる経営革新セミナー」
・愛知県中小企業振興後社：「見える化経営の理論と実践」
・岐阜県産業経済振興センター：「エクセルによる経営革新セミナー」

関連する発明

特許第2139579号
「簡易レタリングテープ作製機」
特許第2133451号
「反転印字を行うテープ印字装置」
特許第2128329号
「印字位置の変更可能な印字装置」
特許第2570334号
「ダイヤル選時式テープ印字装置」
特許第1818963号
「記録装置」

関連する考案

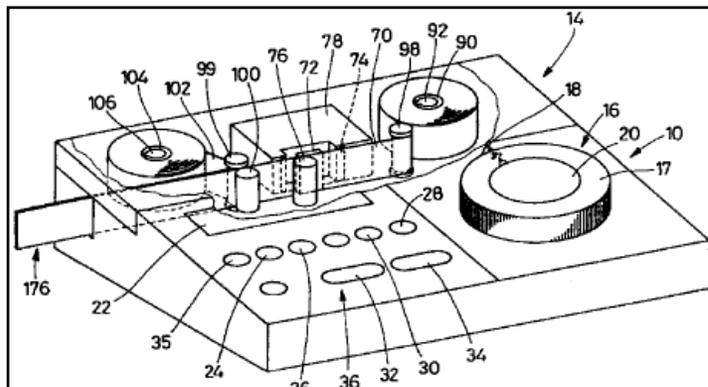
実用新案第2564210号
「ラベル印字装置」
実用新案第2149304号
「剥離紙付き印字テープ切断機構を備えた印字装置」
実用新案第2021118号
「テープ印字装置用テープカセット」
実用新案第2097648号
「テープ切断装置」



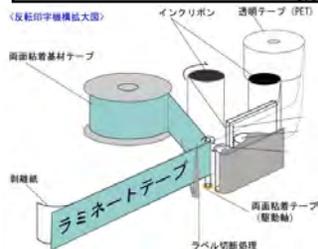
・1986年5月に、インスタントレタリングをユーザーが自由に作成できる「ワードプロッター」という製品コンセプトを考案した
 ・同年11月に、「簡易レタリングテープ作製機」という名称で、インレタテープを作製するための技術的な構成要素をまとめて単独にて特許出願を行った。(内容については右段参照)

特許請求の範囲（特許2139579号）

- A 文字や記号等を入力する入力部
 (→2) と、
 B その入力部により入力された文字や記号等の文字データを記憶するメモリ部(→4)と
 C 前記入力部により入力された文字や記号等を表示する表示部(→3)と
 D その背面から押圧されることで印字された像を被転写物に転写するために、レタリングテープ面に離型促進剤が塗布され、長尺状に形成された樹脂フィルムからなるレタリングテープ(→5)と
 E 着脱自在に装着され、前記レタリングテープ面に像を形成するためのインクリボン(→10)と
 F 前記メモリ部に記憶された文字データに基づき、その文字データの示す文字や記号等の形状を反転させた鏡像を前記インクリボンを介してレタリングテープ面に印字する印字手段(→9)と
 G 前記鏡像が印字されたレタリングテープを切断するカッタ(→18)とを備えたことを特徴とする
 H 簡易レタリングテープ作成機



〈反転印字機構拡大図〉



・1987年11月に、「簡易レタリングテープ作製機」の発明を発展させて、貼付けラベルもできる「反転印字を行うテープ印字装置」を技術者と共同で発明して、特許出願を行った。

・レタリングテープを作製する場合は左右に反転させてベーステープに印字し、貼付けラベルを作製する場合は、レタリングテープの印字面に両面粘着テープを貼り合わせる構造となっている。

・従って、印字した文字がベーステープにより保護されるので、耐久性がある。

特許請求の範囲（特許2133451号）

A 透視性を有する第一のテープ（→70）に、インクリボン（→74）を介して、文字等を裏返しパターンを反転印字するサーマルヘッド（→72）を備えた印字機構と

B 前記第一のテープ（→70）を送るテープ送り機構（→99,100）と

C 前記インクリボンを巻き取るリボン巻取機構（→82,84）と

D 前記印字機構、テープ送り機構およびリボン巻取機構を内部に収容するハウジング（→12）とを含み、かつ、

E 前記テープ送り機構が、前記第一のテープを送る際に、第一のテープの反転印字が行われた印字面に、前記第一のテープの背景となるテープ基材とそのテープ基材の両側に設けられた粘着財層とその粘着剤層の片側に予め粘着された剥離紙とから構成された第二のテープ（→102）を圧着するとともに、その第二のテープが圧着された第一のテープを前記ハウジング外へ排出する（→99,100）ことを特徴とする

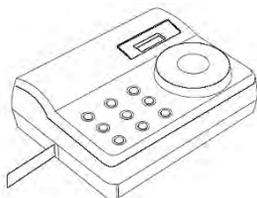
F 反転印字をおこなうテープ印字装置

・ブラザー工業は、1987年より「反転印字を行うテープ印字装置」の開発を行い、1988年11月に製造・販売を開始した。

・国内はキングジムへのOEM供給を行い「テプラ」という商品名で発売され、海外はブラザーブランド「P-touch」の商品名で発売された。

・「P-touch」という商品名は酒井が考案し、1987年に商標登録した

・「テプラ」と「P-touch」は、世界中で大ヒット商品となり、その後競合品も参入して、電子ラベルライターという新しいマーケットを創りあげた。



1989年ステーションリー・オブ・ザ・イヤー受賞

・ブラザー工業は、「ラベルライター」を発売してから2000年までの間で売上2000億円、営業利益500億円という収益を獲得し、「ラベルライター」は会社の中核事業となった。

・1994年に、「ラベルライター」の基本発明となった「反転印字を行うテープ印字装置」は、社団法人発明協会より発明賞の表彰を受けた。



・私は、工業意匠学科の電々公社プロジェクトで、多変量解析によるユーザーセグメントを行いターゲットごとに商品開発を行う手法を学んだ。それを活用してワープロユーザーを分類し、このような製品アイデアを想到することができた。



酒寄 映子
SAKAYORI Eiko
東京都立竹早高等学校
大学 31 回生 (83. 3卒)

83. 4 三菱電機株式会社入社、デザイン研究所にて、AV機器のデザイン、マーケティング・コンセプトマーケティングを担当。80年代から高齢化対応を研究テーマとしUDに至る。2001年より開発企画部門にて、UD推進などを担当。

趣味：旅行、海遊び
モットー：基本的に忠実に

共同開発者 澤田 久美子
SAWADA Kumiiko
筑波大学芸術専門学群 (83. 3卒)

ユニバーサルデザイン開発評価ツール UD-Checker



評価シート の例

結果シート(部分)

「できるだけ多くの人に使いやすいように、予め考えてデザインする」ユニバーサルデザイン(UD)開発を行うための支援ツールを開発した。このツールは、デザイナー・設計者などの開発者がユーザビリティ評価の専門スタッフとともに、自身が開発する製品やシステムをチェックし、UDのスキルを高めつつ、課題や解決のヒントを見つけ出すための支援ツールとして2004年度に構築し、開発に導入された。

はじめに、製品の特性や位置づけなどを整理し、使用環境・使う可能性のあるユーザーを見極め、目標を設定する。次に主な使い方の操作フローに沿って、課題ポイントを抽出する。そして、高齢者、視覚障がい者などのユーザー特性ごとに、各項目をチェックし得点が導かれる。チェック項目は、簡単でわかりやすい使い方、安全性と利便性の追求、識別しやすい表示表現、楽な姿勢・身体的負荷の観点からの35項目。より創造的にUD取り組むため、デザイナー自身が「感じること」や「創造的に解決すること」の支援を重視したツールを目指した。



羽田 隆志

HADA Takashi

新潟県立長岡高等学校
大学31回生 (83.3卒)

83.4 日産自動車(株)第3デザ
インインスタジオ

87.10千葉大学教務職員
工学部工業意匠学科

97.4 設計・デザイン事務所
PLANTM The Room

04.4 静岡文化芸術大学准教授
現在に至る

趣味：乗り物。

モットー：対立すべし変更すべし。



V. S. Monkey (フレームキットオートバイ) 1999 (株デイトナから限定100台販売)
世界に類のない仮想軸ステアリングのオートバイ。フロントフォークを持たない。

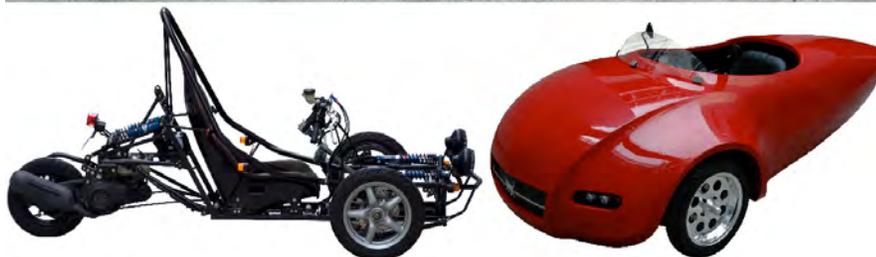
[赤色の車両]

超小型3輪電気自動車
「T3」(静岡文化芸術大学) 2006年
共同: 静岡文化芸術大学
元教授 高梨廣孝氏
後輪にインホイールモーターを内蔵した電気自動車。車両総重量を139kgまで軽量化できたため、小さな鉛バッテリーでも十分な航続距離を得た。



[黒色の車両]

超小型3輪スポーツカー
「EX3」(“PLAN” The Room) 2003年
共同: (株) ムデルエンターテイメント
49ccスクーターのエンジンを搭載した原付カー。車両総重量97kgと極めて軽量であるため、加速力以外の運動性能は異常と言えるほどに高い。



両車両とも原付枠にて登録、保険加入して公道走行が可能。



佐野 葉子

SANO Yoko

東京都立国立高校

(大学54回、2006.3卒)

大学院自然科学研究科デザイン専攻

(2008.3修了) 2008.4三菱電機入社、

デザイン研究所インタフェースデザイン部にて、カーナビゲーションシステムのGUIデザインを担当。

趣味：旅



岩崎 建樹

IWASAKI Tatsuki

千葉県東葛飾高校

(大学32回生、1984.3卒)

1984.4三菱電機入社。テレビ・車載機器のデザイン、コンセプトデザイン、

インタフェースデザイン等を担当。

2004~06年三菱電機中国有限公司。

2009年より開発企画部長

趣味：欧州・中国旅行

カーナビゲーションシステムのGUIデザイン



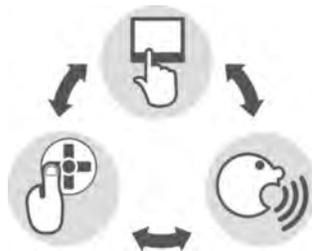
AV操作時



ナビ操作時



INFO(情報)画面



UDマップ表示

(左:3色覚、右:2型2色覚の見え方シミュレーション)

マルチリレーオペレーション

音声入力とタッチパネルとリモコンの操作モードを連携させ、走行中や停車中等、状況に合わせて入力できるマルチリレーオペレーションを実現した。業界初のインタフェース。

共同開発者 小阪田 政宏



佐藤 公信

SATO Kiminobu

愛知県立岡崎高等学校

大学32回生 (84.3卒)

大学院工学研究科工業意匠学専攻
(87.3修了)

87.4 千葉大学工学部技術職員

91.3 同大学助手 (工学部工業意
匠学科)

02.4 同大学助教授

11.5 同大学院工学研究科教授

日本デザイン学会会員

日本展示学会会員

日本音響学会会員

日本インテリア学会会員

人間・環境学会会員

専門分野：音環境デザイン、空間
演出。

■ 主な研究論文

1. DESIGNING A LIVING FOR CULTURAL RESOURCE-BASED REGIONAL REINVIGORATION Sustainability and Assessment in Isumi City, Chiba Prefecture, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.57 No.4, pp.77-86(2010)
2. 集住空間の共有領域に関する設計意図の特徴—建築雑誌「新建築」掲載作品を例として：デザイン学研究、57(6)、19-24 (2011)
3. RESEARCH INTO THE EVALUATION OF INTERACTIVE EXHIBITS BASED ON STUDIES OF VISITORS' BEHAVIOR AND UTTERANCES-Analysis on Interactive Exhibits at Science Museums-Part 2-, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design Vol.57(6), pp.71-78, 2 (2011)



■ 主な著書

1. 展示論、共著、本人分担：音響—聴覚情報・雰囲気の創出—(pp.98-99), 日本展示学会出版事業委員会編, 雄山閣(2011.7)
2. 音の百科事典、共著、本人分担：パイノーラル(pp.751-752)立体音響(pp.943-945)コンピュータ音楽(pp.462-464)電子音楽(pp.673-675)、音の百科事典編集委員会、丸善株式会社(2006.4)
3. 展示学事典、共著、本人分担：展示と音(pp.100-101)、展示と音像(pp.102-103)、日本展示学会「展示学事典」編集委員会編、ぎょうせい、(1996.1)
4. インダストリアルデザイン、共著、本人分担：空間演出デザイン(pp.151-156)、森典彦編、朝倉書店、(1993.4)

■ デザイン

1. ベンチ「語らいベンチ」：清水忠男、佐藤公信、原寛道、金澤匠平、今健一、(財)日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞 No.08B10060, (2008.10)
“Katarai Bench” Good Design Award 2008

2. 千葉都市モノレール新型車両乗降促進音: 佐藤公信、千葉都市モノレール社 (2011~)
“Departure Sound Sign” Chiba mono-rail 2012



3. 瓶詰めにされた音風景: 佐藤公信、第3回“「東京」を観る、「東京」を読む。”展、日本大学文理学部百周年記念館、(2007.11)
“Soundscape in TOKYO”Exhibition for TOKYO Reading & Watching 2007

4. 前二輪三輪自転車NEXTRIKE, 松尾拓弥、佐藤公信、清水忠男、日経デザイン2005年05号、pp.33、(2005.5)
“Nextriike”Bicycle for Short Stay Tourists 2005



5. Soundscape in
Lonmiladonno: Lonmiladonno火山灰展のための音環境インスタレーション作品 (2011. 11)
“Soundscape in
Lonmiladonno” Sound Installation
for Exhibition 2011



6. B.G.M(Music or Messege) : 佐藤公信, 福井
国際青年メディアアートフェスティバル・ふく
いメディアシティー・フォーラム優秀賞、
(1996. 11)
“B.G.M(Music or Messege)” : 1st. Prize 1996



7. 流山の魅力再発見 春・秋の散策会のためのロケーション・サイン、誘導サイン、案内サイン等の継続的デザイン提案：大学院1年生との共同制作（2010～）
 .“Location Sign System for Nagareyama Walking” 2011



8. 流山オープンガーデンのための住民主導のサイン・キットの提案：大学院生との共同提案（2010～）
 “Location Sign Kit for Nagareyama Open Garden Festival” 2010



米沢 みどり
YONEZAWA MIDORI
静岡県立静岡高校
大学 32回生 (84.3卒)

- 84 入社 インテリアコーディネーター
- 98 通信システム統括 移动通信端末
事業センター 商品企画グループ兼務
- 99 アイブラネット出向
ネットソリューションカンパニー
プロデューサー
- 08 三菱電機インフォメーションシス
テムズ兼務 次世代空港プロジェクト
担当課長

趣味：超大型犬と暮らす、ガーデニング

情報機器



エンジニアリングワークステーション MELCOM ME100/200/400 1988年



Laptop Personal Computer mp286L
1989年if賞受賞 原正樹、米沢みどり



昇華型 Color Printer S340
1989年イタリア Smau賞受賞

**渡邊誠**

WATANABE Makoto

都立墨田川高等学校

大学32回生 (84.3卒、大学院86.3修了)

博士 (工学) (92.3千葉大学)

86.4 セイコー電子工業株式会社入社

95.4 千葉大学工学部講師

97.6 千葉大学工学部助教授

07.4 千葉大学大学院工学研究科教授

01 英国Brunel University客員教授

05~ グッドデザイン賞審査委員

09 浙江大学客員教授

所属学会

日本デザイン学会、日本ファジィ学会

日本感性工学会、Design Research

Society

■主な学術論文

1. Core-competence of the In-house Design Department in Electronics Company of Japan and Korea: Makoto Watanabe, Bulletin of the 5th Asia Design Conference, CD-ROM, 2001
2. Product design in brand recognition: Makoto Watanabe, Bulletin of the 5th Asia Design Conference, CD-ROM, 2001
3. A Study Of Traffic Disaster Information Board Design: Makoto Watanabe, Bulletin of the 5th Asia Design Conference, CD-ROM, 2001
4. Assessment of the organization-based design knowledge: Makoto Watanabe, Bulletin of the 5th Asia Design Conference, CD-ROM, 2001
5. Knowledge Conversion in Industrial Design Education : MakotoWatanabe, Exploring Emerging Design Paradigm, ICSID2001, Education Seminar, pp177-184, 2001 Oct.
6. A video summarization algorithm using the semantic score method: Makoto Watanabe, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.48, №6, pp.31-38, 2002
7. CONSTRUCTION OF GUIDELINE/CHECKLIST "C-SYSTEM" IN UNIVERSAL DESIGN - PRACTICE OF COLLABORATIVE RESERACH AND DESIGN PROJECT "DESIGN FOR YOU" AT CHIBA UNIVERSITY (1): Makoto Watanabe, International Conference for Universal Design, CD-ROM, 2002
8. Developing the Universal Design Support System "YOU-base": Makoto Watanabe, Common Ground, Design Research Society, ISBN1857213483, 2002
9. Core-competence of the In-house Design Department in Manufacturing Company in Japan: Makoto Watanabe, Bulletin of Japanese Society for Science of Design, Vol.49, No.1 Issue no.151, 1-8, 2002

- 1 0. An Experiential Approach to Products Aesthetic Sustainability: Analysis of Aesthetic Unsustainability in Japanese Mobile Phones: Makoto Watabnabe, 6th Asian Design International Conference, Journal of the Asian Design International Conference Vol.1, CD-ROM, 2003
- 1 1. The Education System of Industrial Design in Japan: Makoto Watanabe, In The Name of God, Seminar on Industry and Art Iranian Academy of Arts, 2005. Jan
- 1 2. Structure Visualization in Design Developing Process of Japanese Car Companies: WATANABE Makoto, IWATA Kunio, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Refereed, 53(4), 39-46, 2006
- 1 3. Comparative Analysis of From-structural Patterns of Aesthetic Boredom of Mobile Phone Between Japan and Iran: An Inverse Approach to Product Aesthetic Durability(III), ZAFARMAND Seyed Javad, WATANABE Makoto, Bulletin of Japanese Society for Science of Design, Refereed, 53(5), pp.11-20, 2007
- 1 4. Development of Competences for Service Design, ONO Kenta, LEVY Pierre, WATANABE Makoto, Proceedings of International Service Innovation Design Conference, Refereed, CD-ROM, 2008
- 1 5. Design Collaboration Activities in Fashion and Manufacturing Industry: A direct approach to designer's role of design collaboration, YOON Jeewon, ONO Kenta, WATANABE Makoto, Bulletin of Japanese Society for Science of Design, Refereed, 56(1), 39-46, 2009
- 1 6. A Study on the Design Collaboration of Manufacturing Industries: Research on the Japanese watch company, YOON Jeewon, ONO Kenta, WATANABE Makoto, Bulletin of Japanese Society for Science of Design, Refereed, 56(1), 31-38, 2009

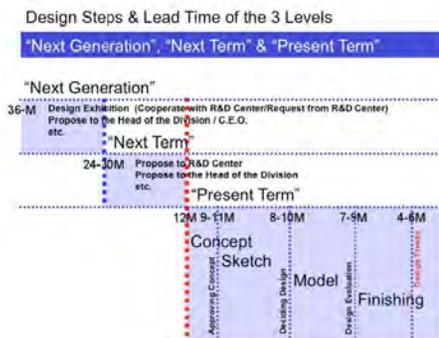
■主な著書

左脳デザインング, 海文堂出版, 1993, 分担執筆
 EXCELによる調査分析入門, 海文堂出版, 1996, 分担執筆

■研究概要

＜デザインマネージメントに関する研究＞

デザインにおけるさまざまなマネージメントの課題に関する研究から、商品ラインナップにおけるデザイン課題の抽出と具体的な対応法、デザイン評価のあり方とその実践的な試み、今日のデザインプロセス構造の明確化とその応用、およびデザインにおけるシステム論などに関する研究を行っている。以上のようなテーマについて日本の企業内デザイン部門を対象に、研究を行っている。



デザインプロセス研究

＜ユーザーインターフェイスデザインの研究＞

プロダクト・デザインおよび、プロダクト・デザインに関連するサービス・デザインのユーザーインターフェイスに関する研究、人間行動分析による人間の行動のモデル化とそれをもとにしたシステムの開発。



ユーザー行動分析例



阿部 敬人
ABE Takato
埼玉県立川越高校
大学34回生 (1986.3卒)

86 デザイン研究所入社
92 イタリアミラノ駐在
97 デザイングループマネージャー
04 開発企画グループマネージャー
08 情報システムデザイン部部长

趣味：ルアーフィッシング、ゴルフ
モットー：経験こそ真実なり

共同研究者 小玉 亮

北米向AV機器



1999年 世界初 (当時) 16 : 9HD
プロジェクションTV (73インチ)

1999年 世界最大 (当時)
4 : 3プロジェクションTV (80インチ)

1999年DVDプレーヤー



音響機器



1995年
DIATONE50周年記念モデルDS-A5
トップにカナディアンメイプル、
バツフル板にサテンシカモアを使い、
音の温もりと立ち上がりをデ
ザイン。
1組19.8万円（当時）



1995年
DIATONE50周年記念モデルDS-A3
ウォールナットとカナディアン
メイプルの斬新な構成。ツイータ
周りの人工皮革も業界初。
1組36万円（当時）

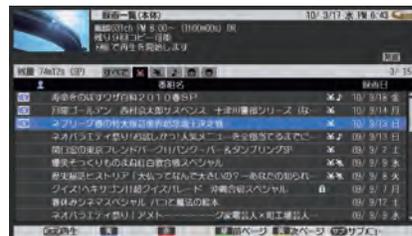


岩渕 信頭
 IWABUCHI Nobuaki
 宮城県仙台第一高等学校
 大学34回生 (86.3卒)
 86.4 三菱電機 (株) デザイン研
 究へ所属。車載、PCディスプレイ、
 空調デザイン、関連企業出向を
 経て、現在はAV機器デザインを
 担当。
 趣味：小旅行

BD・HDD内蔵テレビ LCD-BHR400シリーズ



前面ディスクトレイ



GUIデザインの例(録画一覧画面)



リモコン



石塚 健彦
 ISHIZUKA Takehiko
 千葉県立千葉東高等学校
 大学37回生 (89.3卒)
 89.4三菱電機 (株) AVシステム部
 デザイナー、01.5携帯電話サイト
 企画担当を経て07.10インタフェ
 スデザイングループマネージャー
 趣味：ドライブ、演劇鑑賞



岡田 麻美
 OKADA Asami
 茨城県立土浦第一高等学校
 大学53回生 (2005.3卒)
 大学院自然科学研究科デザイン専
 攻(2007.3修了)
 2007.4三菱電機(株)入社、インタ
 フェースデザイン部でAV機器のイ
 ンタフェースデザインを担当
 趣味：サックス演奏

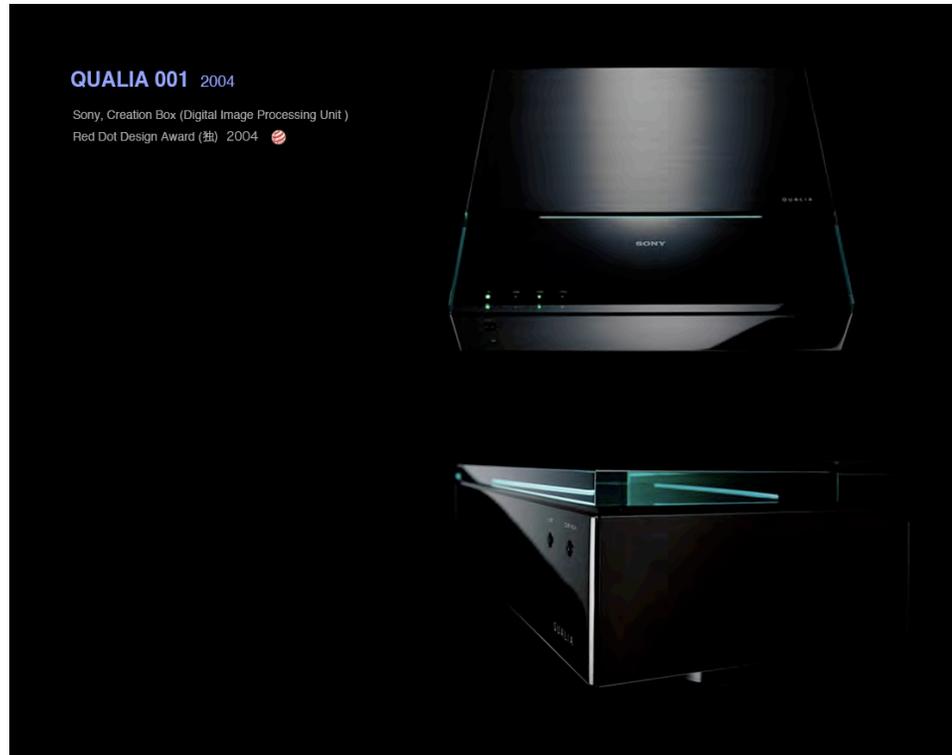


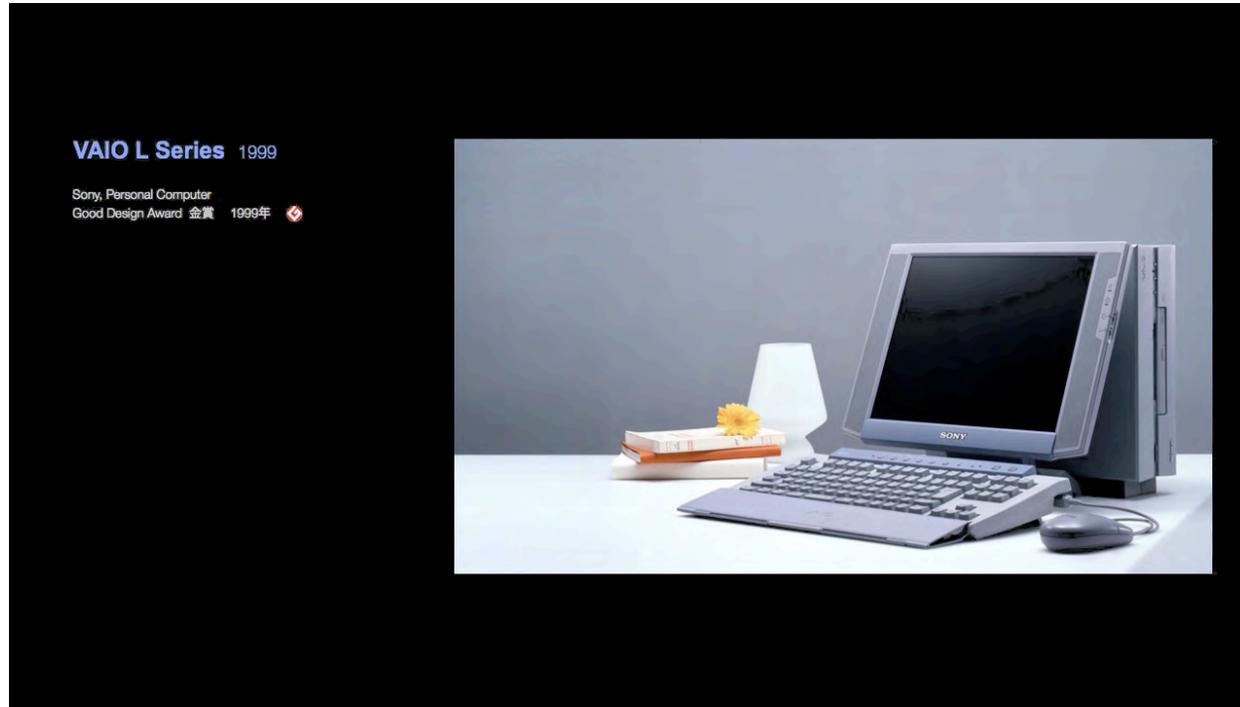
大場 晴夫

OBA Haruo

静岡県立浜松北高等学校
大学34回生 (86.3卒)

- 86 ソニー株式会社入社
- 89 Cranbrook Academy of Art
企業留学
- 92 noiseArt TED4 Kobe
- 99 PHDA55
SMAU ID Award
- 99 VAIO L Series
Gマーク 金賞
- 00 VAIO LX Series
Gマーク / Red Dot
- 01 Visual Flow
Gマーク
- 05 QUALIA 001
Red Dot
- 08 Special Moments
CHI 2008





千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

VAIO LX Series 2001

Sony, Personal Desktop Computer
Good Design Award 2001年 
Red Dot Design Award (独) 2001年 





樋口 孝之

HIGUCHI Takayuki
都立墨田川高等学校
大学34回生 (86.3卒, 88.3修士)
博士 (学術) (04.3千葉大学)

- 88.4 清水建設株式会社
97.10 樋口孝之デザイン研究室
98.8 文化庁派遣芸術家在外研修員
Kunstakademiets Arkitekt-
skole (デンマーク)
04.4 千葉大学

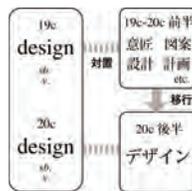
所属学協会

日本デザイン学会
日本インテリアプランナー協会

■主な学術論文・著書

1. 明治中期に公布された意匠条例に用いられた「意匠」概念, JSSD185, 45-54, 2008
2. 明治中期において文化に関わる言説に用いられた「意匠」概念, JSSD185, 35-44, 2008
3. 明治初期から中期の美術工芸振興活動にあらわれた「意匠」概念, JSSD181, 87-96, 2007
4. 明治の辞書にみられる西洋語に対応した「意匠」の語義, JSSD161, 11-20, 2004
5. 日本における漢語「意匠」の受容と解釈, JSSD161, 1-10, 2004
6. 「たくむ」「たくみ」語義の形成と変遷, JSSD158, 101-110, 2003
7. デザイン事典, 日本デザイン学会編集(分担執筆), デザインと多様性科学-多様な価値の存在としての豊かさ, 324-325, 社会の科学, 344-345, 朝倉書店, 2003

日本におけるデザイン思考・行為をあらわす言語概念の研究



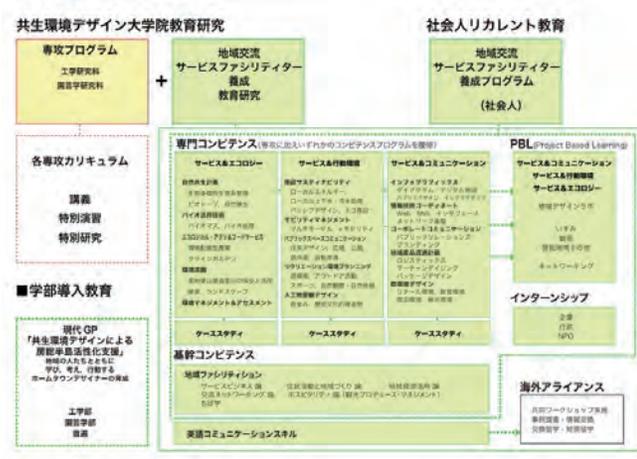
英語designとその対訳語

見出し語	対訳日本語
Design, vt. or i.; Designed, pp.; Designing, ppr.;	エロ ヲツ ナヅチマツク ハカ ヲシメケイ 畫ク, 模ス, 謀ヲ設ル, 圖ル, 外形ヲ畫ク, ヲツダ オモ ムオツモリ 企ツル, 想フ, 意匠スル
Design, n.	ゾ ヒナガタ メト ハカリコト ヒケロミ オモヒ 圖, 雛形, 目的, 謀計, 始計, 意思, 意匠
Designer, n	始計者, 謀反者 ムカフニン

『附音挿図英和字彙』(1873年) design関連語の対訳

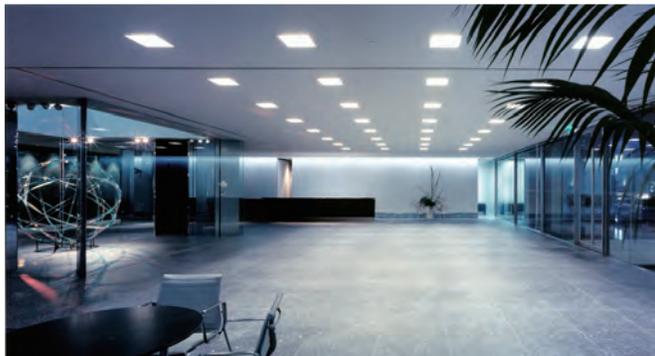
■ 主な教育プロジェクト

共生環境デザインによる房総半島活性化支援
大陸間デザイン教育プログラム



■ デザイン活動

自然環境と人工環境が上手に連関する環境形成に向けたデザイン開発の思想と手法。また、文化の自律と多様な価値の混在のゆたかさを尊重し、より良い地域生活文化を構築するためのデザインの検討と実践。



セコム上信越本社ビル：情報通信と警備保障を行う企業の本社ビル。信頼を表す堅牢感と開放を表す透明感を組み合わせた空間。



京橋Sビル：技巧的な大工棟梁に古く起源をもつ建設会社のサテライトオフィス、クラフツマンシップへ敬意をはらい木工造作技術を最大限に引き出す。



タラサ志摩：やわらかな曲線で重なり合いながら構成されたフォルムにより視線の移動にともなう多彩な変化。現代的空間のなかに伝統的建築要素を再構築。



アミティエ新大阪：高度な免震構造を備えた集合居住施設において、変位に適応させたインテリア計画。



柳田 泰宏

YANAGIDA Yasuhiro
千葉県立検見川高等学校
大学34回生 (86.3卒)

- 86.4 日野自動車(株)入社
デザイン部所属
- 92.8 Pratt Institute
(NY, USA) 大学院工業
デザイン学科卒
- 97.4 コマツ入社
開発本部商品企画室
デザイングループ所属

油圧ショベルの外装、キャブ
の内外装デザインを担当。
現在はマネージャーとして
全商品のデザインを監修し
ています。
趣味：ギター、旅行

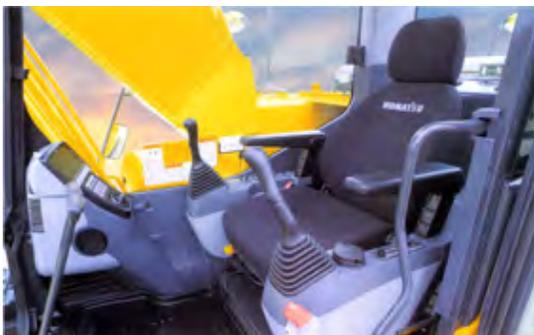
油圧ショベル PC138US-8, 2006
Hydraulic Excavator PC138US-8, 2006



- ・車体後端部が飛び出していない後方超小旋回機と呼ばれる機種で、狭い箇所での作業に利便性を発揮します。
- ・外観デザインの狙い：コマツ統一VIによるブランドイメージ強化、小旋回性を具現化したラウンドボディ、整備性向上、安定感の視覚化。

油圧ショベル PC200-8, 2005
Hydraulic Excavator PC200-8, 2005

- ・世界7か国の工場で生産されているコマツのグローバル主力商品です。
- ・外観デザインの狙い：
コマツ統一VIによるブランドイメージ強化、転倒時運転者保護構造
キャブの視覚化、パワフル感、信頼感の創造。





岡本 浩志
OKAMOTO HIROSHI
名古屋市立向陽高校
大学35回生 (87.3卒)

87.4 (株)テクノアトリサーチ
デザイン設計G デザイナー
94.1~ 同制作部
チーフデザイナー
05.1~ 同制作部
エグゼクティブチーフデザイナー

趣味：スキー、旅行



トヨタ プリウス エクステリア 2003
TOYOTA PRIUS Exterior Design 2003

主なデザイン賞
“グッドデザイン大賞 2003”
“Car Design Award 2003-2004”
“IDEA 2004 Gold Winner”



トヨタ プリウス エクステリア “キースケッチ”
TOYOTA PRIUS Exterior “Key Sketch”



レクサスIS-F エクステリア 2006
LEXUS IS-F Exterior Design 2006



トヨタアイシス エクステリア 2004
TOYOTA ISIS Exterior Design 2004



トヨタアリオン エクステリア 2002
TOYOTA ALLION Exterior Design 2002



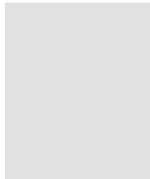
トヨタ エスティマ エクステリア 1999
TOYOTA ESTIMA Exterior Design 1999



レクサス ES エクステリア 1996
LEXUS ES Exterior Design 1996



トヨタ カリブ フロントフェース 1995
TOYOTA CARIB Exterior Front Face Design 1995



長井 千春

NAGAI Chiharu
和歌山県桐蔭高等学校
大学36回生 (88.3卒、大学院94.3修了)

愛知県立芸術大学美術学部
デザイン・工芸科陶磁専攻 准教授

6年間のドイツ留学で陶磁器デザインを学ぶ。
(Burg Giebichenstein, Hochschule für Kunst und Design Halle.
1993年卒業 Diplom Designerin)
神戸芸術工科大学助手を経て現職。

日本デザイン学会会員
博士(学術)



「白の器」、カップ・磁器、2005年
「骨笛」、花器・磁器、1999年

「十六夜」、ボール・磁器、2006年、小田陶器株式会社



「べんとう豆」、陶磁器、中子・檜、2006年 小田陶器株式会社
そら豆をイメージした懐石弁当箱形状の器。持ち運ぶのではなく、食卓で詰め合わせ料理を楽しむために。



大森 正樹
OMORI Masaki
東京都立駒場高等学校
大学37回生 (89.3卒)

- 89.4 JR西日本入社 車両部、鷹取
工場で鉄道車両の設計、デザ
インを担当
設計の他、車両のサインや、
プロモーション用パンフレッ
ト、JR西日本サインマニユア
ル(車両の章)等のグラフィッ
クデザインワーク
- 07.7 お客様サービス部課長
- 10.7 車両部設計室課長

日本インダストリアルデザイナー協会
(JIDA) 会員
日本デザイン学会会員
日本カタルーニャ友好親善協会会員
阪神タイガース検定会場試験合格
鉄道設計技士 [鉄道車両]

設計、デザインに関わった主な車両



285系 (98年、寝台特急「サンライズエクスプレス」用電車
グッドデザイン金賞、ブルネル奨励賞、ブルーリボン賞受賞)



223系 0代 (94年、関西空港アクセス
快速用電車) グッドデザイン賞受賞



223系1000代
(95年、「新快速」用電車)

設計、デザインに関わった主な車両



281系 (94年、関西空港アクセス特急「はるか」用電車)
グッドデザイン賞、ブルネル賞受賞



321系 (05年、通勤用電車)



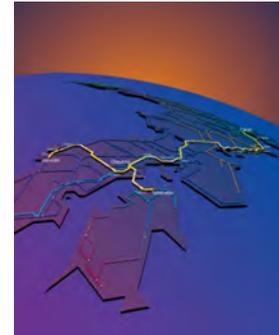
特急サンダーバード路線図 (95年、パンフレット用)



683系 (00年、特急「サンダーバード」用電車)



特急オーシャンアロー路線図 (96年、パンフレット用)



特急サンライズエクス
プレス路線図
(98年、パンフレット用)



アーバンネットワーク路線図
(05年、通勤電車車内用、試作)



JR西日本路線図 (01年、企業HPインデックス用、基本図)



優先座席ピクトグラム (99年)



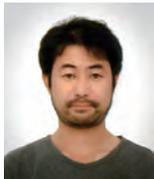
路線図を用いたアートワーク
(10年、タイガースデザインのアレンジ——路線図がトラ)

講演等

- ・「デザインの展望 コミュニケーションデザインを考える～鉄道事業におけるデザインの可能性～」07年～、千葉大学
- ・「コミュニケーション・デザインを考える～阪神タイガースのデザインから学ぶもの～」07年、京都工芸繊維大学
- ・「ダリの聖地を巡って～ダリのプロモーション活動、世界へのメッセージ、ダリのコミュニケーション」08年、日本カタルーニャ友好親善協会
- ・「鉄道からデザインを考える～公共デザイン、コミュニケーションデザインとはなにか」09年、武蔵野美術大学

論文等

- ・「住宅メーカーと共同開発の試み ～285系寝台特急電車の設計について～」(共著) 98年、日本鉄道技術協会JREA賞受賞
- ・「マイトレイン～20年後の鉄道システムを展望する～」07年、日本鉄道技術協会懸賞論文佳作入選
- ・「JR西日本 車両開発・投入経緯と主な成果」(共著) 10年、JRガゼット



前川 正実

MAEKAWA Masami
埼玉県立本庄高等学校
大学37回生 (89.3卒)

- 89.4 (株)島津製作所デザイン部門
プロダクトデザイナー
- 94~ ユーザインタフェースと機能
開発及び、製品開発上流工程
の品質向上と効率化に重きを
置いたデザイン活動を行う
- 08.2 (株) 操作デザイン設計 代表

日本人間工学会
日本デザイン学会
日本感性工学会
人間中心設計推進機構 各会員

趣味：自転車、旅行、写真



[Product Design]
ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP5000 1993
Gas Chromatograph with MS Detector GCMS-QP5000 1993
日刊工業新聞機械工業デザイン賞 受賞製品



[Product Design]
マイクロ電子天秤 AEM-5200 1993
Micro Electronic Balance
AEM-5200 1993



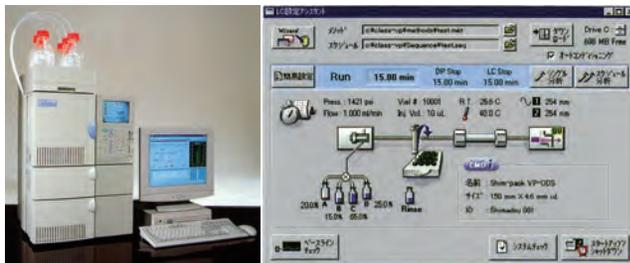
[Product Design]
クリニカルイオンメータ CIM-300 1993
Na/ K/ Cl ION Meter CIM-300 1993
Gマーク受賞製品



[Product and GUI Design]
デジタルラジオグラフィシステム DIGITEX PRO 1997
Digital Radiography System DIGITEX PRO 1997



[Product Design]
MRI装置 MAGNEX α 1994
MRI System MAGNEX α
1994



[GUI Design]
液体クロマトグラフ ワークステーション Class-VP ver. 6.0 1999
LC WorkStation Class-VP ver. 6.0 1999



[GUI and Function Design]
CT-3次元画像処理ビューワ GeniusSpace 2001
CT-3D Image Viewer GeniusSpace 2001



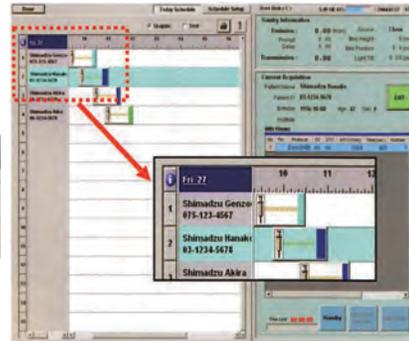
[GUI Design]
一般撮影システム Radiotex safire 2003
General Radiographic System
Radiotex safire 2003
Gマーク受賞製品
日刊工業新聞機械工業デザイン賞 受賞製品



[UI Design]
外科用X線テレビシステム OPESCOPE PLENO 2002
Surgical Mobile C-Arm Imaging System OPESCOPE PLENO 2002
Gマーク受賞製品



[GUI & Function Design]
全自動血液凝固分析装置 CP2000 2007
Full Automatic Blood Coagulation Analyzer
CP2000 2007



[UI & Function Design]
 クリニカルPETシステム Eminence 2003
 Clinical PET System Eminence 2003 Gマーク受賞製品

・ 研究論文

2010. 5 Method of Finding Situations Which Cause Problems in Human Computer Interaction, Korea and Japan Joint Ergonomics Symposium
2010. 7 A Method of Discovering Design Subject Area to Develop Attractive Products, IADIS IHCI
2010. 9 製品開発におけるデザイン課題の特定に関する一考察、日本感性工学会

・ 講演

2009. 2 観察、インタビューによりユーザ要求事項を抽出する方法——現場でユーザ要求事項を抽出してUIデザインに反映する、HCD-net講演会

・ 執筆

2010. 12 GUIデザイン——ユーザ要求事項の抽出、DESIGN PROTECT No. 88、日本デザイン保護協会

・ 登録特許

- P4144303 核医学検査装置の検査スケジュール作成プログラムおよび核医学検査装置
- I325311(台湾) マンモグラフィ装置
- P4591407 反応キット

・ 公開特許

- 2006-084433 コーンビームCT装置
- 2008-077608 業務進行管理システム
- 2008-129700 データ処理システム及びそのプログラム
- 07-132740 反応容器キット
- W0/2007/119459 マンモグラフィ装置
- W0/2008/081525 マンモグラフィ用検出器ユニットおよびこれを備えたマンモグラフィ用核医学診断装置
- 2000-020196 視線入力装置

・ 実用新案登録

- 3124943 ビベッタ
- 3128904 乳房形状整形具
- 3133717 収容箱及びそれを用いた収容箱セット



小島 一泰
KOJIMA Kazuyasu
茨城県立古河第三校等学校
大学39回生 (91.3卒)

91.4 カシオ計算機(株)入社
デザインセンター所属。
腕時計のデザインを担当。
現在女性時計のディレクションを主に担当しています。

趣味：自転車



CASIO “Sheen” デザインディレクション 2007-2010



CASIO “Baby-G”

左から：BGA-113（2009）、BG-2000（2006）、BGR-30（2003 Gマーク受賞）



CASIO “G-SHOCK”

左から：GW-100（2001 Gマーク受賞）、DW-9700（1999）、DWG-100（1999）



新井 悟史

ARAI Satoshi
東京都海城高校
大学40回生(1992.3卒)

- 92.4 三菱電機(株)入社。
- 92~ 産業機器・公共施設向け監視
制御室トータルデザイン、
- 98 デジタルプレゼンテーション研究
- 99 携帯電話デザイン
- 05 空調機器関連デザイン
- 06 冷蔵庫デザイン

趣味・モットー: 奉仕

国内向け冷凍冷蔵庫(2009年)

Fシリーズ
(写真はMR-F40R-P)

フレンチドアの使いやすさを
シンプルな外観でまとめた
中容量機種。
インテリアを引き立てる優しい
印象のピンクの外観カラーを
持つのも特徴。



Eシリーズ
(写真はMR-E50R-PW)

リビングインテリアの一部としての
存在を目指し、シンプルモダンな
外観基調とした大型冷蔵庫。
インテリアに合わせやすい木目調・
暖色系・メタルなどのカラー展開で
選びやすいラインナップとした。
(下はカラーラインナップ)



共同開発者：高砂英之（デザインディレクション）



原寛道

HARA Hiroichi

土佐高等学校

大学40回生（92.3卒）

千葉大学大学院工学研究科工業意匠学専攻
（94.3修了）

博士（工学）（07.3千葉大学）

94.4 株式会社環境デザイン研究所

00.7 有限会社原デザイン設計室

01.10 千葉大学非常勤講師

02.6 東京都立科学技術高等学校市民講師

03.8 千葉大学工学部デザイン工学科

工業意匠計画講座助手

06.4 千葉大学工学研究科

デザイン科学専攻助教

11.10 千葉大学工学研究科

デザイン科学専攻准教授

■主な学術論文

1. 都市観光を手がかりとしたまちづくりにおける歩行者空間への要望と評価——台湾・高雄市を例として：李俐慧，佐藤公信，原寛道，清水忠男，デザイン学
研究（2007）

2. 子どもの集団遊びと環境構成のあり方——保育現場における自由遊びを例とし
て：保育学研究（2006）

■主な研究

（1）散策型観光促進の歩行者用サインシステムデザインの開発



従来のサイン計画は歩行者が主体的に散策を楽しむものは少なく、目的に効率的に誘導することが主眼であった。このプロジェクトは、地域に点在する魅力を主体的に楽しむための、遊歩道におけるサイン計画である。この提案に関して、アンケート調査、利用者に対するヒアリング調査、観光客を想定した被験者の利用追跡調査によって、有効性が確認された。

(2) ユニット式ジャングルジム「スペースキューブ」の開発

近年、遊具の事故が大きく報道されることで、遊具の在り方について見直そうという気運が高まりつつある。今回開発した遊具は、現代の子どものニーズに合わないジャングルジムの新しい形を、遊びの安全性の確保と魅力の創出という2つの側面から提案したものである。極小曲面を応用した鞍型のFRPユニットによってジャングルジムを構成することを考案し、このことにより、遊びの安全性の確保をしつつ、多様な空間性による魅力の創出を可能にすることを実現した。



(3) 精神的ストレスを緩和する環境設定「ナチュラルスヌーズレン」のデザイン開発





松内 紀之

MATSUUCHI Noriyuki

奈良県立北大和高等学校

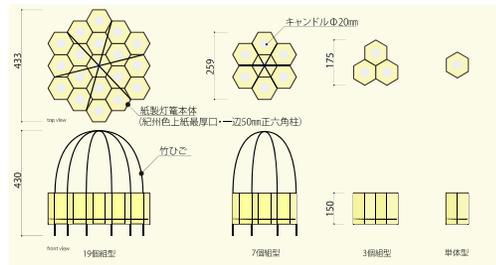
大学40回生 (92.3卒)

大学院修士課程 (94.3修了)

- 94.4 (株) 大丸 装工事業部、
フリーランスでの活動を経て、
- 04.4 西日本工業大学工学部講師
- 07.4 同デザイン学部准教授
- 08.4 倉敷市立短期大学准教授

日本デザイン学会会員
日本都市学会会員
奈良県建築士会会員

趣味：楽器（コントラバス）演奏、テニス。主に、インテリアデザインとデザイン教育分野で活動してまいりました。最近2年間で、地域イベントのための光のオブジェ制作に3回取り組みました。



2008年8月 大分県中津市明蓮寺におけるインスタレーション

制作場所から400Km離れた地で展示・発表した。運搬性と収納性を考慮した畳める構造のキャンドルケースを制作した。



東田 智輝

TUKADA Tomoaki

群馬県立前橋高等学校
大学41回生 (1993.3卒)

93.4三菱電機入社、デザイン研究所配属。PC、携帯電話家電製品などを担当。

趣味：テニス、スポーツ全般、ガジェット購入
モットー：素心深考



飯澤 大介

IIZAWA Daisuke

渋谷教育学園幕張高等学校
大学44回生 (1996.3卒)
大学院自然科学研究科デザイン専攻 (1998.3修了)

98.4三菱電機入社。デザイン研究所インターフェースデザイン部にて携帯電話、家電製品を担当。
趣味：読書、音楽、スポーツ

ー携帯電話インターフェースー



FOMA D902iのインターフェースデザイン。ドコモ初のFLASHメニュー。企画立案からスクリプト、デザイン製作まで手掛ける。
共同研究者：山崎隆



デジタルムーバ D50xiシリーズの商品企画及びインターフェースデザイン。メニュー操作、文字入力、カメラ、音楽再生等、携帯電話における基本的なUIのデザインを手掛ける。



V401Dのインターフェースデザイン。業界初の指でなぞって操作する「コントロールパッド」を装備。画面のスクロールやカメラズーム操作、ショートカット操作を実現。



携帯電話のコンセプトデザイン。最新の研究成果に基づく携帯電話コンセプトのデザインとプロトタイプニング。

D902i、D50xiはNTTドコモから発売、V401DはVodafoneから発売されました。FOMA、デジタルムーバはNTTドコモの登録商標です。



泉福 剛

SEMPUKU Tuyoshi

千葉県立千葉東高等学校
大学46回生 (1998.3卒)
大学院自然科学研究科デザイン専攻 (2000.3修了)

2000.4三菱電機入社。インターフェースデザイン部配属。携帯電話、カーナビなどを担当。
趣味：散歩

Flash: Adobe System社のアニメーション実行環境
UI: User Interface



下川 倫和
SHIMOKAWA Tomokazu
山口県立豊浦高等学校
大学 回生 (94.3卒)

94. 4. 東り (株) 商品本部デザイン室
(現フロア企画部デザインG)、
08. 4. 床材チーフデザイナー
趣味：写真、MTB
モットー：取り敢えずやってみる。



ビニル床タイル “シェイロ”
Solid Vinyl Tile “SHAYLLO”



渡邊 美帆
WATANABE Miho
兵庫県立加古川東高等学校
大学 回生 (2001.3卒)

01. 4. 東り (株) デザイン室、
10. 4. 壁装部デザイナー
趣味：生花、ソフトテニス、ゴルフ
モットー：笑顔！



“ファルベ”
“FARBE”



“チプロン”
“CIPLON”



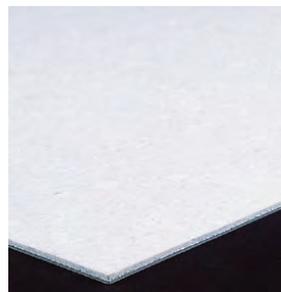
“シェイロ”
“SHAYLLO”



ビニル床タイル “アミッシュオーベ”
Solid Vinyl Tile “AMISH OPE”

ビニル床タイル / チップインレイドタイルシリーズ / 2002
(Solid Vinyl Tile / Chip Inlaid Tile Series / 2002)

- ファルベ : 全24色 (FARBE:24colors)
- チブロン : 全15色 (CIPLON:15colors)
- シェイロ : 全6色 (SHAYLLO:6colors)
- アミッシュ : 全27色 (AMISH:27colors)
- アミッシュオーベ : 全8色 (AMISH OPE:8colors)



“アミッシュオーベ”
“AMISH OPE”



“アミッシュ”
“AMISH”



松木 一太
MATSUKI Ichita
埼玉県立浦和西高等学校
大学42回生 (94.3卒)
同大学院 (96.3卒)

1996.4 雪印乳業 (株)
宣伝部制作課
2011.4 雪印メグミルク (株)
研究開発部

趣味：釣り、サッカー。

千葉が大好きです！



雪印スライスチーズ 2002



雪印ネオソフト 2007



雪印北海道バター 2005



雪印北海道100カマンベールチーズ 2008



雪印6Pチーズ 2005



雪印北海道スキムミルク 2011



石橋 忠人
ISHIBASHI Tadahiro
千葉県立薬園台高校卒
大学43回生 (95.3卒)

95.4 株式会社ケンウッドデザイン
ビジネスコンサルティング会
社勤務を経て、
03 独立開業。
フリーランスのプロダクトデ
ザイナーとして家電、情報通
信機器、医療機器、玩具等
のデザインを行っています。

07～ 千葉工業大学非常勤講師

<http://www.idlab.jp/>



カフェポッドエスプレッソマシン “デバイススタイル PD-1” 2007
Café POD ESPRESSO MACHINE “deviceSTYLE PD-1” 2007



齋藤 紀行
SAITO Noriyuki
国立木更津工業高等専門学校 機械工学科
大学43回生 (95.3卒、大学院97.3修了)

日本軽金属株式会社を経て株式会社ノーリツ勤務。住空間におけるお湯まわりの道具をデザインしている。

所属学会・団体
日本デザイン学会
道具学会 (2010年より理事)
焚き火友の会

趣味：Pandaの世話

97.12 [肥後守博物館] 開設
<http://www.higonokami.net>

■ プロダクトデザイン



RC-A001 2009
Remote controller



ルナボウル オープン 2003
(フレームデザイン担当)
lunabowl open 2003
(designed flame structure)



Riz 2007
System bathroom

■ 執筆など



『道具学への招待：道具学叢書001』
共著 2007



Web絵本『おふろにはいろう!』
風呂文化研究会にて制作 2010

■ ウェブミュージアム「肥後守博物館」

修士論文のテーマは「肥後守の生誕と展開-ひとつの近代刃物史」。雑誌などにも取り上げられ、様々な反響を得た。その内容をもとにウェブサイトを開設、今に至っている。小さな道具に対する関心とともに、手を使う原始的なものづくりの啓蒙という観点で、ライフワークともいえる活動。

[肥後守博物館]

<http://www.higonokami.net>





下村 義弘
SHIMOMURA Yoshihiro
千葉県立八千代高等学校
大学43回生 (95.3卒)

- 00.3 千葉大学大学院自然科学研究科博士 (工学)
- 00.4 千葉大学助手大学院自然科学研究科
- 03.4 千葉大学フロンティアディカル工学研究開発センター (兼任)
- 07.4 千葉大学准教授

日本生理人類学会理事
桑沢デザイン研究所非常勤講師

趣味: ロボット作り、和太鼓、マウンテンバイク、生体電気インタフェース作り

モットー: 「ひとの作ったもので満足するな」



風灯: Solar ((有)Living World) 2005 回路設計
夜間の風の揺らぎ検出・増幅とLEDの平滑発光・太陽光パネルとキャパシタによる自己給電
Wind-lit: Solar 2005; Circuit design

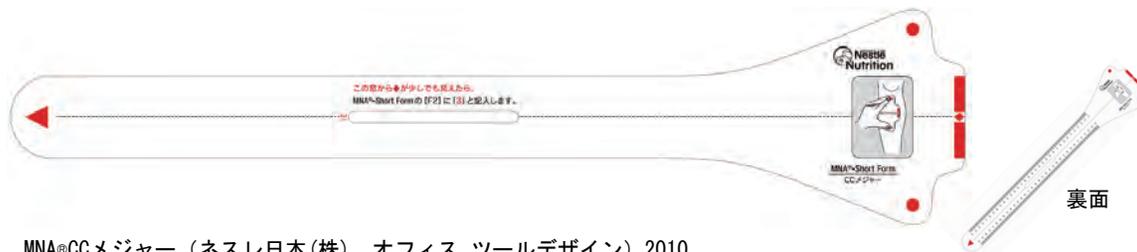


2008年度グッドデザイン賞

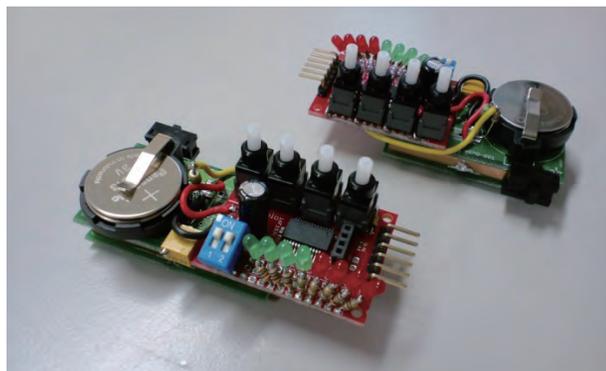


2009年度グッドデザイン賞

医療用はさみジョーウェル・エルゴ・スーパー剪刀 ((株)メディカルR&D) 2008
医療器具で最初の人間工学先行のグリップデザインとユーザビリティ評価
ES240-01-CFME 2009; Form design and ergonomic evaluation



MNA®CCメジャー（ネスレ日本(株)、オフィス ツールデザイン）2010
 高齢者栄養状態スクリーニング用下腿周囲長メジャー
 ヒトがヒトを測る際の計測誤差を抑制する人間工学先行のフルデザインとユーザビリティ評価
 Calf circumference measuring tape for Mini Nutritional Assessment® by Nestle Nutrition Institute 2010



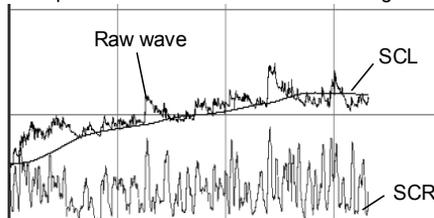
vEMG（ライオン(株)）2011
 迅速な人間工学的製品評価を可能にする
 表面筋電図ビジュアライザ（開発中）
 Visual ElectroMyoGraphy 2011



箸の持ち方の研究 2008
 いわゆる伝統的な持ち方“P型”は、
 そうでない“S型”よりも筋の協調制
 御の学習が促進される可能性がある。
 非利き手で5日間のトレーニングをし、
 その前後で筋電図を比較（下表）。
 Study on the manipulation mode of
 chopsticks 2008

	▼▲; p<0.05 減少・増加 ▼▲; p<0.1 減少・増加	第一背側 骨間筋	短母指 屈筋	短小指 屈筋	浅指屈筋 (示指側)	浅指屈筋 (小指側)	総指伸筋
単純開閉		▼P			▼P		▼P
挟み込み				▲P		▲P	
往復移動				▲P			▲S ▲P
積上げ				▲P		▲P	▲S ▼P
かき混ぜ		▼P		▲P			

Response of skin conductance in driving



皮膚コンダクタンス解析技術（(株)いすゞ中央研究所）2008
 ストレスに対する精神性発汗の一過性生理応答（SCR）の分離
 方法を周波数解析の手法を用いて開発した。
 Analyzing method of skin conductance response for the
 assessment of techno-stress 2008



寺島 正之
TERASHIMA Masayuki
大阪府立高津高等学校
大阪府立大学工学部応用化学科
大学43回生 (95.3卒)

- 95.4 松下電工(株)入社
住建エクステリア、情報機器デ
ザインを経てユニバーサルデザ
イン担当
- 02 グッドデザイン金賞

日本デザイン学会、日本人間工学会、
日本建築学会会員
二級建築士

趣味：写真、自転車



ウッドエントランスポール 1998
Woody Entrance Pole 1998



レーザーマーカ―墨出し名人 2001
Laser Marker 2001



墨出し名人プロ自慢 2003
Laser Marker Pro 2003



オートボリス 2004
Car Sensor Alarm 2004



ワイヤレスサービスコール 2005
Wireless Service Call 2005



洗面化粧台ウツクシーズ
ユニバーサルデザイン監修 2007
(デザイン: 深澤直人)
Universal Design for Washstand 2007
(Design: Naoto Fukasawa)



小野健太

ONO Kenta

姫路東高等学校

大学45回生 (96.3卒、大学院98.3
修了)

千葉大学大学院自然科学研究科人
間地球環境科学専攻博士後期
課程(01.3修了)

01.4 三菱電機デザイン研究所入社

02.5 Design Studio, Mitsubishi
Electric Telecom Europe
S. A.

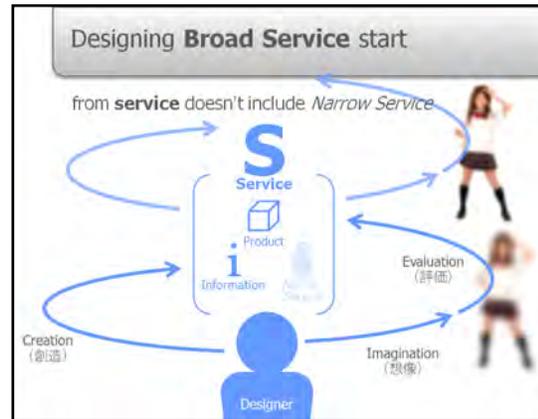
03.4 千葉大学工学部助手

07.4 千葉大学大学院工学研究科
助教

11.5 千葉大学大学院工学研究科
準教授

趣味：街中探索、読書。

モットー：楽しむ！



サービスデザインのフレーム提案2008

■主な学術論文

1. Development of Competences for Service Design: ONO Kenta, LEVY Pierre, ISHIZUKA Akihiro, HACHIMA Satoshi, WATANABE Makoto, Bulletin of International Service Innovation Design Conference, 411-416(2008)
2. 日本・韓国の電気機器・精密機器業界における事業ドメインとインハウスデザインの関係ーインハウス・デザイン・マネージメントに関する研究(1): 渡邊 誠, 小野 健太, 金 哲浩, 杉山 和雄, デザイン学研究, 第48巻 第4号, 31-36(2001)
3. 家電メーカーにみるデザイン決定プロセス: 杉山 和雄, 金 哲浩, 小野 健太, 渡邊 誠, デザイン学研究, 第45巻 第6号, 11-18(1999)

GSM向け携帯電話 (M21i) のインターフェースデザイン提案
 Interface design for GSM mobile phone (M21i)

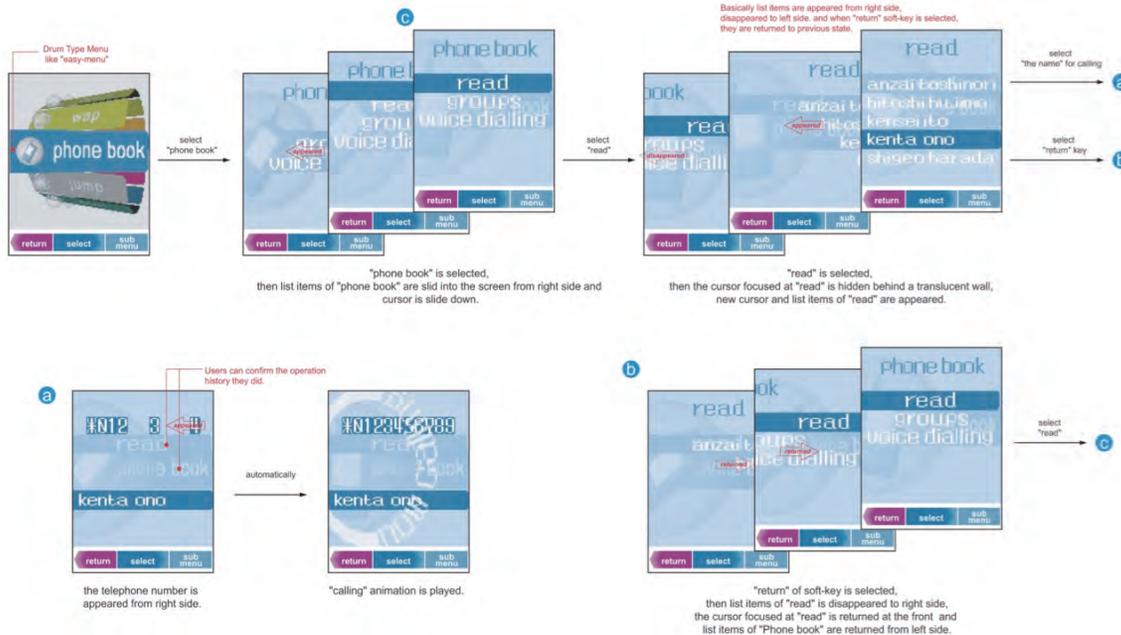


千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

GSM向け携帯電話（M750）のインターフェースデザイン提案
Interface design for GSM mobile phone (M750)



Cebit 2002 向けデモンストレーション画面提案
 Proposal for demonstration screen of Cebit 2002

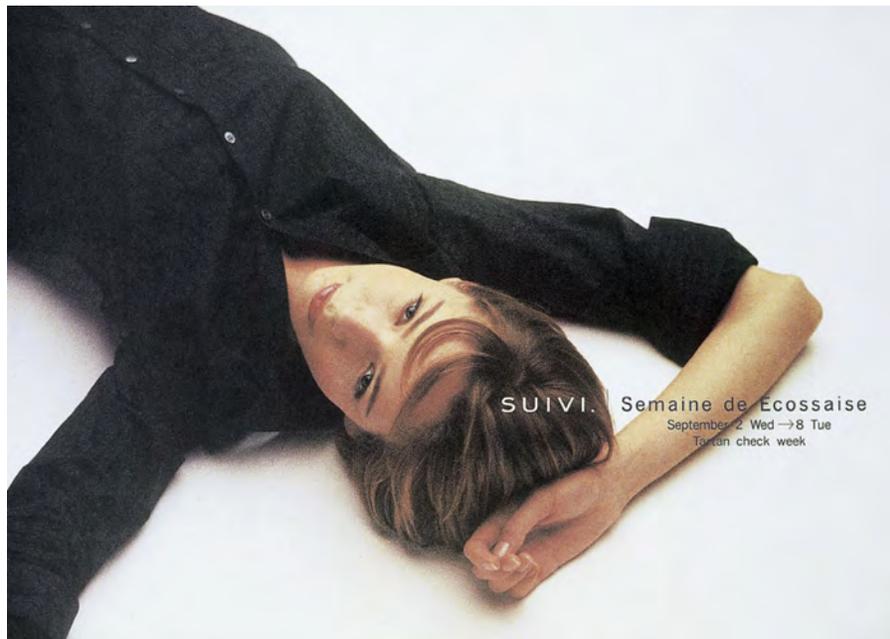




千葉 哲彦

CHIBA Tetsuhiko
 学習院高等科
 大学44回生 (H8. 3卒)

メーカー企画室、広告代理店制作部のデザイナー、アートディレクターを経て、フリーランスのクリエイターとして活動。TCDS 千葉哲彦デザイン事務所 [Tetsuhiko Chiba Design Studio] として業務を拡張、2008年よりティーシーディーエス [tcods] に名称を変更し現在に至る。一方近年は歯科医師として医療に従事。医療とデザインの境界領域について研究、専門をヘルスプロモーションデザインとし、2002年中高年男性の自殺制止をテーマとした作品で第69回毎日広告デザイン賞受賞（第2部／発言広告の部 奨励賞）、2004年HIV感染経路に関し警告を發した作品で第13回かながわエイズポスターコンテスト 優秀賞受賞。
 日本デザイン学会正会員
 日本顎関節学会認定 顎関節症専門医
 日本歯科人間ドック学会認定医
 日本口腔外科学会会員



株式会社オンワード樫山 SUIVI. フェア販売促進ツール一式：

Bleu et Bleu <Blue Fair, Suivi.> [ポスター・DM 4C' / 4C' A2、封筒] 1997

Semaine de Ecossaie <Tartan check week> [ポスター・DM 4C' / 4C' A2 <上写真：

表面>、封筒、各種コミュニケーションカード] 1997

Poster / Direct Mail and etc. of Onward Kashiya Co., Ltd. SUIVI. 1997

* アートディレクション、デザイン 担当



ロンシャン広告（雑誌、新聞、交通など全てのメディア）：

PERROQUE 4C' 全5段 産経新聞 産経新聞 1998年10月掲載 <a>、横浜元町ロケ 4C' 2P 光文社 VERY 1999年4月号掲載
 ：掲載写真より>、ECAILLE DE CUIR 4C' 1P 第7回フランス映画祭横浜' 99カタログ表3掲載、恵比寿ガーデンプレイス
 ロケ 4C' 2P 光文社 VERY 1999年10月号掲載 <c>：掲載写真より>、OURS 4C' 1P 角川書店 marie claire 1999年10月号掲
 載 <d>、SCARABÉE 4C' 1P ワールドフォトプレス VISIO 2000年10月号表4掲載 <e>、VISAGE アシェット婦人画報社
 ELLE 2001年4月号別冊付録表4掲載 <f>、池袋東武百貨店ロンシャンオープン告知ポスター 4C' B1 池袋駅構内掲出 など、
 日本における全広告を制作 1998-2001

Advertisement of Longchamp for Newspaper, Magazine and etc. in Japan 1998-2001

* アートディレクション、デザイン 担当



医療機関におけるデザイン（ダイアグラム、エディトリアル、ポスター、アイデンティティ等）：
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯学系／歯学部「国際交流Ⅱ」4C' A4 116ページ <a: 表1、b: 表2・P1>、同機関
 コミュニケーションマーク 2003、国立大学歯学部長会議リーフレット 4C' A4 6ページ（alpha books刊『図説デザイン集』
 収録）<c: 内側 P2～4>、同機関シンボルマーク 2004、東京都立大塚病院20周年記念デザイン [絵画制作から同絵画を使用
 した記念誌カバー 4C' A4 <d: 表1>、記念図書カードのデザイン] 2007、東京都立大塚病院クリニカルパス講習会ポスター
 <e: キャラクター> 2007、国立大学法人東京医科歯科大学ユニバーシティアイデンティティ（alpha books刊『日本のロ
 ゴ&マーク集 Vol. 2』収録）<f: ロゴタイプ・ロゴマーク（使用例）、g: アプリケーション・グッズ（一部）> 2009-
 Design for Medical Facilities 2003-

* クリエイティブディレクション、アートディレクション、デザイン、イラストレーション、コピー 担当

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集



外交専門誌『外交』（発行：外務省、発売：時事通信社）の装幀：

“日本外交史絵巻”企画、カバーデザイン（表1-背-表4および表3） 4C’ 仕上がりサイズA5 <図左上：Vol. 13表1-背-表4および表3をつなげて表示、図左下から右へ：Vol. 14以降の表1と表3を上下に配置>、同誌ロゴマーク・シンボルマーク制作 <図右下：シンボルマーク（Vol. 16表4より）>、ポスター（雑誌各号表1拡大） 4C’ A2 2012-

Book Design of “Diplomacy” 2012-

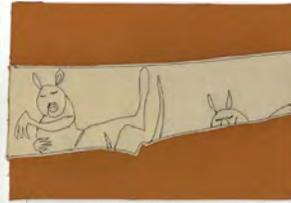
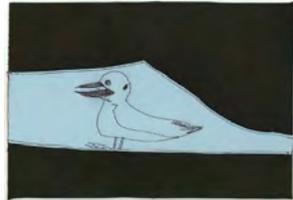
* クリエイティブディレクション、アートディレクション、デザイン、コピー（Vol. 13、14）、イラストレーション（Vol. 16）、CG加工（Vol. 17）担当

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

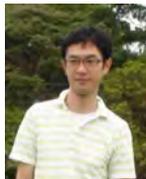


石橋 加苗 (旧姓: 伊東)
ISHIBASHI Kanae
栃木県立矢板東高等学校
大学45回生 (97.3卒)

ミシンにより絵を描き、自然や生命をテーマに作品づくりを展開。家具会社、張り工房にてデザイン制作に携わった経験より、捨てられて行く革などに新たな価値を見いだすモノづくりを目指している。02年よりsollaの活動をスタート。雑誌などのイラストも手がける。
<http://www.solla.jp/>



個展「the exhibition of sewing drawing /ブックカバー」京都 恵文社 2004
「the exhibition of sewing drawing / Book cover 」KEIBUNSHA Kyoto 2004



福田 圭作
 FUKUDA Keisaku
 栃木県立宇都宮東高校
 静岡大学工学部 (1999.3卒)
 大学院自然科学研究科デザイン専攻
 (2002.3修了)

2002.4三菱電機入社。デザイン研究所
 インタフェースデザイン部にて、FA機
 器等のGUIデザインを担当。

趣味：釣り、山登り

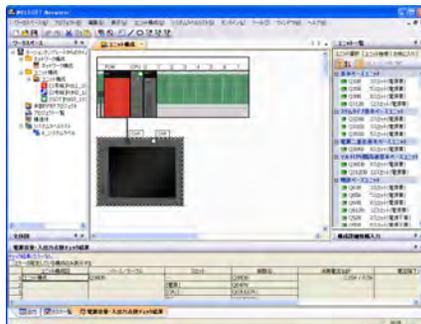
FA機器のGUIデザイン FA: Factory Automation

数値制御装置



2004年 数値制御装置
 「MITSUBISHI CNC 700シリーズ」
 機械オペレーター作業分析研究に基づいた
 数値制御装置(CNC)。見やすく疲れにくい「
 新ヒューマンマシンインタフェース」や、
 画面遷移することなく目的の設定操作が
 できる「ポップアップ画面」、機械の動作が
 直感的に理解できる「3Dソリッド表示」など
 豊富な機能の搭載により、段取り時間を
 大幅に短縮できます。

FA統合エンジニアリングソフトウェア



2009年
 FA統合エンジニアリングソフトウェア
 「MELSFOT iQ Works」
 シーケンサ、モーションコントローラのエン
 ジニアリングソフトウェアと表示器の画面
 作成ソフトウェアをすべてパッケージ化し、
 各ソフトウェアを連携させながらシステム
 開発を一括管理できる「MELSOFT
 Navigator」を中心に据えたエンジニアリン
 グ環境。制御システムのネットワーク構成
 と使用機器(ユニット)の構成をグラフィック
 で表現し、ネットワークや入出力割付など
 のパラメーターを一括して設定できます。



蘆澤雄亮

ASHIZAWA Yusuke
 豊田西高等学校
 大学50回生 (02. 3卒)

- 04. 3 千葉大学大学院自然科学研究科
人間環境デザイン科学専攻
博士前期課程 修了
- 06. 4 船橋情報ビジネス専門学校
非常勤講師
- 08. 3 千葉大学大学院自然科学研究科
人間環境デザイン科学専攻
博士後期課程 修了
- 08. 2 日本産業デザイン振興会 職員
- 09. 4 千葉大学大学院自然科学研究科
非常勤講師
- 10. 12 多摩美術大学
非常勤講師
- 11. 4 千葉大学大学院工学研究科
特任助教
- 12. 4 千葉大学大学院工学研究科
助教

趣味：釣りと妄想

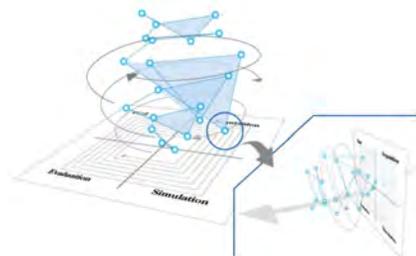
モットー：なんとかなる

■主な学術論文・著書

1. Designing The Good Life = Design of Volition : Yusuke Ashizawa, CATALYST、9号、65-71 (2011)
2. FASEモデルにおけるシミュレーション思考の特性評価：蘆澤雄亮、森行浩人、小野健太、渡辺誠, デザイン学研究、56巻3号、71-80 (2009年)
3. デザインプロセス理論によるFASEモデルの構築：蘆澤雄亮、森行浩人、小野健太、渡辺誠、デザイン学研究、56巻3号、61-70 (2009年)
4. デザインの進化と突然変異：蘆澤雄亮、小野健太、Back Up、28号、44-45 (2009年)
5. デザインの国際的な人材育成拠点：蘆澤雄亮、産学官連携ジャーナル、11号、17-20 (2008年)

■博士（工学）論文

デザイン思考過程におけるループ構造の体系化に関する研究、千葉大学 2008



デザイン思考におけるFASEモデル (上)
 FASEモデルにおける思考イメージ (下)
 FASE model on a design thinking (above)
 A image of FASE model (below)
 2008



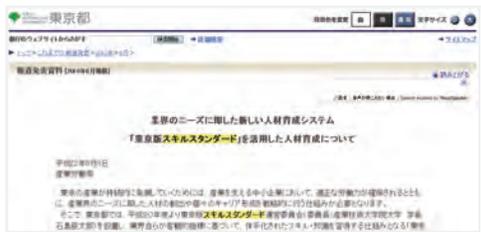
Designing The Good Life = Design of Volition : Yusuke Ashizawa, CATALYST、9号、65—71 (2011)



デザインの進化と突然変異：蘆澤雄亮、小野健太、Back Up、28号、44—45 (2009年)



産学連携による実践型人材育成事業
 専門人材の基盤的教育推進プログラム
 Design Skill Standard Trial Program
 2010



業界ニーズに即した新しい人材育成システム
 東京版スキルスタンダード
 2010

セミナーイベントシリーズ
 Tokyo Niche
 2009～2011



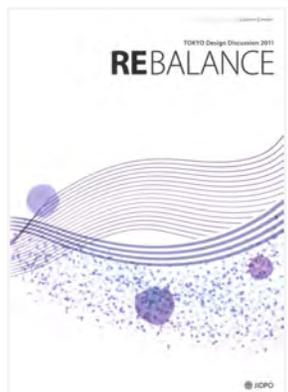
クリエイティブ能力開発研究会
 2008～2010

10 minutes プレゼンイベントシリーズ
 DEMOsa
 2010





International Design Symposium 2010
Post Solution
2010.1.28 - 29



Tokyo Design Discussion 2011
RE-BALANCE
2011.1.28





今泉 博子 (旧姓：湯山)

IMAIZUMI Hiroko

千葉県立千葉高等学校

大学55回生 (07.3卒)

大学院工学研究科デザイン科学専攻 (12.3修了)

12.4 株式会社乃村工藝社へ出向

13.4 千葉大学助教 (工学部デザイン学科)

日本デザイン学会会員

専門分野：高齢者支援／園芸活動に関するデザイン、空間グラフィック、サイン計画。

■ 主な研究論文

1. 園芸活動プログラム開発に向けた高次脳機能障害を持つ者の健康に関するQuality of Lifeの特徴の検討、竹重香織・野田勝二・大釜敏正・片倉直子・寺内文雄・湯山博子・小宮山政敏・太田令子・小滝みや子・佐藤恵子・岩井美葉子、日本リハビリテーションネットワーク研究、Vol.10(1):9-17 (2012)
2. 高齢者がグループで行う園芸活動を支援する園芸用設備のデザイン要件：湯山博子、道見遥奈、原寛道、佐藤公信、清水忠男、デザイン学研究、Vol158、No.6、95-100 (2012)



■ デザイン

1. コミュニティプランター：清水忠男、金澤匠平、湯山博子、佐藤公信、道見遥奈、岩満恭大、デザイン学研究作品集、18(18)、54-59 (2013.3)
Community Planter 2013



2. 福島県富岡小学校 植物工場グラフィック：湯山博子、瀧山 愛、多田啓太郎、原寛通、福島県富岡小学校、(2012.3)
Package design of plant factory for Tomioka Elementary School in Fukuoka 2012

3. 農林水産省 植物工場 千葉大学拠点 サイン計画: 湯山博子, 多田啓太郎, 浅田なつみ, 原寛通, NPO 植物工場研究会, (2011. 4)
Signs for the plant factory base in Chiba University 2011



4. 林水産省 植物工場普及・拡大総合対策事業 p-square studio kashiwanoha ロゴ: 湯山博子, 原寛通, NPO 植物工場研究会, (2011. 4)
Logotype of p-square studio kashiwanoha 2011

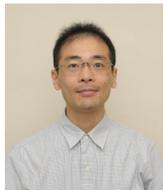


5. たてやま八犬伝まんじゅう パッケージ: 清水忠男, 湯山博子, 館山市地域ブランド推進協議会, (2011. 1)
Package of "Tateyama Hakkenden Manju"
2011

6. 館山市 散策サイン: 清水忠男, 湯山博子, 有賀弘樹, 吉羽拓也, 佐々木和, 早野太朗, 長谷川毅, イムアビン, 天野千尋, 野村麻矢, イジヨン, 館山市, (2011. 3)
Signs for tourists strolling around Tateyama
2011



教員の部

**石橋圭太**

ISHIBASHI Keita

茨城県立緑岡高等学校

2010年5月着任

00.03 九州芸術工科大学大学院芸術工
学研究科博士後期課程 修了00.05 九州芸術工科大学芸術工学部工
業設計学科 助手03.10 九州大学大学院 芸術工学研究院
人間生活システム部門 助手07.04 九州大学大学院 芸術工学研究院
人間生活システム部門 助教

趣味：写真、読書。

モットー：小欲知足

■ 主な学術論文

1. Comparison of cardiovascular response to sinusoidal and constant lower body negative pressure with reference to very mild whole-body heating. K. Ishibashi, T. Maeda, S. Higuchi, K. Iwanaga, A. Yasukouchi, Journal of Physiological Anthropology, 31, 30, 2012
2. Construction of an electronic controlled lower body negative pressure chamber using commercial off-the-shelf materials. K. Ishibashi, T. Maeda, S. Higuchi, K. Iwanaga, A. Yasukouchi, Proceeding of 4th ICHES, 619-622, 2011
3. Thermoregulatory effect of suppressed endogenous melatonin by pre-sleep bright light exposure in a cold environment in humans: Keita Ishibashi, Satoshi Arikura, Tomoaki Kozaki, Shigekazu Higuchi and Akira Yasukouchi. Chronobiology International, 27(4), 782-806, 2010
4. Inter-individual difference in pupil size correlates to suppression of melatonin by exposure to light: Higuchi Shigekazu, Ishibashi Keita, Aritake Sayaka, Enomoto Minoru, Hida Akiko, Tamura Miyuki, Kozaki Tomoaki, Motohashi Yutaka and Mishima Kazuo. Neuroscience Letters, 440(1), 23-26, 2008



民生品を用いた電子制御型下半身陰圧装置の製作

■ 主な学術論文

5. 12週間の有酸素運動が運動習慣のない若年者の暑熱環境下の起立性循環調節反応に及ぼす影響、青木幹太、石橋圭太、前田享史、樋口重和、安河内朗、日本生理人類学会誌、第13巻 第1号、27-38、2008
6. Influence of eye colors of Caucasians and Asians on suppression of melatonin secretion by light: Higuchi Shigekazu, Motohashi Yutaka, Ishibashi Keita and Maeda Takafumi. American Journal of Physiology-Regulatory Integrative and Comparative Physiology, 292 (6), R2352-R2356, 2007
7. Inhibition of heart rate variability during sleep in humans by 6700K pre-sleep light exposure: Keita Ishibashi, Shingo Kitamura, Tomoaki Kozaki and Akira Yasukouchi, Journal of Physiological Anthropology, 26 (1), 39-43, 2007
8. Error and individual difference in cardiovascular responses to orthostatic stress: Keita Ishibashi, Takafumi Maeda, Shigekazu Higuchi and Akira Yasukouchi. Journal of Physiological Anthropology, 24 (4), 339-343, 2005
9. Effects of mental task on heart rate variability during graded head-up tilt: Keita Ishibashi, Shin-ichi Ueda and Akira Yasukouchi. Applied Human Science, 18 (6), 225-231, 1999
10. Analysis of heart rate variability during mental task with reference to ambient temperature: Keita Ishibashi and Akira Yasukouchi. Applied Human Science, 18(6), 219-223, 1999

■ 著書

1. カラダの百科事典、分担執筆、日本生理人類学会(編)、丸善、2009.9
2. 人間を科学する事典、分担執筆、佐藤方彦(編著)、東京堂出版、2005.8
3. 建築資料集成—人間、分担執筆、日本建築学会(編)、丸善(株)、2003.1
4. 生理人類学入門、分担執筆、生理人類学認定委員会(編)、(株)国際文献印刷社、2003年9月(第1版)、2004.9(第2版)、2005.9(第3版)、2006.9(改定版)
5. 快適さのおはなし、分担執筆、宮崎良文(編著)、財団法人日本企画協会、2002.8

■ 博士(芸術工学)論文

生活環境評価指標としての心拍変動性の評価方法に関する研究 —外因性及び内因性刺激の自律神経応答に及ぼす相互作用の検討— 九州芸術工科大学 2000年



岩永光一
 IWANAGA Koichi
 博士（理学）
 西南学院高等学校
 九州芸術工科大学大学院修士課程
 修了（83.3）

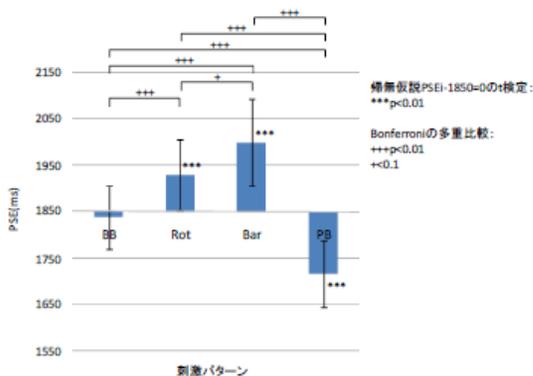
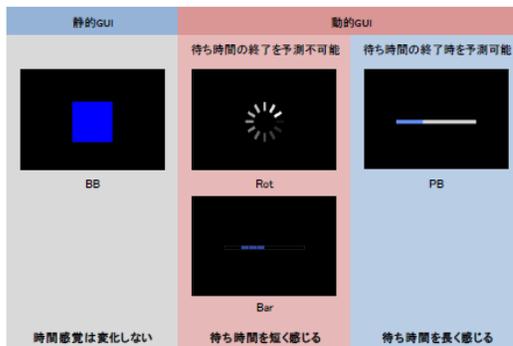
■職歴

- 83.5 九州芸術工科大学芸術工学部助手
- 85.4 大塚製薬(株) 佐賀研究所研究員
- 95.5 千葉大学工学部工業意匠学科助手
- 97.7 千葉大学共同研究推進センター助教授
- 98.4 千葉大学大学院自然科学研究科助教授
- 07.5 千葉大学大学院工学研究科教授
 （現在に至る）

■主な研究領域

生理人類学, 人間工学
 ヒューマンインタフェース

GUIデザインとユーザの時間感覚に関する研究



中西美和・小山冬樹・岩永光一、待ち時間を知らせるGUIがユーザの時間感覚に与える影響—主観的等価点（PSE）を用いた評価、デザイン学研究 58巻1号、17-24、2011

■主な学術論文

1. Circulatory and central nervous system responses to different types of mental stress. Liu X., Iwanaga K., Koda, S., *Industrial Health* 49, 265-273, 2011
2. Prediction model of light-induced melatonin suppression. Takahashi, Y., Katsuura, T., Shimomura, Y., Iwanaga K. *J. Light Visual Environ.* 35, 123-135, 2011
3. The reproducibility of cardiovascular response to a mental task. Liu X., Iwanaga K., Shimomura Y., Katsuura T., J. *Physiol. Anthropol.* 29, 35-41, 2010
4. Effects of strap support in a hand-held device on the muscular activity in female workers assessed by electromyography and subjective rating. Mamaghani N. K., Shimomura Y., Iwanaga K., Katsuura T. *Ergonomics* 52, 848-859, 2009
5. Relationship between muscular strength and deflection characteristics of the center of foot pressure during landing after crossover stepping in the elderly. Takeuchi Y., Shimomura Y., Iwanaga K., Katsuura T., J. *Physiol. Anthropol.* 28, 1-5, 2009

8 Human Adaptability to Emotional and Intellectual Mental Stresses

Koichi Iwanaga
Department of Design Science, Graduate School of Engineering, Chiba University, Chiba, Japan

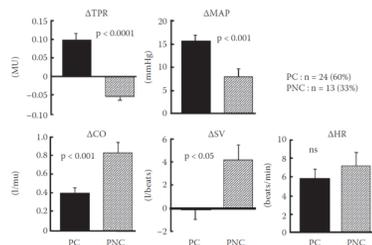


FIGURE 8.5 Comparison of cardiovascular responses between peripheral contributor [PC: total peripheral resistance (TPR) showed increase] and nonperipheral contributor [NPC; TPR showed decrease]. MAP, CO, SV, and HR mean arterial pressure, cardiac output, stroke volume, and heart rate, respectively.

Iwanaga K. Human Adaptability to Emotional and Intellectual Mental Stresses. In *Human Variation: From the Laboratory to the Field* edited by Mascie-Taylor CGN, Yasukouchi A, Ulijaszek S. CRC Press, Taylor & Francis Group, Boca Raton, FL, 2010

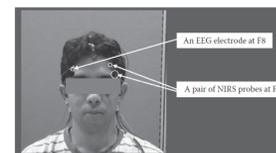


FIGURE 8.6 A subject attached to EEG electrodes and near-infrared spectroscopy (NIRS) probes.

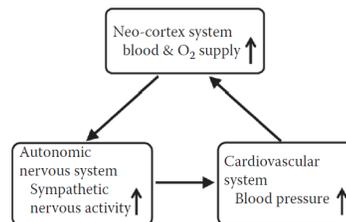


FIGURE 8.9 Schematic presentation of hypothesis of whole-body coordination to intellectual mental stress.

■主な学術論文

6. Different types of circulatory responses to mental tasks. J. Physiol. Liu X., Iwanaga K., Shimomura Y, Katsuura T. , Anthropol. 26, 355-364, 2007
7. Comparison of stress responses between mental tasks and white noise exposure. Liu X., Iwanaga K., Shimomura Y, Katsuura T. , J. Physiol. Anthropol. 26, 165-171, 2007
8. The biological aspects of physiological anthropology with reference to its five keywords. Iwanaga K. , J. Physiol. Anthropol. Appl. Human Sci. 24, 231-235, 2005
9. Approach to human adaptability to stresses of city life. J. Physiol. Anthropol. Iwanaga K., Liu X., Shimomura Y., Katsuura T. , Appl. Human Sci. 24, 357-361, 2005
10. The effect of mental loads on muscle tension, blood pressure and blink rate. Iwanaga K., Saito S., Shimomura Y., Harada H, Katsuura T.J. , Physiol. Anthropol. Appl. Human Sci. 19, 135-141, 2000

■主な著書

1. Iwanaga K. Human Adaptability to Emotional and Intellectual Mental Stresses. In Human Variation: From the Laboratory to the Field edited by Mascie-Taylor CGN, Yasukouchi A, Ulijaszek S. CRC Press, Taylor & Francis Group, Boca Raton, FL, 2010
2. カラダの百科事典、日本生理人類学会編、丸善、2009共著
3. 人間を科学する事典—心と身体のエンスaikロペディア、佐藤方彦編、東京堂出版、2005共著
4. 日本人の事典、佐藤方彦編、朝倉書店、2003共著
5. 生理人類学から見た環境の科学：住居・オフィス・都市・自然空間を再考する、日本生理人類学会居住環境評価研究部会編著、彰国社、2000共著
6. ライブラリー生活の科学7生活と技術、中島利誠編著、コロナ社、1999共著
7. 最新生理人類学、佐藤方彦編、朝倉書店、1997共著



植田憲

UEDA Akira

北海道札幌南高等学校

91.3 早稲田大学理工学部機械工学科卒業

98.3 千葉大学大学院自然科学研究科
修士(学術)02.3 千葉大学大学院自然科学研究科
博士(学術)

02 千葉大学助手工学部

03 千葉大学講師工学部

07 千葉大学助教授工学部

07 千葉大学准教授工学研究科

11 千葉大学教授工学研究科

所属学会

日本デザイン学会、日本感性工学会

■主な学術論文

1. THE CULTURE OF “MOTTAINAI” SEEN AS SYMBIOSIS BETWEEN JAPAN'S CERAMIC-PRODUCING REGIONS AND THE NATURAL ENVIRONMENT -Part II: The Seto Region of Aichi Prefecture, THE SCIENCE OF DESIGN, JSSD, Vol.57, No.2, 2010
2. TRANSITION IN PEOPLE'S WORLD VIEWS CAUSED BY MECHANIZATION - A Comparative Analysis of Two Methods of Rice Cake Making, THE SCIENCE OF DESIGN, JSSD, Vol.53, No.3, 2006
3. Endogeneous Tourism Development Applicable to Islamic Countries -A Success Story in Japan: Living Handicraft Movement of Mishima Town in Japan, Akira Ueda, Tourism and Handicrafts in the Muslim World -International Conference on Tourism and Handicrafts, IRCICA (Research Centre for Islamic History, Art and Culture, 2006
4. 内発的地域発展論を基底とした地域連携に関する研究, 博士論文, 千葉大学, 2002
5. 地域資源活用に基づく「ベトナム伝統工芸村」設立計画, デザイン学研究, JSSD 148 77-86, 2001

■主な著書

1. 生活づくりに寄与するデザイン --伝統工芸がつくり、伝え、残すこと、デザイン学研究特集号 Vol.20-2 No.78, 48-53, 2013
2. 工芸之心 --日本生活工芸の傳承與開創展示パネル、工芸之心 --日本生活工芸の傳承與開創、2005
3. 台湾芸陣博物館展示基本計画、2000
4. 中日編織工芸交流展「日本編織文化」ディスプレイ計画・事例紹介パネル、1998
5. 台湾全国社區總體營造博覽会日本館ディスプレイ計画・地域づくり事例紹介パネル展示、1997

■主な研究

(1) 内発的發展論を基底とした地域振興計画

地域社会が潜在的に有している各種地域資源（自然的・景観的・人的・文化的・生産的）の再発見・再認識に基づき、当該の地域社会が内発的發展を志向するための方策を探索している。文献調査のみならず、地域の住民との協働に基づき、フィールドサーベイ、アンケート調査、インタビュー調査の実施・解析を通して、各種地域資源の具体的活用方策を検討し提案を行っている。

これは、過疎・高齢化をはじめ、地場産業の衰退、環境悪化など、多様な問題を抱える多くの地域社会の現状に対応したものであり、とくに、近年では、「観光」を「観二国之光一＝国・地域の光（地域資源）をみ（観）る・み（観）せる」と捉え、地域住民が主体となり、既存の地域資源を利活用しつつ、「住んでよし・訪れてよし」の地域を実現する内発的観光創生の実現を試みている。

(2) 維持可能社会の創生を目指した伝統的工芸品の保全・育成

伝統的生活工芸品の保全・育成のありかたを、維持可能な社会の創生の観点から考察・提案している。伝統的生活工芸は、元来、地域の人びとの自然との共生、人びととの共生の生活のなかから生み出されてきた「環境にやさしい」「人にやさしい」ものづくり文化である。地域の気候風土・人びとの暮らしが如実に表象された伝統的生活工芸品文化を地域の「宝」として振興することが急務である。



■主な作品

(1) 研究交流 ～展示会の計画・設計・実施

日本の伝統的工芸品とそのルーツともいえる「民藝運動」の歴史と精神を伝えるパネルの制作ならびに展示(計画・実施)を行った。「生活工芸(=民衆たちが生活のなかで作り使ってきた生活用具)」という言葉が台湾社会において浸透・定着するのに寄与した(於:台湾・台北市、2006年12月～)。



「工藝之心 -日本生活工藝的傳承與開創展示」計画、ならびに、パネル：A1版×170枚、日本の生活工芸×200点



上田 エジウソン

Ueda Edilson

96.03 千葉大学大学院・自然科学研究科
デザイン科学専攻 修了

01.03 千葉大学大学院・自然科学研究科
人間・地球環境科学専攻環境 修了

03.03 千葉大学大学院・自然科学研究科
(日本学術振興会) 人間・地球環境科学
専攻環境 修了

06.03 千葉大学大学院工学研究科デザイン学科
(准教授)

受賞

●大賞 (内閣総理大臣賞) 2008

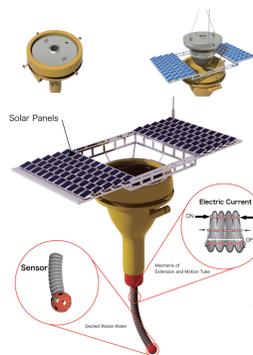
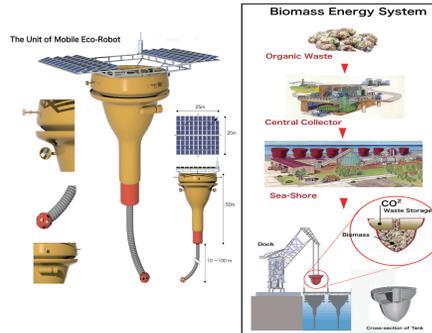
「MOBILE ECO-ROBOT: 海の汚染領域を見つけ、
海水を清浄し、有毒廃棄物を保管します」: 国際
デザインコンペ大阪 (国際デザイン財団JDF、
2008.02

●教育プロジェクト 2008ベスト10点

持続可能な社会のためのエコデザインに関する教
育・千葉大学教育プロジェクト・特色ある教育方法

●大賞 (グランプリ) 2008.10

Mobile Greenhouse Farm System」: 上田 エジウソン
、第1回「グリーン・デザインング in 山形
'92」1992.02



MOBILE ECO-ROBOT 2008

■ 主な学術論文

1. The Role of Passive and Active Product Designers Involved in the Environmental Policy of the Japanese Companies, Toward 日本デザイン学会, Bulletin of Japanese Society for The Science of Design, Vol. 47. No. 4 Issue no.140 pp 57-66 ,2000
2. Exploring the Possibilities of Sustainable Services in Convenience Stores , エコデザイン学会, Journal of the Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing, 2003.12
3. 森林と砂漠におけるエネルギー生産のための持続可能なシステムの探索 (ベスト・ペーパー賞 Top 30 Best Paper) 国際サステナビリティ・イノベーション研究学会、イリノイ大学、アメリカ、2006.10
4. 地球温暖化軽減のための持続可能なロボット技術の探索 (ベスト・ペーパー賞Top 30 Best Paper) 国際サステナビリティ・イノベーション研究学会、マルメ大学、スウェーデン 2008 Sustainable Innovation, Malmo University – Sweden, 2008.10

■ 受賞

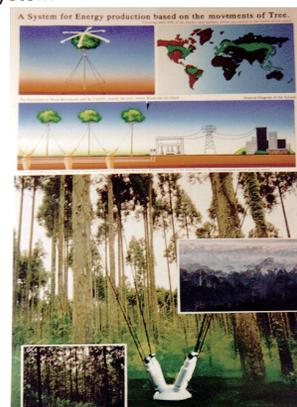
1. 地球温暖化軽減のための持続可能なロボット技術の探索
国際サステナビリティ・イノベーション研究学会、マ
ルメ大学、スウェーデン 2008年（世界354件33カ国応募の
中でベスト30点に選ばれる） Sustainable Innovation 2008
Malmö University – Sweden, Selected on the Top30 Best
Paper
2. 奨励賞授賞 2005「HELPER」2004国際デザインコンペ大
阪（国際デザイン財団JDF）、2005
3. ブロンズ賞授賞 2003「EMC- Eco Mileage Card」,2003国
際デザインコンペ大阪（国際デザイン財団JDF）、2003
4. 奨励賞授賞「Windtree - A System for Energy Production」、
第6回「国際デザイン・コンペティション大阪」、1993
5. 奨励賞授賞「Windballon- a System for Energy Production
in Desert」、第3回グリーン デザインング in
山形 '93
6. 金賞授賞「Arch Glasses」: 第3回「国際福井メガネ・デ
ザイン・コンペティション'96」、1996
7. 家庭製品部門賞授賞「Inflatable Bags Series」第1回「海
難KAINAN デザイン・コンペ '96」、1997
8. ブロンズ賞授賞「Talking Glasses」:上田エジウソン、第2
回「国際福井メガネ・デザイン・コンペティション'96」、
1993
9. 奨励賞 授賞「Universal Clock」第6回「海難KAINAN
デザイン・コンペ '03」、1993



Mobile Greenhouse Farm System



Windballon



Windtree



Eco Mileage Card

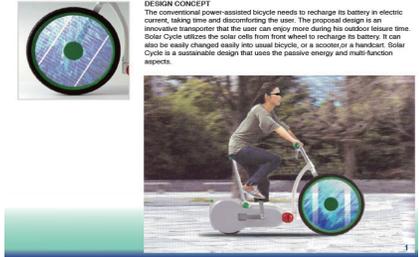


Eco Mileage Card Display



Two in One Cup

SOLAR CYCLE - a solar power-assisted transporter



Solar Cycle

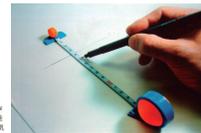
Edison・Shindi・Ueda
Spiral Meter-Rule



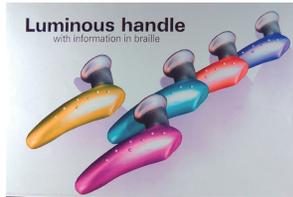
Spiral Meter-Rule



Air Bags Series



Arch Glasses



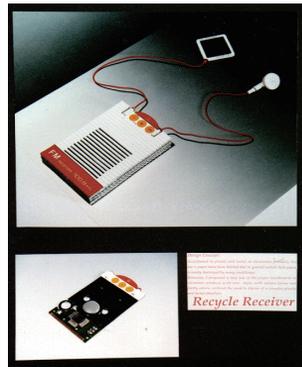
Luminous Handle



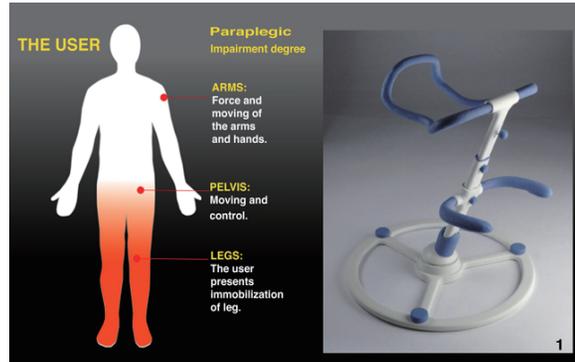
Universal Clock



Notelock



Recycle Receiver



Helper



Talking Glasses



The Blind Guiding System



小原康裕

OHARA Yasuhiro

滋賀県立膳所高等学校

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究

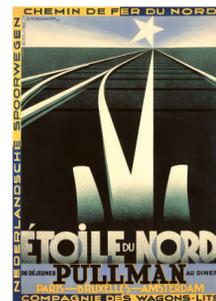
博士前期課程造形工学専攻(96.3修了)

博士(学術) (00.3京都工芸繊維大学)

- 99.4 京都大学総合情報メディアセンター文部技官
- 00.4 千葉大学工学部デザイン学科助手
- 07.4 東京芸術大学非常勤講師
- 10.10 FRSA(英国王立美術家芸術家教会フェロー
JAGDA日本グラフィックデザイナー協会正会員)
- 11.3 ミラノ工科大学客員研究員
- 11.5 東京大学機械工学科非常勤講師
11.11 IADE Lisboa大学客員研究員

■主な学術論文

1. 『造形心理学から見たカッサンドル「北極星号」について』、『巨匠の知られざる全貌 1901-1968 カッサンドル展図録』、18-21、1995
2. 「カッサンドルの造形哲学 —黄金分割を中心に—」、前掲書、190-193、1995
3. A. M. カッサンドルの幾何学的画面構成技法—1930年代までのポスター作品を中心に—、デザイン学研究、第46巻6号、47-56、2000
4. グラフィック・デザインにおける三つの「超克」ポスターを中心に、京都工芸繊維大学平成12年度博士論文梗概、2000
5. 小原康裕、渡邊誠、清水忠男、堀田明博、青木弘行：専門連携を意識した新しいデザイン教育「デザイン工学総合プロジェクト」の試み—ユニバーサルデザイン“Design for YOU” を事例として、工学・工業教育研究講演会論文集 113-114、2002
6. 柴田大平、玉垣庸一、小原康裕、：Touch—身体に同期したビデオゲーム、デザイン学研究11巻11号、72-75、2005
7. 寺田直和、玉垣庸一、小原康裕、：neut—選曲の可視化による調整可能なラウンド再生システム、デザイン学研究11巻11号、76-79、2005



カッサンドル展図録(1995)



旅行雑誌(2001)



UDメトロ地図入選作品



キャラクターデザイン・サイン計画

千葉国体2010キャラクター：ちーば君選考委員



立体化検討模型



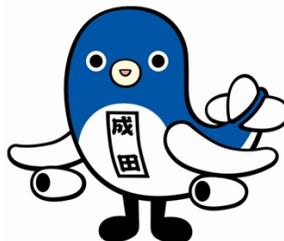
坂崎千春氏によるロゴマーク原案



監修した実施ロゴ



ドン・キホーテ観覧車装飾コンペ
優勝作品：えべっさん



成田市マスコットキャラクター
：うなり君選考委員長



株アマダのためのサイン計画

ミシュランチャレンジ2012入賞作品：学生との共同制作 (2012)



ロレアルブランドストーム2008国内優勝作品



ボジョレヌーボー
・エチケット
(指名制作2011)



勝浦 哲夫

KATSUURA Tetsuo

静岡県立浜松北高等学校
九州芸術工科大学 (72.3卒)
理学博士(86.3京都大学)

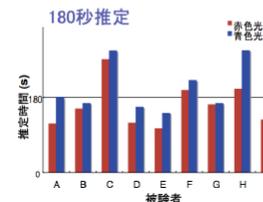
74.4 九州芸術工科大学芸術工学部助手
80.3 千葉大学工学部講師
86.6 千葉大学工学部助教授
96.4 千葉大学工学部教授
07.4 千葉大学大学院工学研究科教授

受賞:

97.6 日本生理人類学会論文賞
06.6 日本生理人類学会学会賞

■ 主な学術論文

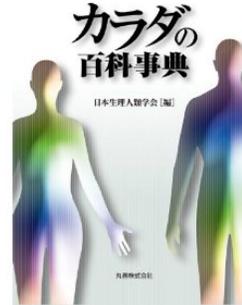
1. Effects of blue pulsed light on human physiological functions and subjective evaluation. *Journal of physiological anthropology* 2012, 31:23.
2. The effect of season and light intensity on the core interthreshold zone. *Journal of physiological anthropology* 2011, 30:161-167.
3. Verification of endocrinological functions at a short distance between parametric speakers and the human body. *Neuro endocrinology letters* 2011, 32:676-682.
4. Effects of parametric speaker sound on physiological functions during mental task. *Journal of physiological anthropology* 2011, 30:9-14.
5. Effects of Parametric Speaker Sound on Physiological Functions during Mental Task. *Journal of physiological anthropology* 2010, 30:9-14.
6. Individual Variability in the Core Intersubthreshold Zone as Related to Body Physique, Somatotype, and Physical Constitution. *Journal of physiological anthropology* 2009, 28:275-281.



光環境が時間感覚に及ぼす影響についての実験風景（上）と光条件における180秒推定時間（下）
Effects of Monochromatic Light on Time Sense for Short Intervals. *Journal of physiological anthropology* 2007, 26:95-100.

■ 著書

1. 人間工学基準数値数式便覧、佐藤方彦 監修・勝浦哲夫 他編、技報堂出版、1992
2. デザインのはなし I & II、佐藤方彦 編、技報堂出版、1993
3. 環境人間工学、勝浦哲夫・佐藤方彦 著、朝倉書店、1993
4. 身体の機能と構造計測マニュアル、勝浦哲夫・垣鍔直・山崎昌廣、文光堂、1994
5. 人間科学計測ハンドブック、日本生理人類学会計測研究部会 編、技報堂出版、1996
6. 最新生理人類学、佐藤方彦 編、朝倉書店、1997
7. デザイン事典、日本デザイン学会 編、朝倉書店、2003
8. 日本人の事典、佐藤方彦 編、朝倉書店、2003
9. 人間工学の百科事典、大島正光 監修・大久保堯夫 編、丸善、2005
10. 人間の許容限界事典、山崎昌廣・関邦博・坂本和義 編、朝倉書店、2005
11. カラダの百科事典、日本生理人類学会 編、丸善出版、2009



「カラダの百科事典」
2009

発行：丸善出版



「人間工学の百科事典」
2005

発行：丸善

■ 学位論文

A Study of Physiological Anthropology on Cardiac Output. (京都大学)



桐谷 佳恵

KIRITANI Yoshie

千葉大学文学部行動科学科 (90.3卒)

94.11 イタリア政府奨学金留学生
(Padova大)

95.4 日本学術振興会特別研究員
97.4 千葉大学工学部助手

99.2 慶應義塾大学大学院社会学
研究科にて学位取得 (博士
(心理学))

01.4 Canon Europe Foundation
Fellow (イタリアUdine大)

03.5 千葉大学工学部デザイン工
学科 助教授

受賞

99 Metzger Award First Prize
受賞 (G. B. Vicarioと共同)

01 日本基礎心理学会優秀発表賞
受賞 (高畑正幸と共同)

趣味: スペイン舞踊、農作業

モットー: ???



動物介在教育用マニュアル提案
2012 (科研基盤研究 (C) 課題
番号23611007)

A Proposal of manual for AAE
2012 (Grant-in-Aid for Scientific
Research (C), No. 2361100)

■主な学術論文

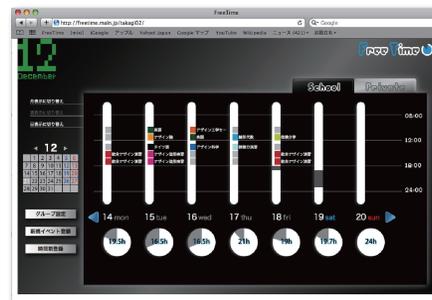
1. A test of acting evaluation to assess a proposal of communication support study、共著、デザイン学研究No.59、31-38、2012
2. Tunnel Effect with Moving Tunnel、Psychology Research、1(4)、255-265、2011
3. Visualization of information in a PC time management tool for university students: As a case of communication design studies、共著、デザイン学研究No.58、89-98、2011
4. Recognition of place names written in Japanese by nonnative readers of Japanese、デザイン学研究No.57、35-40、2010
5. 無意味綴りを用いたレイアウト評価の提案—第一印象としての「読みやすさ」評価に関して、共著、デザイン学研究No.56、19-26、2009
6. Gestalt and design: a case of the design work of new signposts of the Metropolitan Expressway in Tokyo、Gestalt Theory、30(1)、89-97、2008

■ 著書

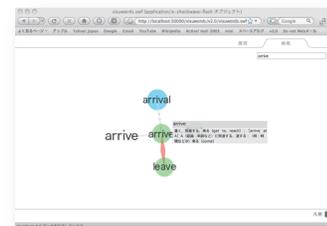
- 1 . 美と感性の心理学—ゲシュタルト知覚の新しい地平—、共著（野口薫編）、日本大学文理学部叢書、2007
- 2 . 臨床行動心理学の基礎、共著（久保田新編著）、丸善、2003
- 3 . Research in Perception、共著（Mario Zanforlin & Luca Tommasi編）、Logos Edizioni、1999

■ 主な講演発表

- 1 . 道具としての色：イメージカラーを探そう！、内閣府認定 公益社団法人 色彩検定協会主催 2012A・F・Tセミナー、2012
- 2 . Effect of visualization of free time and class schedule in a schedule management tool for university students to improve their time management ability、共著、Perception、39(suppl)、pp. 16-17 (33rd European Conference on Visual Perception)、Lausanne、Switzerland、2010
- 3 . A design proposal of kit for education of animal protection in Japanese schools、共著、12th International IAHAIO Conference、Proceedings、p. 66、Stockholm、2010
- 4 . Effect of visualization of relation among words in electronic English-Japanese dictionary、共著、IASDR 2009、Behavior 5-1、Seoul (Korea)、2010



大学生のためのスケジュール管理ツール提案 2011
A proposal of time management tool for university students 2011



語の関連性を可視化する電子辞書画面提案 2010
A proposal of interface of English-Japanese dictionary 2010

■ 博士（学術）論文

アモーダル完結についての実験現象学的検討—因果関係の知覚を通じて—、慶應義塾大学 1999



久保光徳

KUBO Mitsunori

鹿児島県立鶴丸高等学校

東京大学大学院工学系研究科博士課程
(89.3修了)

工学博士 (89.3 東京大学)

89.8 千葉大学工学部工業意匠学科助手

95.2 千葉大学工学部工業意匠学科助教授

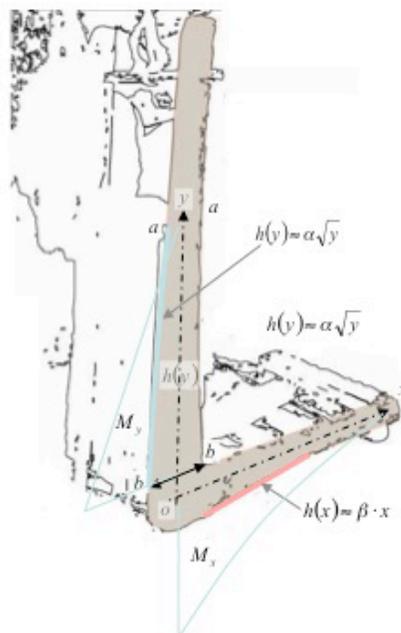
09.4 千葉大学工学部デザイン学科教授

受賞

89.9 日本デザイン学会研究奨励賞

02.10 日本デザイン学会最優秀論文賞

03.9 International Journal of Industrial
Ergonomics, Liberty Mutual
Award : BEST PAPER AWARD
2001



背負子形状の力学性 2011
白川郷 有爪型背負子

■主な学術論文

1. Development of pediatric polycentric knee joint from materials planning view point, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol. 48, No. 2, pp. 33-42, 2001
2. An investigation into a synthetic vibration model for humans, Internal Journal Industrial Ergonomics, Vol. 27, pp. 219-232, 2001
3. Unconscious Structural Properties of Aesthetic Shapes Produced by Hand, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol. 55, No. 2, pp. 39-44, 2008
4. The Effect of Seat and Backrest Cushions on the Vibration at the Chest for Two Physiques, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol. 55, No. 3, pp. 99-102, 2008
5. デジタルヒューマンによる自動車用シートの乗り心地評価、デザイン学研究、Vol. 55, No. 3, pp. 31-36, 2008
6. 背負子の形に対する力学的解釈の試み — 民具の形に見る力学性、デザイン学研究、Vol. 58, No. 3, pp. 75-78, 2011

■ 科学研究費補助金および共同研究

1. 基盤研究(C) (1)平成9-11年度、形状決定見られる構造力学的傾向に関する研究——直観的数理造形モデルの解明の試み、研究代表者、2,800千円
2. 基盤研究(C) (2)平成11-12年度、車椅子搭乗者の乗り心地をシミュレートする人体有限要素モデルの構築
3. 基盤研究(C) (2)平成14-15年度、ベビーカーの乗り心地に関する感性情報評価と最適構造デザイン、研究代表者、3,000千円
4. 基盤研究(B)平成17-19年度、振動環境における“快”の指標としての生理・心理量、研究代表者、13,031千円
5. 基盤研究(C)平成20-22年度、生理・心理情報による情動の数理モデル化の試み、研究代表者、3,000千円
6. 基盤研究(C)平成24-26年度、民具の形に見る力学性の解明とデザインへの展開、研究代表者、5,000千円
7. 共同研究 平成11年、三井化学、車両用シート材料における感性評価技術の開発
8. 共同研究 平成13年、本田技術研究所、人-シート系振動メカニズム解析によるシート乗心地の検討
9. 共同研究 平成17年、ザイエンス企画設計部、効果的な園芸療法を実現するための施設空間の研究

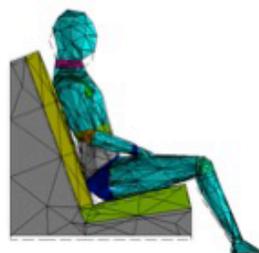


a) Finite Element Model of the grip

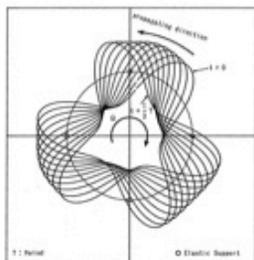


b) Stress Distribution of the grip

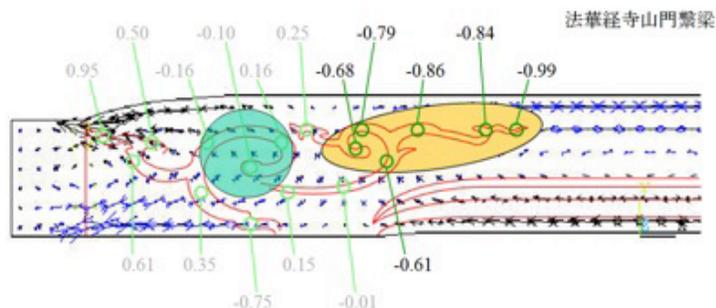
直観的形態の力学性



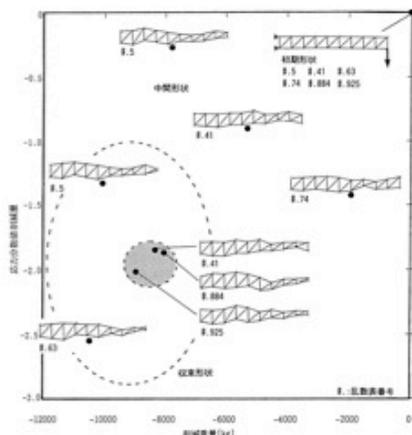
車いすに乗ったヒューマンモデルTAKAHASHI



回転するリングを伝搬する traveling wave の形



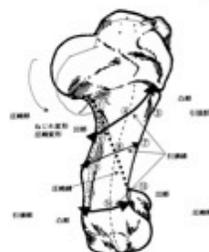
虹梁に施された唐草文様に見る力学性



片持ちVGT(可変形状トラス)の最適形態の生成

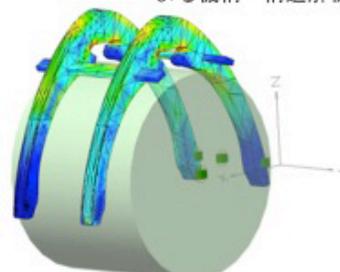


新潟県津南町のエンゲワ (踏鞴)
ミノルタ製VIVID910にて測定



豚の骨の構造解析

新潟県山古志村資料館の牛鞍 VisualNastran4Dによる機構・構造解析

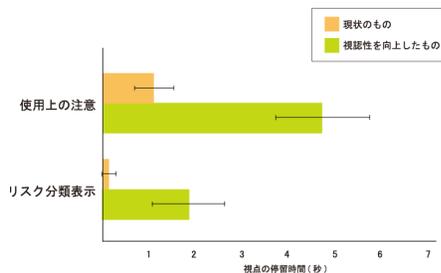




小山慎一
 KOYAMA Shinichi
 海城高等学校
 早稲田大学 (93.3卒)

- 02.5 ポストン大学心理学部博士課程
修了 PhD
- 02.6 ポストン大学心理学部研究員
- 03.1 ハーバード大学医学部附属マサ
チューセッツ総合病院NMRセン
ター研究員
- 03.4 日本学術振興会特別研究員 (PD)
- 06.4 昭和大学医学部神経内科研究員
- 07.4 千葉大学大学院工学研究科
助教
- 11.5 千葉大学大学院工学研究科
准教授

受賞
 第5回日本神経心理学会優秀論文賞
 趣味：旅行、釣り
 モットー：意志あるところに道あり



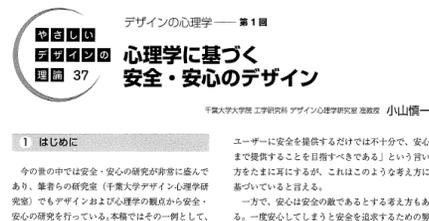
新しいリスク分類表示デザインの提案と
 効果の検証 (デザイン学研究, 受理済)

■主な学術論文

1. OTC医薬品リスク分類表示の誘目性向上による視線誘導効果、共著、デザイン学研究、受理済
2. 工場景観愛好者・非愛好者における工場景観評価の相違—「工場萌え」への心理学的アプローチ、共著、デザイン学研究、受理済
3. 眼球運動計測を用いた一般医薬品外箱記載項目に対する注目度の評価、共著、日本感性工学会論文誌、11(1)、69-78 (2012)
4. Shaping behavior through perception: How do visuals of Manga Affect Its Readers?、共著、the Bulletin of Japanese Society for the Science of Design、59(1)、83-90 (2012)
5. A Quantitative Evaluation of Stripe and Grid Patterns by Migraine Patients and Normal Controls、共著、the Bulletin of Japanese Society for the Science of Design、58(3)、69-74 (2011)
6. Double tactile sensations evoked by a single visual stimulus on a rubberhand、共著、Neuroscience Research、65(3) 307-11 (2009)

■ 著書

1. 脳とアート—感覚と表現の脳科学、岩田誠・河村満 編（分担執筆 小山慎一 第二章 第3項 「色彩の認知」） 医学書院、印刷中
2. 認知症—神経心理学的アプローチ、専門編集：河村満、総編集：辻 省次、（分担執筆 小山慎一 「病識の検査」 p33-35） 中山書店、2012年2月
3. 高次脳機能障害Q&A 基礎編、河村満 編、（分担執筆 小山慎一） 新興医学出版社、2011年12月
4. 高次脳機能障害Q&A 症候編、河村満 編、（分担執筆 小山慎一、新興医学出版社、2011年10月
5. 社会活動と脳—行動の原点を探る、共著、岩田誠、河村満 編、第1章—2 「顔認知と表情認知の神経心理学」 小山慎一、医学書院、2008年9月
6. 失語症セラピーと認知リハビリテーション、共著、鹿島晴雄、大東祥孝、種村純（編）、第3章3項 「相貌失認と地誌的障害」（5ページ担当）、小山慎一、緑川晶、永井書店、2008年7月
7. シリーズ すぐに役立つ眼科診療の知識 臨床神経眼科学、共著、柏井聡（編）、第1章5項 「視覚性失認」（3ページ担当）、小山慎一、河村満、金原出版、2008年2月

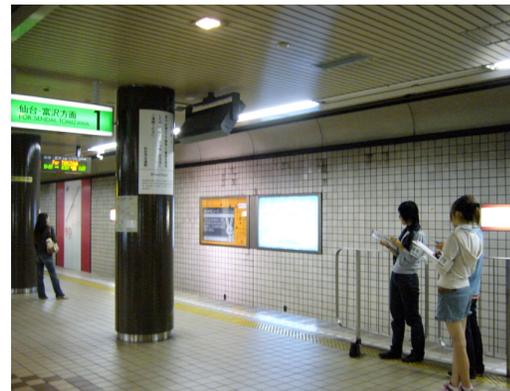
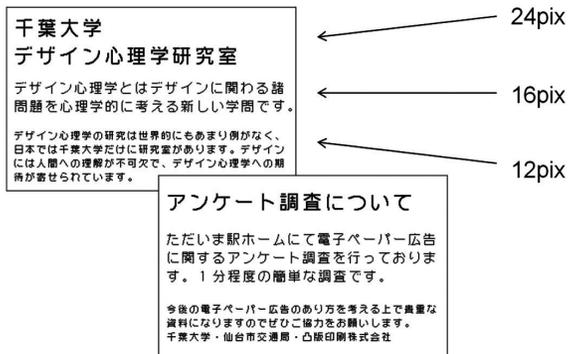


Design Protect 連載 「デザインの心理学」2011
発行：社団法人日本デザイン保護協会

「社会活動と脳—行動の
原点を探る」2008
発行：医学書院

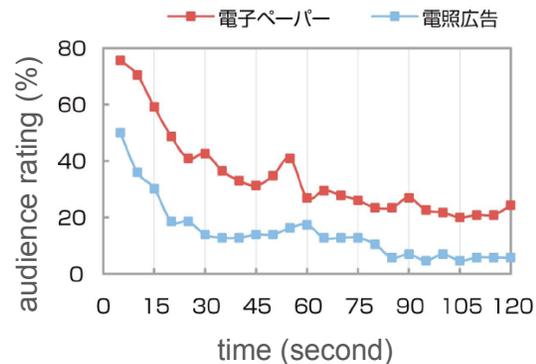


■ 学位論文 PhD (Psychology)
Attentional modulation of excitatory and inhibitory signals revealed in perceptual learning. Boston University, 2002



仙台市地下鉄電子ペーパーサイネージ検証実験
Evaluation of the Electronic Paper Signage in Sendai Subway Station
Involved term: 2007-2009
Joint Project with Toppan Printing Ltd. and the City of Sendai

世界初の商業用電子ペーパーサイネージの視認性および広告効果を検証





鈴木直人 SUZUKI Naoto

愛知県立刈谷高校
慶應義塾大学 (73.3卒)
オハイオ州立大学 (74.9卒)
博士 (学術) (05.9千葉大学)

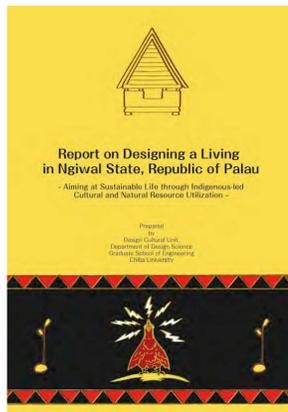
- 75 海外コンサルティング E C F A 研究員 (78まで)
- 78 国連工業開発機関上席工業開発官 (03まで)
- 03 千葉大学工学部都市環境システム学科客員教授 (08まで)
- 09 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻 教授

受賞

イスラム文化・歴史・工芸研究機構／カタール政府主催：伝統工芸の継承シンポジウム、研究奨励賞 (10.12)

パラオ共和国ニワール州知事地域振興奨励賞 (10.9)

日本デザイン学会研究奨励賞 (05年度)



パラオ国ニワール州生活デザイン提案報告書
Report on Designing a Living in Ngwal State



ニワール州知事から学生調査チームへの感謝状 (2011.4)
A Certificate given by the Governor to the Student Study Team

■主な学術論文 (First Author)

1. ROLE OF DIET IN SUSTAINING THE FAMILY AND COMMUNITIES-Social Innovation Design Anchored on Traditional Dietary Culture in Ngwal, Republic of Palau, accepted by JSSD March 2012
2. BECOMING A HOMETOWN DESIGNER-Designing a Living for Isumi City, Chiba Prefecture, JSSD Vo 56, No5, pp.97-106, 2010
3. FLOWERING OF THE TOTAL PERSON-A Practical Design Philosophy for Indigenous-Led Regional Development, JSSD, Vol. 55. No.1, 2008
4. RESOURCE- AND CULTURE-BASED REGIONAL DEVELOPMENT MITIGATING SOCIAL CHANGES -Project Design for A Rice Straw Knowledge Region, Inagaki District, Tsugaru City, Aomori Prefecture, Vol.55. No.1, 2008

■主な学術論文

5. TOURISM-BASED REGIONAL DEVELOPMENT MITIGATING DRASTIC SOCIAL CHANGES - Evaluation and Designing Vision for the Sanshu Asuke Yashiki, JSSD Vol. 54 No.6, 2008

6. PROJECT FORMULATION AND EVALUATION FOR ARTISAN CRAFT PROMOTION, JSSD Vol.52 No.3, 2005

7. MINORITY TRIBE'S TRADITIONAL CRAFT PROMOTION IN VIET NAM, JSSD Vol.52 No.3, 2005

8. ESTABLISHING A TRADITIONAL CRAFT PROMOTION FACILITY, JSSD Vol.52 No.3, 2005

9. DEVELOPMENT STRATEGY FORMULATION FOR ARTISAN CRAFT PROMOTION, JSSD Vol.52 No.3, 2005

10. PROBLEMS AND DEVELOPMENT ISSUES IN ARTISAN CRAFT PROMOTION BASED REGIONAL DEVELOPMENT, JSSD Vol.52 No.2, 2005



パラオ国ニワール州公共施設の「先人の知恵の記憶」ボードの作成 (Board Making by children and Mounted in Nigwal State, Palau)



子供たちの制作したボードの設置された集会所 (Picture Board made by Children, Reminding of Ancestors' Wisdom)

■博士論文 (英文)

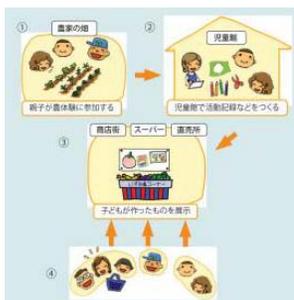
Effective Regional Development in Developing Countries through Promotion of Artisan Crafts (途上国における工芸品振興に基づく効果的な地域振興)

■主なフィールドワーク

1. パラオ国ニワール州の生活デザイン(2010-2011)
2. 九州地域の和傘の再興の指針作成(2010)
3. 千葉県いすみ市活性化のためのデザイン工学総合プロジェクト(2009-2010)
3. 愛知県足助町足助屋敷の将来構想(2007)
4. 新潟県柏崎市高柳町荻ノ島地区の生活づくり(2006)
5. ラオスの伝統織物・木工の振興(2001)
国連工業開発(UNIDO)
6. ベトナム少数民族の伝統工芸品振興(1996)
国連工業開発(UNIDO)
7. ベトナム伝統工芸村設立(UNIDO)(1995)



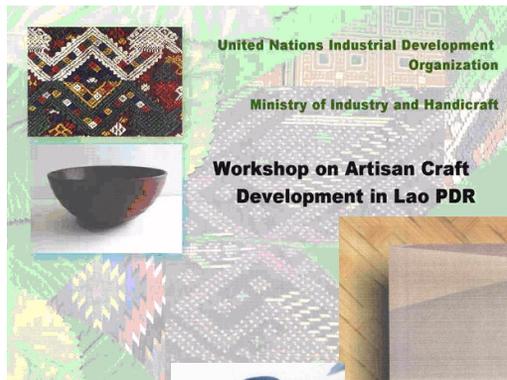
いすみ市の食育と活性化概念、及び、スーパーでの展示物 (Concept of Dietary Education and Exhibition at the Neighborhood Supermarket)



報告書: いすみ市の活性化 (Final Report on Invigoration of Isumi City)



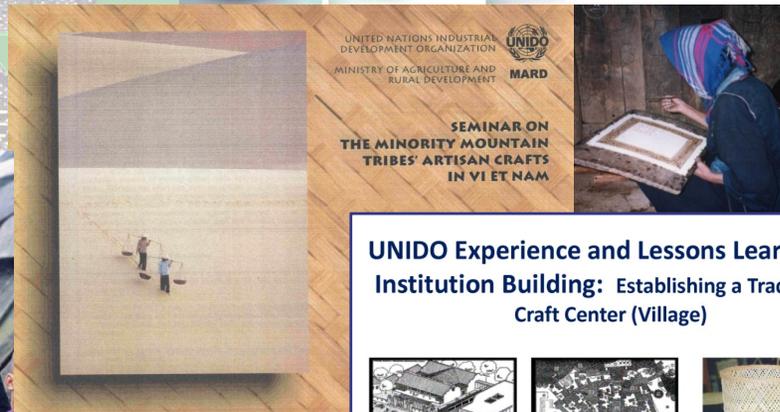
報告書: 消滅し復活した和傘の生活デザインにおける意味 (Implication of Extinguished and Restored Japanese Traditional Umbrella Culture)



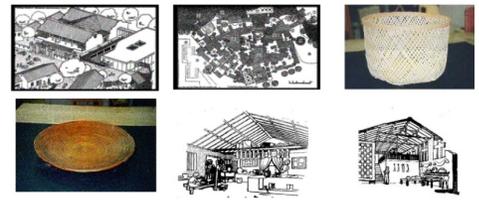
ラオス工芸品振興報告書
(Summary of Lao Artisan Craft Development)



ベトナム少数民族の伝統工芸品振興報告書
(Minority Tribe's Traditional Craft Promotion)



UNIDO Experience and Lessons Learned in Institution Building: Establishing a Traditional Craft Center (Village)



ヴェトナム伝統工芸村設立概念書 (Report on Establishment of Traditional Craft Village in Viet Nam)



田内隆利

TAUCHI Takatoshi
東京芸術大学美術学部彫刻科 (89.3卒業)
東京芸術大学大学院美術研究科芸術学修
士 (91.3 修了)

91.4 千葉大学工学部教務職員

98.4 千葉大学工学部デザイン学科助教授

受賞

00. 現代日本陶彫展特別賞受賞

01. 朝日陶芸展入選

■主な作品

1. 反射率 沼津市立静浦中学校50周年記念モニュメント, 1997
2. 「現代の陶彫ー日本とアメリカ」東京展 ギャラリーせいほう 銀座, 2000
3. ミューザ川崎シンフォニーホールアートワーク, 2004
4. モニュメント「Swinging Birds」KAIST 韓国, 2007



Swinging Birds (H9000×W2600×D700 stainless steel) 2007

インスタレーションの要素を持つ作品展示 2003





寺内文雄

TERAUCHI Fumio

千葉大学教育学部 (89.3卒)

同大学院教育学研究科 (91.3修了)

同大学院自然科学研究科博士後期課程
(94.3 修了)

博士(工学) (94.3 千葉大学)

94.4 千葉大学教育学部教務職員

95.4 同大学院自然科学研究科助手

00.4 同工学部デザイン工学科助教授

10.11 同大学院工学研究科教授

所属学会

日本デザイン学会、日本感性工学会、

日本人間工学会、日本木材学会ほか

受賞歴

02.9 平成13年度日本デザイン学会
年間論文賞03.11 International Journal of Industrial
Ergonomics,
BEST PAPER AWARD 2001

■主な学術論文

1. Comparative analysis of the users' kansei evolution over their mobile phones lifetimes between Japan and Iran, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.58, No.1, 7-16(2011)
2. Study on Current Situations of Service Engineering Research and Necessity of Product Value Creation, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.56, No.5, pp.65-72 (2010)
3. Comparative Analysis on Employment of Materials in Japanese and Vietnamese Traditional Daily Products: Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.56, No.3, pp.31-40 (2009)
4. The Effect of Seat and Backrest Cushions on the Vibration at the Chest for Two Physiques, Bulletin of Japanese Society for the Science of Design, Vol.55, No.3, pp.99-102 (2008)
5. Development of Terminal Device with Tactile Feedback, Abstracts of the International Design Congress, International Association of Societies of Design Research 2007 (CD-ROM) (2007)
6. An Artificial Knee of a Five Joints Multi-link System by using Elasticity of Material, Abstracts of the International Design Congress, International Association of Societies of Design Research 2007 (CD-ROM) (2007)
7. Odors Recalling Past Memories and/or Evoking Willingness for Japanese Elderly, Abstracts of the International Design Congress, International Association of Societies of Design Research, F6-7 (CD-ROM) (2005)

■主な著書

かたち・機能のデザイン事典、丸善、pp.544-545、pp548-549 (2011)

千葉大学工学部工業意匠学科、同デザイン工学科、同工業短期大学部工業意匠学科デザイン集

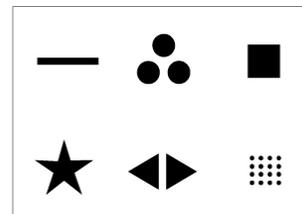
■主な研究

(1) 触知覚を利用したインターフェースの開発

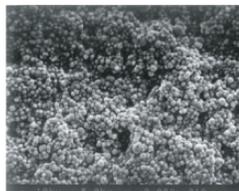
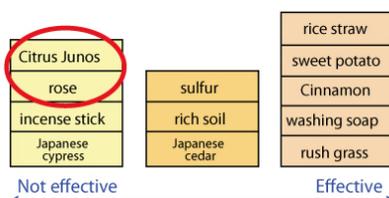
触知覚によって情報を伝達する方法についての検討である。研究は、視覚障害者のみならず晴眼者も対象としている。これまでに触知覚を用いた情報伝達には、形状に加えて材質やフィードバックなども有効であることが明らかになっている。そこで、それらの刺激を利用して操作を簡易化したり、誤操作や誤飲を防止するための具体的方法についても検討を行っている。



フィードバックを発生させるための装置の例



飲料用触知記号の一例



高齢者に幼少期の記憶を想起させるニオイのマイクロカプセル

(2) 高齢者に幼少期の記憶を想起させるニオイの選択

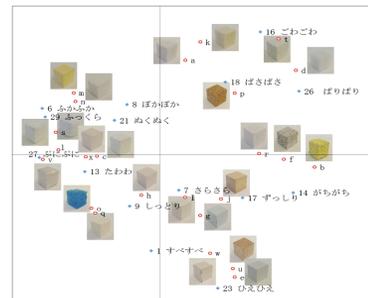
高齢者の精神状態を向上させる目的として、幼少期の好ましい記憶を想起させるようなニオイを選択することを試みている。千葉県在住の高齢者を対象とした調査の結果、ある種のニオイが高齢者に幼少期の好ましい記憶を想起させたり、新たな行動のための意欲を湧かせることが示唆された。そこでさらに調査対象を広げ、その可能性について検討を行っている。

(3) 擬態語に着目した材料と間隔との対応関係の解明

擬態語には、多くの意味内容が含まれている。そのためコミュニケーションにおいては極めて有用である。しかしながら擬態語とヒトの諸感覚との対応関係は明確になっていない。そこで、数値モデルを用いて、擬態語と材料の感覚特性との関係を定量的に表現することを試みている。

1:すべすべ	6:ふかふか
7:さらさら	8:ぼかぼか
9:しっとり	13:たわわ
14:がちがち	16:ごわごわ
17:ずっしり	18:ばさばさ
21:ぬくぬく	23:ひえひえ
26:ぱりぱり	27:ぶにぶに
29:ふっくら	

使用した擬態語



擬態語とテクスチャの対応関係



実験に使用した香り刺激



実験に使用したテクスチャ刺激

(4) 香りと素材感触感覚間の対応関係の解明

従来の研究では、香りと素材の関係を検討した例がほとんどない。この点に着目し、香りと素材の触感覚との調和について検討を行った。具体的には、被験者に香りに調和すると感じたテクスチャサンプルを選択してもらい、それらの対応関係について検討を行った。またこれと並行して、印象評価を行うことで、香りとテクスチャの相乗効果を明らかにした。



永瀬彩子

NAGASE Ayako
豊島岡女子学園高等学校
千葉大学園芸学部生物生産科学科
(02. 3卒業)

Department of Horticulture and Landscape,
University of Reading, Master of Science
(03. 9修了)

Department of Landscape,
University of Sheffield, Doctor of Philosophy
(08. 12修了)

08. 12 千葉大学大学院園芸学研究科助教

12. 4 千葉大学工学部デザイン学科助教



屋上エディブルガーデン
(ハーブなどの食用植物)



屋上ビオトープガーデン

■主な学術論文

1. Amount of water runoff from different vegetation types on extensive green roofs: Effect of plant species, diversity and plant structure: Nagase, A. and Dunnett, N. Landscape and Urban Planning 104: 356-363, 2012
2. The relationship between percentage of organic matter in substrate and plant growth in extensive green roofs, Nagase, A. and Dunnett, N., Landscape and Urban Planning, 103: 230-236, 2011
3. Drought tolerance in different vegetation types for extensive green roofs: Effects of watering and diversity Nagase, A and Dunnett, N, Landscape and Urban Planning 97: 318-327, 2010

伊豆半島 城ヶ崎海岸の植物を使用した屋上緑化
(千葉大学西千葉キャンパス自然科学棟2号館10階屋上)



鹿島建設との共同研究
生物多様性のための粗放的な屋上緑化の研究
(千葉大学西千葉キャンパスけやき会館屋上)



スウェーデン農科大学との壁面緑化共同研究





日比野治雄

HIBINO Haruo

東京都立竹早高等学校

東京大学文学部心理学科

東京大学大学院人文科学研究科修士課程 (85.3修了)

York Univ. Ph. D. (90.3修了)

90 千葉大学教養部講師 (92 同助教授)

94 千葉大学工学部助教授

00 千葉大学工学部教授

07 千葉大学大学院工学研究科教授

所属学会：

日本心理学会, 日本デザイン学会, 日本感性工学会, 日本色彩学会, 日本基礎心理学会, 日本視覚学会, 日本アニメーション学会, 医療の質・安全学会

受賞：

93 日本心理学会研究奨励賞

06 平成18年度第47回科学技術映像祭・文部科学大臣賞 (対象: ニュートンとゲーテ～物理学者と文学者が導き出した色の科学～)

11 千葉大学工学部 地域・社会貢献賞

12 2012年度グッドデザイン賞 [対象: らくらくエアコン ラクエア (ダイキン工業株式会社)]

■ 主な学術論文

1. Air Conditioner Remote Control with Intuitive Button Layout: Haruo Hibino, Yumi Ohta, Kouichirou Seki, Nana Umeda, & Sanae Kagawa, *Proceedings of the 4th International Conference for Universal Design in FUKUOKA 2012*, OP-023, 2012
2. 低アルコール飲料缶デザインの紛らわしさによって引き起こされる幼児の誤認——現状調査と予防法の検討：木平崇之、金美英、青山郁子、日比野治雄、小山慎一、デザイン学研究
3. OTC医薬品リスク分類表示の誘目性向上による視線誘導効果：崔庭瑞、小山慎一、泉澤恵、白神誠、日比野治雄、デザイン学研究
4. The positive impacts of service system design on users: Zhenwei You, Shinichi Koyama, & Haruo Hibino. *The Bulletin of Japanese Society for the Science of Design*
5. Impacts of manga on Indonesian readers' self-efficacy and behavior intentions to imitate its visuals: Hafiz Aziz Ahmad, Shinichi Koyama, & Haruo Hibino. *The Bulletin of Japanese Society for the Science of Design*
6. 低解像度デジタルサイネージ用ピクトグラムの開発と検証：菱沼隆、三好友樹、小山慎一、日比野治雄、デザイン学研究
7. Self-medication behaviors among Japanese consumers: Sex, age, and SES differences and caregivers' attitudes toward their children's health management: Ikuko Aoyama, Shinichi Koyama, & Haruo Hibino. *Asia Pacific Family Medicine*, 11(1):7. [Epub ahead of print] , 2012

■ 主な著書

プロダクトデザイン 商品開発に関わるすべての人へ、ワークスコーポレーション、2009 (分担：10章(76)「認知科学・心理学とデザイン」)
 色彩学入門 色と感性の心理、東京大学出版会、2009 (分担：9.3節「色による安全のデザイン」)；心理学辞典、丸善、2004 (共訳)

■ ベンチャーの取り組み

日本で唯一であるデザイン心理学研究室（商標登録済）におけるこれまでの研究成果を活用し、一般社会、産業界および千葉大学に対して多角的な貢献を行うことを目的に、2009年7月に（株）BB Stoneデザイン心理学研究所を設立しました。20011年3月には、『千葉大学発ベンチャー』の称号も授与され（第6社目となりますが、工学系のベンチャーとしては第1号です）、積極的に活動を展開しています。心理学的な手法をデザインの問題解決に応用するというビジネスプランの獨創性が評価され、日経ビジネス（平成24年10月8日号）の特集記事に紹介されるなどして注目を集めています。



○日経ビジネス 平成24年10月8日号の特集「日本を救う次世代ベンチャー100」のトップ記事として（株）BB Stoneデザイン心理学研究所が紹介されました。

■ ベンチャーの取り組み——実際の活動成果



○リモコンデザインに参画した平成24年4月発売のダイキン工業（株）製らくらくエアコンラクーアは、そのリモコンデザインが評価され、グッドデザイン賞を受賞



○日本ATM（株）の銀行ATMコールセンター・オペレーター用ATM監視画面GUI改善プロジェクトに参画した成果の記事（日本経済新聞平成24年8月6日付）



○デザイン心理学の視点から、日本銀行券の券種判別性に関する調査を受注したことを報ずる記事（日本経済新聞平成24年4月25日付）

あとがき

卒業生デザイン集は、工業意匠系同窓会事業として2007年に企画されました〔注1〕。このデザイン集は、1990年3月に発行された「IDCU40 千葉大学工学部工業意匠学科同窓会会員作品集」〔注2〕の第2集として位置づけられます。また、このデザイン集が企画された前年の2006年4月～5月の2ヵ月間、千葉市美術館で開催された「戦後日本デザインの軌跡1953-2005——千葉からの挑戦」〔注3〕の開催趣旨を引き継ぐものです。

「IDCU40」は、A4版、196ページの本。参加者は239名でした。出版部数は1800冊。そのほとんどの部数は、毎年の工業意匠学科新入生への入学祝い——卒業生の後に続いて素晴らしいデザインをして欲しいとの願いを込めたプレゼントとして、約10年にわたって贈られました。

千葉市美術館の展覧会は、出品点数約550点〔注4〕、出品者数は約300名〔注5〕。出品デザインは、鉛筆から自動車まで、すべて実物展示を原則としました。この展覧会は、美術館が行った「デザイン展」として画期的なもので、千葉市民はじめ多くの人々に、デザインが生活に及ぼす影響について改めて認識させました。また、大学の1つの学科の卒業生がなし

とげた社会的役割の大きさに驚きの目を向けさせました。

「IDCU40」の発行から約20年が経過し、出版物をめぐる状況は大きく変化しました。インターネットによるコミュニケーション環境が社会的に浸透してきました。そこで、今回の卒業生デザイン集は、電子データとしてDVDに収録することとしました。また、デザイン学科ホームページで「卒業生デザイン集WEB版」として公開することとしました。

筆者は、2006年3月、千葉大学を定年退職。その後、グラウンドフェローとして、千葉大学全体の広報のデザインについてお手伝いしています。これに協力してくれるのが、広報ボランティアグループ「クリエイティブ」〔注6〕の学生さんたちです。卒業生デザイン集も、「クリエイティブ」の歴代メンバーの多大な助力をいただきました。この助力なしでは、デザイン集は完成しなかったことでしょう。末尾に名前を記して謝意を表します。

同窓会事業を開始してから6年、卒業生デザイン集の参加者は108名となりました。事業の一応の区切りとして、この度DVD版を制作することとしました。また、冊子を小部数発行することとしました。「卒業生デザイン集WEB版」は、参加者があるごとにデザイン学科ホームページに掲載していて、すでに多くの方々に閲覧されています。本学入試課の話では、

WEB版は受験生のほとんどが見ていて、デザイン学科受験の動機にもなっているとのこと。今や、インターネット検索で「卒業生デザイン集」と入れると上位に出てくることから反響の大きさが分かります。

本学科の卒業生は約3800名になります（2013年10月現在）。今回の卒業生デザイン集に参加いただいた108名は、残念ながら多くはありません。同窓会としては懸命に参加呼びかけをしましたが、「IDCU40」の参加者、千葉市美術館展覧会の参加者を越えることができませんでした。この理由は、今回の事業体制が組織だっていなかったせいだと思います。「IDCU40」では、同窓会長を始めとして約20名の編集実行委員が、事業開始から刊行までの4年間に19回の会議を持ち、その間、各委員は同窓生への参加働きかけを精力的に行いました。

翻って、今回の事業は、同窓会事業とはいえ、各回卒業生の幹事が参加呼びかけすることはありませんでした。幹事会は、「IDCU40」の時代には機能していましたが、この20年は総会のみが年に1回、または2年に1回開催されるばかりです。今回の事業は、企画者であり担当者である筆者（宮崎紀郎）にほとんどの仕事が委ねられました。ボランティア学生は懸命に協力してくれましたが、限界がありました。同窓会として、

デザイン学科教員の皆様にこの事業の意義を理解していただく努力が不足していました。教員ルートから卒業生へ参加呼びかけがあれば、もっと多くの参加者があったと思われます。卒業生の行ったデザインは、デザイン学科の貴重な財産です。それは同時に、千葉大学の財産でもあります。千葉市美術館の展覧会が示したデザインのカ——戦後のデザインを牽引してきたのは工業意匠学科、デザイン学科です。このことをしっかりと発信する責務が、デザイン学科には課されていると思います。卒業生は、教育の成果です。卒業生が行ったデザインを世に知らしめることは、デザイン学科の価値を高めます。ひいては在学生のデザイン意欲を喚起し、受験生の拡大につながるはずです。こうしたよい循環を生む努力を、デザイン学科、千葉大学、そして同窓会はし続けなければなりません。今回の参加者は少ないものの、いずれのデザイン業績も素晴らしいものです。この背後には、今回は参加いただけなかったけれど、同様に素晴らしいデザイン業績をあげている3千数百名の卒業生が存在します。それぞれは、日本の、世界のデザインを支えています。千葉大学は、デザインで世界を牽引してきた、それは今後とも続くといっても過言ではありません。

このデザイン集をご覧いただいて、デザインが果たす社会的

役割の大きさに気づき、日常生活でのデザインの意義を理解していただければうれしく思います。また、今後、デザインの世界に身を投じたいと決心するきっかけになれば、このデザイン集の役割は果たせたといえるでしょう。

次回の卒業生デザイン集には、今回の反省を踏まえて、より多くの参加者が集まることを切に願っています。

2014年10月10日

卒業生デザイン集担当

宮崎紀郎

デザイン工学科元教授

千葉大学名誉教授

[注1]

「卒業生デザイン集」は、千葉大学工業意匠系同窓会の事業として2007年3月、同窓会総会で承認された。事業企画は宮崎紀郎(元千葉大学グランドフェロー)、当時の会長・原正樹氏(25回生)の賛同と当時の副会長・渡邊誠氏(32回生)と当時の会計・小野健太氏(44回生)の強力なサポートがあり実現した。2015年3月、参加者108名のデザイン業績を収録したDVD500枚を制作予定。冊子版(本冊子)は小部数の制作。WEB版は、2008年から、参加者があり次第、デザイン学科ホームページ

に掲載し一般公開している。

[注2]

「IDCU40」は、工業意匠学科卒業生・永田喬氏(9回生)、片岡昭之氏(同)らが構想した千葉大学工業意匠学科「Who's Who」をもとに、当時の会長・白井正治氏(2回生)が1986年4月開催の工業意匠系同窓会総会で新企画事業として出版を提案し承認された。これを受けて、同窓会幹事会で出版編集委員を選出。以降、「出版準備会」の名称で19回の会議を行い、1990年3月15日完成・発行に至った。発行時の同窓会長は青木茂吉氏(4回生)。冊子タイトルは、「IDCU40 千葉大学工学部工業意匠学科同窓会会員作品集」Works by Graduates of Department of Industrial Design Chiba University 総予算543万円、発行部数1800冊、頒布価格5000円、1990年3月15日発行、完成までに4年を要した。

「IDCU40」の全ページはPDFファイルとして、この卒業生デザイン集に収めた。

[注3]

千葉市美術館の展覧会は、宮崎紀郎(11回生・当時千葉大学工学部デザイン工学科教授)が2001年に企画。これに賛同した森仁史氏(当時松戸市教育委員会学芸員)が、千葉市美術館に開催を持ちかけて実現した。開催期間は、2006年4月1

日（土）～5月28日（日）の2ヵ月間。監修は、森仁史氏と宮崎紀郎。開催には、千葉市美術館学芸員・西山純子氏の多大な尽力があった。企画から開催まで5年を要した。

千葉市美術館・連絡協議会発行（2006年4月1日）の展覧会カタログ「戦後日本デザインの軌跡 1953-2005——千葉からの挑戦」参照。

[注4]

出品項目としては395点。約550点は、項目がシリーズであるものを1点ずつ数えた概数。

[注5]

展示されたデザインの中で卒業生氏名が明示されていないものがあった。いくつかの企業は、当該デザインが千葉大学卒業生のデザインであることを認めて出展したが企業ポリシーとして、特定のデザイナーを公表していない。このため、卒業生情報から推定したおよその参加人数である。

[注6]

千葉大学広報ボランティアグループは、2006年、当時の学長・古在豊樹氏と副学長・宮崎清氏の発案で発足した。古在学長は、千葉大学の存続には広報が重要であるとの認識があった。これには、大学ホームページの充実が欠かせないと考えていた。また、宮崎副学長は、ホームページのみならず出版物なども

含めた全学すべてのデザイン統一（ユニバーシティアイデンティティ）を目指していた。

そこで大学の方針として広報学生ボランティアを募ることになった。その取りまとめ役には筆者が指名された。ボランティアの呼びかけに数名の学生が応募。ボランティアグループ「クリエイティブ」が、2006年4月発足することとなった。「クリエイティブ」のネーミングは、ボランティアに最初から参加してくれた菱沼隆さん（当時大学院工学研究科デザイン科学専攻後期課程社会人学生）による。菱沼さんは、WEBデザイナーとしてデザイン事務所を持っていて、WEB版のデザインならびにウェブアップ作業の一切は彼のおかげである。

以下は、卒業生デザイン集に協力いただいた大学院工学研究科デザイン科学専攻学生、デザイン工学科・デザイン学科学学生である。（敬称略）

菱沼隆	廣畑好章	蔣曉峰
日橋直昭	千原和彦	中村友美
金澤正子	渡久地佳奈	大野由花
櫻井一輝	栗田智紀	上田理恵
瀧山愛	渡邊理恵	田中重昌
荒井彩香	竹村彩香	

千葉大学工学部工業意匠学科・デザイン工学科

「卒業生デザイン集」

Works by Graduates of

the Department of Industrial Design Chiba University

発行日 2013年10月10日

編集・デザイン 宮崎紀郎

編集協力 千葉大学広報ボランティアグループ
「クリエイティブ」

発行者 千葉大学工業意匠系同窓会
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学工学部内